一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

森林整備保全事業標準歩掛の留意事項

 $1 \sim 8$ (略)

9 治山関係事業のうち工事等の実施箇所が次の(1)の各号のいずれかひとつに該当し、かつ、次の(2)の各号のいずれにも該当しない工事等は、山林砂防工を適用するものとする(以下、当該条件を「山林砂防工の適用条件」という。)。

このため、治山関係事業において「第1編 共通工」及び「第2編 治山」に定める「山林砂防工」の標記がある歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当しない工事等に適用する場合は、「山林砂防工」を「普通作業員」に替えて適用するものとする。

また、治山関係事業において「第3編 林道」に定める歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当する工事等に適用する場合は、標記している「普通作業員」を「山林砂防工」に替えて適用するものとする。

- (1) (略)
- (2) 山林砂防工を適用しない工事等
 - ① 林道工事と同種と見なされる工事
 - ② 造林作業と同種と見なされる作業
 - ③ ①及び②のほか、別に定める作業
 - 4 ①及び②に準ずる工事等
- 10 (略)

森林整備保全事業標準歩掛の留意事項

 $1 \sim 6$ (略)

9 治山関係事業のうち工事等の実施箇所が次の(1)の各号のいずれかひとつに該当し、かつ、次の(2)の各号のいずれにも該当しない工事等は、山林砂防工を適用するものとする(以下、当該条件を「山林砂防工の適用条件」という。)。

このため、治山関係事業において「第1編 共通工」及び「第2編 治山」に定める「山林砂防工」の標記がある歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当しない工事等に適用する場合は、「山林砂防工」を「普通作業員」に替えて適用するものとする。

また、治山関係事業において「第3編 林道」に定める歩掛等を山林砂防工の適用条件に該当する工事等に適用する場合は、標記している「普通作業員」を「山林砂防工」に替えて適用するものとする。

- (1) (略)
- (2) 山林砂防工を適用しない工事等
 - ① 林道工事と同種と見なされる工事
 - ② 造林作業と同種と見なされる作業 (新設)
- ③ ①及び②に準ずる工事等
- 10 (略)

第1編 共通工

第 1 土工

1-1 (略)

1-2 除根等

1-2-1 除根(削る。)

(1)・(2) (略)

1-2-2 (略) 1-3 機械土工(土砂) 1・2 (略)

第 1 土工

1-1 (略)

1 - 2 <u>伐開・</u>除根等

1 - 2 - 1 <u>伐開・</u>除根

(1) 植生区分

区 分	<u>笹 類</u>	<u>笹潅木混交</u>	<u>潅木類</u>	根曲竹類
1 種	<u>中・密</u>	<u>中・密</u>	<u>中</u>	<u>–</u>
2 種	_	_	<u>密</u>	疎・中・密

第1編 共通工

備考 植生の疎密度は、次のとおりとする。

疎:植生被覆率 30%未満

中:植生被覆率 30%~70%

密:植生被覆率 70%以上

(2) 草刈機伐開歩掛

(100 ㎡当たり)

<u>名 称</u>					<u>規 格</u>	<u>単位</u>	<u>1種</u>	<u>2種</u>	
草	ĮΙχ	機	運	村	肩掛式	カッター径 255 mm	<u>月</u>	<u>0. 14</u>	0.32
特	殊	作	業]			<u>人</u>	<u>0.14</u>	0.32
		<u>計</u>							

備考 本表には、刈払後敷地端までの小運搬及び集積作業を含む。

(参考) 草刈機械運転単価表

(1日当たり)

	<u>名</u>	称		<u>単位</u>	数量	摘 要
混	台	ì	油	<u>Q</u>		森林整備保全事業建設機械経費積算要領による。
機	械	損	料	且	1	肩掛式 カッター径 255 mm

備考 日当たり稼働時間は、2時間とする。

(3) チェンソー伐開歩掛

(100 m²当たり)

<u>名 </u>	<u>規 格</u>	<u>単位</u>	数量	摘要
世 話 役		<u>人</u>	<u>0.01</u>	
山 林 砂 防 工		IJ	<u>0. 4</u>	
(普通作業員)			(0.4)	
特殊作業員		<u> 11</u>	<u>0. 1</u>	
機械損料	鋸長 500 mm	田	<u>0. 1</u>	
燃料費	混合油 25:1	0		森林整備保全事業建設機械経費積
	<u> (昨日年 25.1</u>	<u>Q</u>		算要領による。
チェーンオイル		<u> 11 </u>	<u>0.01</u>	

- 備考 1 本表は樹冠疎密度、中位の伐開である。
- 2 20m以内の片付を含む。

(4)・(5)(略)

1-2-2 (略)

1-3 機械土工(土砂)

1・2 (略)

3 施工歩掛

- (1) (略)
- (2) 片切掘削(人力併用機械掘削)(土砂)
- ① (略)
- ② 日当たり作業量 日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3.4 (略)

ただし、林道工事における日当たり作業量は、次のとおりとする。

表3.5 日当たり作業量

_		71 - 11 - 11 / 11 / 11			
	機種	規格	土質名	単位	数量
	バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排	砂・砂質土・粘	m^3	<u>108</u>
	(クローラ型)	出ガス対策型(2014 年規制)山	性土・礫質土		
		積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)	岩塊・玉石・軟	m^3	<u>81</u>
			岩(I)A		

(注) (略)

③ 労務歩掛

労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3.6 (略)

ただし、林道工事における労務歩掛は、次のとおりとする。

表3.7 労務歩掛

(10 ㎡当たり)

	名称	土質名	単位	数量
<u> </u>	普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	<u>0. 18</u>
		岩塊・玉石・軟岩(Ⅰ)A	人	0.26

(注) (略)

4 単価表

 $(1) \sim (3)$ (略)

- 3 施工歩掛
- (1) (略)
- (2) 片切掘削(人力併用機械掘削)(土砂)
- ① (略)
- ② 日当たり作業量 日当たり作業量は、次のとおりとする。

表 3.4 (略)

ただし、林道工事における日当たり作業量は、次のとおりとする。

表3.5 日当たり作業量

	20.011201120			
機種	規格	土質名	単位	数量
バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排	砂・砂質土・粘	m³	<u>116</u>
(クローラ型)	出ガス対策型(2014 年規制)山	性土・礫質土		
	積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)	岩塊・玉石・軟	m³	<u>87</u>
		岩(I)A		

(注) (略)

③ 労務歩掛

労務歩掛は、次のとおりとする。

表 3.6 (略)

ただし、林道工事における労務歩掛は、次のとおりとする。

表3.7 労務歩掛

(10 ㎡当たり)

名称	土質名	単位	数量
普通作業員	砂・砂質土・粘性土・礫質土	人	<u>0. 17</u>
	岩塊・玉石・軟岩(I)A	人	<u>0. 25</u>

(注) (略)

- 4 単価表
- $(1) \sim (3)$ (略)

(4)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>58</u>
(掘削、積込み)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.47</u>
バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	対策型(2014年規制)	機-18	燃料消費量→ <u>65</u>
(掘削、積込み)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.49</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>94</u>
(掘削、積込み)	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)		機械損料数量→ <u>1.42</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>58</u>
(床掘り)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.39</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>94</u>
(床掘り)	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)		機械損料数量→ <u>1. 49</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>58</u>
(片切掘削)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.45</u>
バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	対策型(2014 年規制)	機一18	燃料消費量→ <u>65</u>
(片切掘削)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.52</u>
バックホウ	 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値 山積 0.8 m ³ (平積 0.6 m ³)	機-18	燃料消費量→ <u>94</u>
(片切掘削)	O 八至宇旭/ 川惧 U. O III (十棟 U. O III) 		機械損料数量→ <u>1.54</u>

(参考) (略)

1-4 埋戻工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

	機	械	名		規	格	適用単価表	指定事項
タ		ン		パ	60∼80 kg		機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→ <u>5.2</u> 機械賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン 運転時間→5 h/日

 $1 - 5 \sim 1 - 7$ (略)

(4) 機械運転単価表

(4) 機械運転早個	10000000000000000000000000000000000000		
機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>62</u>
(掘削、積込み)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.46</u>
バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	対策型(2014年規制)	機-18	燃料消費量→ <u>69</u>
(掘削、積込み)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.48</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>100</u>
(掘削、積込み)	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)		機械損料数量→ <u>1.41</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>62</u>
(床掘り)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.38</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機-18	燃料消費量→ <u>100</u>
(床掘り)	山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)		機械損料数量→ <u>1.48</u>
バックホウ	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型(第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値)	機一18	燃料消費量→ <u>62</u>
(片切掘削)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.44</u>
バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	対策型(2014 年規制)	機一18	燃料消費量→ <u>69</u>
(片切掘削)	山積 0.45 ㎡(平積 0.35 ㎡)		機械損料数量→ <u>1.50</u>
バックホウ	 標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	3次基準値 山積 0.8 m ² (平積 0.6 m ²)	機一18	燃料消費量→ <u>100</u>
(片切掘削)	3 八坐午順/ 四個 0.0 III (十個 0.0 III)		機械損料数量→ <u>1.52</u>

(参考) (略)

1-4 埋戻工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

		- , ,			• •				
	機	械	名		規	7	各	適用単価表	指定事項
タ		ン		パ	60∼80 kg			機-31	運転労務数量→1.0 燃料消費量→ <u>4.5</u> 機械賃料数量→1.38 主燃料→ガソリン 運転時間→5 h/日

 $1 - 5 \sim 1 - 7$ (略)

1-8 盛土工

<u>1-8-1</u> 林道工事における盛土

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本歩掛は、以下の林道工事における路体・路床・築堤の盛土に適用する。 なお、整地作業には適用しない。

- 1) 施工幅員が 2.5m以上 4.0m未満の林道工事
- 2) 施工幅員が 4.0m以上かつ施工土量が 5,000 ㎡未満の林道工事

(2) 施工概要(施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種の選定

<u> 1</u>	<u> </u>				
工種	施工幅員	施工土量	作業区分	機種	<u>規格</u>
	<u>2.5m以上</u> 4.0m未満	_	敷均し	<u>バックホウ</u> <u>(クローラ型)</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・排 出ガス対策型(2014年規制)山積 0.45㎡(平積0.35㎡)
<u>路体</u> 築堤	4.00不何		締固め	振動ローラ	<u>ハンドガイド式 0.5~0.6t</u>
路床	4.0m以上	<u>5,000㎡</u> 未満	敷均し	<u>バックホウ</u> <u>(クローラ型)</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・排 出ガス対策型(2014年規制)山積 0.45㎡(平積0.35㎡)
		<u> </u>	締固め	振動ローラ	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭 乗式・コンバインド型 3~4t

- (注) 1. 機種の選定に当たり、上表により難い場合は、別途考慮する。
 - 2. 上表で示す土量は、工事全体の設計量である。
 - 3. 振動ローラは賃料とする。

<u>3</u> 施工歩掛

日当たり施工量は、次表を標準とする。

表 3. 1 路体(築堤)盛土

(1日当たり)

施工幅員	施工土量	障害の有無	<u>単位</u>	<u>数量</u>
2.5m以上4.0m未満	<u> </u>	<u>_</u>	<u>m³</u>	<u>40</u>
4 0 121 4	5,000 ㎡未満	障害なし		<u>167</u>
4.0m以上	<u>5,000 m未満</u>	障害あり	<u> </u>	<u>98</u>

- (注) 1. 上表は締固め後の土量である。
 - 2. 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は30cm以下とする。

1-8 盛土 (新設)

表 3. 2 路床盛土

(1日当たり)

施工幅員	施工土量	障害の有無	単位	<u>数量</u>
2.5m以上4.0m未満	<u>–</u>	<u>–</u>	<u>m³</u>	<u>33</u>
4 Om DJ E	5,000 ㎡未満	<u>障害なし</u>	<u> 11 </u>	<u>136</u>
4.0111以上	<u> 5,000 m木価</u>	障害あり	JJ.	77

(注) 1. 上表は締固め後の土量である。

2. 敷均し・締固め作業の一連の仕上り厚は20cm以下とする。

<u>4</u> 補助労務

路体(築堤)盛土及び路床盛土の補助労務は、次表を標準とする。

表4.1 機械補助労務

(人/100 ㎡当たり)

		100 111 - 1/2 / /
<u>名称</u>	単位	数量
普通作業員	<u>m</u> ³	<u>0. 2</u>

<u>5</u> <u>単価表</u> (1) 路体(築堤)盛土、路床盛土 100 ㎡当たり単価表

	<u> </u>	ри 200		
<u>名 称</u>	規格	<u>単位</u>	数量	<u>摘 要</u>
普通作業員		<u>人</u>		表4.1
<u>バックホウ</u> <u>(クローラ型)</u> <u>運</u> 転	後方超小旋回型・超低騒音型・排 出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	旦	100/D	表3.1、表3.2
振動ローラ運転	ハンドガイド式 0.5~0.6t 又は 排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t	旦	100/D	<u>"</u>
<u>計</u>				

(注) D:日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
<u>バックホウ</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・排出		運転労務数量→1.00
(クローラ型)	ガス対策型(2014年規制)山積	機一18	燃料消費量→69
(敷均し)	<u>0.45 m³(平積 0.35 m³)</u>		機械損料数量→1.64
振動ローラ (締固め)	<u>ハンドガイド式 0.5~0.6t</u>	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→12 機械賃料数量→1.71
振動ローラ (締固め)	排出ガス対策型 (第3次基準値) 搭 乗式・コンバインド型 3~4t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→15 機械賃料数量→1.86

1-8-2 盛土

1 適用範囲及び施工概要

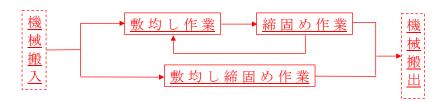
(1) 適用範囲

<u>本歩掛は、林道工事(施工土量 5,000 ㎡未満)を除く施工幅員が 4.0m以上の路体・路床・</u> 築堤及び構造物の埋戻しに伴う敷均し締固め作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

(新設)

(2) 施工概要(施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は次表を標準とする。

表<u>2.1</u> (略)

3 機種別の作業量

表 3. 1 (略)

4 敷均し作業量の算定

(1) ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は、次のとおりとする。 (略)

表 4. 1 (略)

(2) 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表4.2 (略)

<u>5</u> 締固め作業量の算定 (略)

表 5.1 (略)

<u>6</u> (略)

1-8-3 盛土 (ブルドーザ敷均し) (狭幅)

- 1 適用範囲及び施工概要
- (1) 適用範囲

本歩掛は、山地治山土工における施工幅員が 2.5m以上 4.0m未満の路体・路床・築堤の盛土及び構造物の埋戻し作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

- (2) (略)
- 2 機種の選定

機種・規格は、次表を標準とする。

表<u>2.1</u>機種の選定 (略) <u>1</u> 機械盛土

______________機種の選定

施工幅員が 4.0m以上の路体・路床・築堤の敷均し・締固め作業に適用する機種・規格は次表のとおりとする。

表1.1 (略)

<u>(2)</u> 機種別の作業量

表 1. 2 (略)

- (3) 敷均し作業量の算定
- ① ブルドーザの1時間当たり敷均し作業量の算定式は、次のとおりとする。 (略)

表1.3 (略)

② 敷均し補助労力は、Qに対して次表により計上する

表1.4 (略)

<u>(4)</u> 締固め作業量の算定 (略)

表 1.5 (略)

(5) (略)

1-8-1 盛土 (ブルドーザ敷均し) (狭幅)

- 1 適用範囲及び施工概要
- (1) 適用範囲

本歩掛は、施工幅員が 2.5m以上4m未満の路体・路床・築堤の盛土及び構造物の埋戻し作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

- (2) (略)
- 2 機種の選定

機種は、次表を標準とする。

表 2. 1 適用機種

3 施工歩掛

3 t 級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表3.1 日当たり施工量

(1日当たり)

機種名	規格	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3 t級	m³	130

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4.1 (略)

5 単価表

(1) 3 t級ブルドーザ敷均し100 m³当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
普通作業員		<u>人</u>		表4.1
ブルドーザ運転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 普通 <u>3t</u> 級	日	100/D	表3.1
(削る。)		(削る。)		(削る。)
計				

(注) D:日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t 級	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>24</u> 機械損料数量→ <u>1.58</u>

1-8-<u>4</u> 振動ローラ締固め(狭幅)

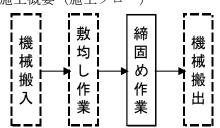
1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本<u>歩</u>掛は、<u>山地治山土工における</u>施工幅員が <u>4.0</u>m未満の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻しに伴う締固め作業に適用する。

なお、整地作業には適用しない。

(2) 施工概要(施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

2 機種の選定

機種・規格は、次表を標準とする。

3 施工歩掛

<u>3 t</u>級ブルドーザによる敷均しの日当たり施工量は、次表を標準とする。

表3.1 日当たり施工量

(1日当たり)

機種名	規格	単位	施工量
ブルドーザ	排出ガス対策型(第1次基準値)普通3 t級	m^3	130

4 補助労務

敷均し作業の補助労務は、次表を標準とする。

表 4.1 (略)

5 単価表

(1) <u>3 t</u>級ブルドーザ敷均し100 m³当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
(新設)		(新設)		(新設)
ブルドーザ運車	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 普通 <u>3 t</u> 級	日	100/D	(新設)
普通作業員		人		表4.1
計				

(注) D:日当たり施工量

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ブルドーザ (敷均し)	排出ガス対策型(第1次基準値) 普通3 t 級	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>25</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>

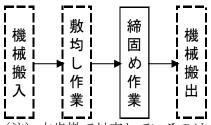
1-8-2 振動ローラ締固め (狭幅)

1 適用範囲及び施工概要

(1) 適用範囲

本<u>部</u>掛は、施工幅員が<u>4</u>m未満の路体・路床・築堤及び構造物の埋戻しに伴う締固め作業に適用する。

(2) 施工概要(施工フロー)



(注) 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。

(新設)

表2.1 機種の選定

X = 1 × 1 × 1 × 1 × 1	<u>- / L</u>	
施工幅員	機種	<u>規格</u>
2.5m未満	振動ローラ	<u>ハンドガイド式 0.8~1.1 t</u>
2.5m以上4.0m未満	振動ローラ	排出ガス対策型 (第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4t

3 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 日当たり施工量

工種	規格	単位	数量
路床	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバインド</u> 型 3~4 t	m³	78
	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	11	43
路体築堤	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバインド</u> 型 3~4 t	II	86
架	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	11	50
埋戻し	排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバインド</u> 型 3~4 t	11	86
	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	IJ	50

4 単価表

(1) 振動ローラ締固め 100 m³当たり単価表

· - /	200000	,				
	名 称	規格	単位	数量	摘 要	
振動		排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバインド</u> 型 <u>3~4 t</u> 又は <u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	Ш	100/D	表 <u>2.1</u>	
	計					

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ	排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 搭乗式・コンハ・イント・型 3~4 t 級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>17</u> 機械賃料数量→1.60
振動ローラ	ハンドガイド式 0.8~1.1 t 級	機一31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>6.1</u> 機械賃料数量→1.44

$1 - 9 \sim 1 - 11$ (略)

1-12 (参考歩掛)骨材再生工(自走式)

- (1)・(2) (略)
- (3) 自走式破砕機設置・撤去工
- 1)・2) (略)
- 3) 諸雑費

諸雑費は、自走式破砕機付属機(磁力式選別機、振動ふるい機、ベルトコンベア)等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

<u>2</u> 施工歩掛

各作業の施工歩掛は、次表を標準とする。

表2.1 日当たり施工量

工種	規格	単位	数量
路床	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンハ・イント・</u> 型 3~4 t	m³	78
	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	"	43
路体 築堤	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバイント</u> [*] 型 3~4 t	11	86
架 坯	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	"	50
埋戻し	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバイント</u> [*] 型 3~4 t	11	86
	<u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	11	50

3 単価表

(1) 振動ローラ締固め 100 m³当たり単価表

(= / 1/2/294 / ///	re mare man			
名 称	規格	単位	数量	摘 要
振動ローラ運転	排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値) 搭乗式・ <u>コンバインド型 3~4 t</u> 又は <u>ハンドガイド</u> 式 0.8~1.1 t	日	100/D	表 <u>2. 1</u>
計				

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ	排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t 級	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>15</u> 機械賃料数量→1.60
振動ローラ	/// が が が が が が 0.8~1.1 t 級	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>5.3</u> 機械賃料数量→1.44

$1 - 9 \sim 1 - 1 1$ (略)

1-12 (参考歩掛)骨材再生工(自走式)

(1) • (2) (略)

- (3) 自走式破砕機設置・撤去工
- 1) 2) (略)
- 3) 諸雑費

諸雑費は、自走式破砕機付属機(磁力式選別機、振動ふるい機、ベルトコンベア)等の費用であり、労務費、機械賃料、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

諸雑費率

(%) 諸雑費率 <u>7</u>

- (4) (略)
- (5) 単価表
- 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

	T	I	I
名 称	規 格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型 (第 1 次基準値)] 山積 0.6 ㎡ (平積 0.5 ㎡) 大型ブレーカ (ベースマシン 含まず) [油圧式] 質量 600~800 kg級	機-20	機械損料 1 →バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ <u>1.16</u> 機械損料 2 → 大型ブレーカ 機械損料数量→ <u>1.16</u>
バックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 山積 1.0 ㎡ (平積 0.7 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>104</u> 機械損料数量→ <u>1.13</u>
自走式破砕機	ジョークラッシャ 機械質量 30t級 供給口開き×幅 450×925 mm	機-24	燃料消費量→ <u>177</u> 機械損料数量→ <u>1.71</u>

備考 自走式破砕機の運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

第2 (略)

諸雑費率

(%) 諸雑費率<u>8</u>

- (4) (略)
- (5) 単価表
- 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

名	茶	規格	適用単価表	指 定 事 項
大型	型ブレーカ	バックホウ (クローラ型) [標準型・排出ガス対策型(第 1次基準値)] 山積 0.6 ㎡ (平積 0.5 ㎡) 大型ブレーカ (ベースマシン 含まず) [油圧式] 質量 600~800 kg級	機-20	機械損料 1 →バックホウ 運転労務数量→1.00 燃料消費量→72 機械損料数量→ <u>1.15</u> 機械損料 2 →大型ブレーカ 機械損料数量→ <u>1.15</u>
バ	ックホウ	クローラ型 排出ガス対策型 山積 1.0 ㎡ (平積 0.7 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>110</u> 機械損料数量→ <u>1.12</u>
自力	走式破砕機	ジョークラッシャ 機械質量 30t級 供給口開き×幅 450×925 mm	機-24	燃料消費量→169 機械損料数量→ <u>1.69</u>

備考 自走式破砕機の運転歩掛は、施工歩掛に含まれている。

第2 (略)

|第3 コンクリートエ

3-1・3-2 (略)

3-3 張りコンクリートエ

1~4 (略)

5 単価表

(1)~(5) (略)

(6) 機械運転単価表

U		一曲代		
	名称	規格	適用単価表	摘要
	バックホウ	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.28 ㎡(平積 0.2 ㎡) 吊能力 1.7 t	機−28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械賃料数量→1.6
	バックホウ <i>(</i> カヮーラ刑)	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き 排出ガス対策型(2011 年規制) 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)吊能力 2.9 t	機−1	

3-4・3-5 (略)

第3 コンクリートエ

3-1・3-2 (略)

3-3 張りコンクリートエ

1~4 (略)

5 単価表

(1)~(5) (略)

(6) 機械運転単価表

名称	規格	適用単価表	摘要
バックホウ	標準型・クレーン機能付き 排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.28 ㎡(平積 0.2 ㎡) 吊能力 1.7 t	機−28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39.5</u> 機械賃料数量→1.6
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き 排出ガス対策型(2011 年規制) 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)吊能力 2.9 t	機-1	

3-4・3-5 (略)

第4 共通工(1)(法面工等)

4-1 法面工

4 - 1 - 1

4-1-2 プレキャスト法枠工

(1) • (2) (略)

(3) 機種の選定

使用する機械の機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機械名	規格	台数	摘要
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型 (<u>2011 年規制</u>) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	1	プレキャストブロック設置 中詰材設置
バックホウ	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)	1	中詰材設置

備考 (略)

 $(4) \sim (6)$ (略)

(7) 敷砂利

敷砂利投入が必要な場合の施工歩掛は、次表とする。

敷砂利施工歩掛

(10 ㎡当たり)

名 称	規格	単位	数量
山林砂防工(普通作業員)		人	1.0
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	h	2. 0

備考 (略)

(略)

第4 共通工(1)(法面工等)

4-1 法面工

4 - 1 - 1

4-1-2 プレキャスト法枠工

(1) • (2) (略)

(3) 機種の選定

使用する機械の機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

機械名	規格	台数	摘要
ラフテレーンクレーン	排出ガス対策型(第1次基準	1	プレキャストブロック設置
	<u>値</u>)油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	1	中詰材設置
	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準		
バックホウ	値)・クローラ型	1	中詰材設置
	山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)		

備考 (略)

$(4) \sim (6)$ (略)

(7) 敷砂利

敷砂利投入が必要な場合の施工歩掛は、次表とする。

敷砂利施工歩掛

(10 m³当たり)

名 称	規格	単位	数量
山林砂防工(普通作業員)		人	1. 0
バックホウ運転	排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	h	2. 0

備考 (略)

(略)

(8) 中詰工

中詰工の施工歩掛は、次表とする。

中詰工施工歩掛

名称 規格 単位 中語 客土 植 生 割石又 1 は栗石	砕石 (10 m³)
A 秋	
	(10 m³)
	(10 m^3)
(100 m²) (100 m³) (1000 袋) (10 m³)	
世 話 役	0.5
ブロックエ	_
法 面 工	_
山林砂防工	3. 1
(普通作業員)	5. 1
排出ガス対策型 ラフテレーン クレーン賃料 25 t 吊日(備考 6)6.20.90.5	_
排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値)・ クローラ型 h ー 山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)	5. 4
諸 雑 費 率	_

備考 (略)

(略)

(9) (略)

(10) 単価表

1) プレキャストブロック設置 100 m²当たり単価表

	名	称		規格	単位	数量	摘 要
世	話		役		人	$1 \times 100/D$	(4)
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレー:	レーン賃	ン 料	排出ガス対策型(<u>2011年</u> <mark>規制</mark>) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	Ш	1×100/D	
諸	雑		費		式	1	(6)
	計						

備考 (略)

2) 敷砂利 10 ㎡当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
山 林 砂 防 工(普通作業員)		人		(7)
砂 利		m^3		(7) 備考 2
バックホウ運転	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	h		(7)
計				

(8) 中詰工

中詰工の施工歩掛は、次表とする。

中詰工施工歩掛

# 日本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で		.1.1	ip 上, 心, 上	-79°171				
# 日本 で で で で で で で で で で で で で で で で で で					中	詰 区	分	
世話役 人 1.2 5.3 1.6 1.0 0.5 ブロックエ " 4.4 ー ー ー ー ー 上法 面 エ " ー 6.0 2.7 ー ー ー ー 上法 面 エ " 8.0 36.4 12.0 6.6 3.1 ま カテレーン (第1次基準値) 日 (備考 6.2 0.9 0.5 ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー	夕新	新 担 救		中詩	客 土	植生	割石又	砕石
世話役 人 1.2 5.3 1.6 1.0 0.5 ブロックエ " 4.4	和 你	柳 烷 佾	半世	フ゛ロック		土のう	は栗石	
ブロックエ " 4.4				(100 m^2)	(100 m^3)	(1000袋)	(10 m^3)	(10 m^3)
法 面 工 " - 6.0 2.7 山 林 砂 防 工 (普通作業員) " 8.0 36.4 12.0 6.6 3.1 サ出ガス対策型 ラフテレーン (備考 6.2 0.9 0.5 -	世 話 役	話役	人	1.2	5. 3	1.6	1.0	0.5
山林砂防工 (普通作業員) " 8.0 36.4 12.0 6.6 3.1 財出ガス対策型 ラフテレーン (備考 6.2 0.9 0.5 -	ブロックエ	ックエ	IJ	4. 4	_	_	_	_
(普通作業員) " 8.0 36.4 12.0 6.6 3.1 排出ガス対策型 ラフテレーン (第1次基準値)	法 面 工	面工	IJ	_	6.0	2.7	_	
(普通作業員) 排出ガス対策型 ラフテレーン (第1次基準値) 日 (備考 6.2 0.9 0.5 -	山林砂防工	砂防工		9 0	26 4	12.0	6 6	9 1
ラフテレーン (<u>第1次基準値</u>) _日 (備考 62 09 05 -	(普通作業員)	作業員)	"	0.0	30.4	12.0	0.0	J. 1
25 t 吊		・ レーン (<u>第1次基準値</u>) ・ン賃料 油圧伸縮ジブ型		(備考6)	6. 2	0.9	0.5	-
排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値)・ クローラ型 h — — 5.4 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)	ハ゛ックホウ運 転	(第 <u>1</u> 次基準値)・ カローラ型 山積 0.8 ㎡ (平積		_	_	-	_	5. 4
諸 雑 費 率	諸雄費率	費率	%	10	_		_	_

備考 (略)

(略)

(9) (略)

(10) 単価表

1) プレキャストブロック設置 100 m³当たり単価表

				/ / PVE 100 HI = 100 /	1 нц >-		
	名	称		規格	単位	数量	摘 要
世		話	役		人	$1\times100/\mathrm{D}$	(4)
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フラレー	テレー - ン賃	ン 料	排出ガス対策型(<u>第1次</u> <u>基準値</u>) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	П	1×100/D	
諸		雑	費		式	1	(6)
		計					
111. [(-4-)					

備考 (略)

2) 敷砂利 10 ㎡当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
山 林 砂 防 工(普通作業員)		人		(7)
砂 利		m³		(7) 備考 2
バックホウ運転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	h		(7)
計				

3) 中詰ブロック設置 100 m²当たり単価表

	名	称		規	格	単位	数量	摘 要
世		話	役			人		(8)
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~		~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	ファレー	・レー・ン賃		4日 生(1)	策型 (<u>2011 年</u> ブ型 25 t 吊	日		(8)備考6 必要に応じ計上
諸		雑	費			式	1	(8)
		計						

4) 中詰客土設置 100 m³当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		(8)
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
山 林 砂 防 工(普通作業員)		"		II
客 土		m³		(8)備考8
ラフテレーン クレーン 賃料	排出ガス対策型 (<u>2011 年</u> <u>規制</u>) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	田		(8)
計				

5) 中詰植生土のう設置 1,000 袋当たり単価表

	名	移	尔	規	格	単位	数量	摘	要
世		話	役			人		(8)	
\sim	(略)	~	~ (略) ~		~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
ラク	ファ	テレーン	ー <i>ン</i> 賃料	排出ガス対策 <mark>規制</mark>) 油圧伸縮 <i>ジ</i> ブ		日		(8)	
		計					-		

6) 中詰割石又は栗石設置 10 ㎡当たり単価表

	名	Ŧ	陈		規	格	単位		数量		摘	要	
世		話		役			人			(8)			
\sim	(略)	\	~ (略) ~		~ (略)	\sim	~ (略) ~	~ (略)	\sim		
ラク	ファ	テレーン	一賃	./	排出ガス対策 <mark>規制</mark>) 油圧伸縮ジフ		Ш			(8)			
		計											

7) 中詰砕石設置 10 ㎡当たり単価表

	名		称		規	格	単位	数量	摘要
世		話		役			人		(8)
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~		~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
バ	ック	ホ	ウ 追	重転	基準値)・	策型(第 <u>3</u> 次 クローラ型 (平積 0.6 ㎡)	h		(8)
		計							

8) (略)

3) 中詰ブロック設置 100 m³当たり単価表

	名	陈	規格	単位	数量	摘要
世	話	役		人		(8)
\sim	(略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレレーン	_ >	排出ガス対策型(<u>変</u> <u>基準値</u>) 油圧伸縮ジブ型 25	 日		(8)備考 6 必要に応じ計上
諸	雑	費		式	1	(8)
	計					

4) 中詰客土設置 100 m³当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人		(8)
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
山 林 砂 防 工(普通作業員)		11		II .
客 土		m³		(8) 備考 8
ラフテレーン クレーン賃料	排出ガス対策型 (<u>第1次</u> <u>基準値</u>) 油圧伸縮ジブ型 25 t 吊	日		(8)
計				

5) 中詰植生土のう設置 1,000 袋当たり単価表

	名		称		規	格	単位	数量	摘	要
世		話		役			人		(8)	
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~		~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
ラク	ファ	テレーン	/」	/	排出ガス対策 <u>基準値</u>) 油圧伸縮ジブ		田		(8)	
		計								

6) 中詰割石又は栗石設置 10 m³当たり単価表

	名	,	称		規	格	単位	数量	摘	要
世		話		役			人		(8)	
\sim	(略)	\	~ (略) ~		~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
ラク	フラレー	テレーン	一賃	ン料	排出ガス対策 <u>基準値</u>) 油圧伸縮ジス	· <u></u>	日		(8)	
		計								

7) 中詰砕石設置 10 m³当たり単価表

	名		称		規	₹	各		単位		数量		摘	要	
世		話		役					人			(8)			
\sim	(略)	\	~ (略) ~	-		?	(略)	\sim	~ (略) ~	~	(略) ~		
バ	ック	ホ	ウ道	重転	排出ガス対 基準値)・ 山積 0.8 m	クロ	<u>一</u> ラ型		h			(8)			
		計													

8) (略)

9) 機械運転単価表

機	械	名	規格	適用単価表	指定事項
バッ	ク	ホウ	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基 準値)・クローラ型 山積 0.8 m ² (平積 0.6 m ²)	機-1	

4-1-3 現場打法枠工

- $(1) \sim (3)$ (略)
- (4) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

	1/20 1/2	/ // //	H 101	912C D	_	/ 90					
	作業	種別		機	械	名	規	格		摘	要
コ	ンク	リー	·	コンカゴ	_ l	ポンプ車	トラック架装	麦・ブー	ーム式	ブーム打	丁設及び酉
投	入	打	設	コンクリ	— r	か ノ ノ 単	90~110 m³/1	h		管打設に	適用
							排出ガス対策	型(<u>2</u>	<u>011年</u>		
型	柞	卆	工	ラフテレ	ーン	クレーン	<u>規制</u>)				
							油圧伸縮ジス	ブ型 25	t 吊		

備考 (略)

 $(5) \sim (12)$ (略)

4-1-4 簡易法枠工

- $(1) \sim (6)$
- (7) 単価表
- 1)~8) (略)

9) 機械運転単価表

<u></u>	1741740		,				11: 1 1:		
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項		
モ	ルタル	コン	クリー	- F	湿式・モータ駆動	機-15			
吹		付		機	0.8~1.2 m³/h	1成 13			
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 ㎡/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71		
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基 準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71		
ホ	イー	ル	п —	ダ	普通・排出ガス対策型(第 2次基準値) 山積 0.34 ㎡	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>14</u> 賃料数量→1.58		

(参考) (略)

4-1-5 現場吹付工

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1)~8) (略)

9) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価 表	指定事項
モルタルコンクリート	湿式・モータ駆動	機-25	機械損料数量→1.62

9) 機械運転単価表

機	械	名	規格	適用単価表	指定事項
バッ	ク		排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基 準値)・クローラ型 山積 0.8 ㎡(平積 0.6 ㎡)	機-1	

4-1-3 現場打法枠工

- $(1) \sim (3)$ (略)
- (4) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

	作業	種別		機械名			規	格	摘	要
コ	ンク	リー	7	コンクリ	_ 1 -	ポンプ宙	トラック架装	・ブーム式	ブーム打	設及び配
投	入	打	設	コンクリ	— r,	ハノノ甲	90~110 m³/h	1	管打設に通	適用
							排出ガス対策	型 (第1次		
型	柱	卆	工	ラフテレ	ーン:	クレーン	基準値)			
							油圧伸縮ジブ	型 25 t 吊		

備考 (略)

 $(5) \sim (12)$ (略)

4-1-4 簡易法枠工

- $(1) \sim (6)$
- (7) 単価表
- 1)~8) (略)

9) 機械運転単価表

<u>/</u>	(及)从 里	124-1	шх				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリー	- F	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	7茂一15	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン 掛(超低騒音型)排出ガス 対策型(第2次基準値) 10.5~11.0 ㎡/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基 準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71
ホ	イー	ル	п —	ダ	普通・排出ガス対策型(第 2次基準値) 山積 0.34 ㎡	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>15</u> 賃料数量→1.58

(参考) (略)

4-1-5 現場吹付工

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1)~8) (略)

9) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価 表	指定事項
モルタルコンクリート	湿式・モータ駆動	機-25	機械損料数量→1.6

吹					0.8~1.2 m³/h		
(法枠吹	付	の場合	•)			
モ	ルタル	コン	クリー	7			
吹		付		機		機-15	
(枠内吹	付	の場合	•)			
ホ	イー	ル	п —	ダ	普通・排出ガス対策型(第 2次基準値) 山積 0.34 ㎡	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>14</u> 賃料数量→1.58
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 ㎡/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基 準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

- 4-2 モルタル・コンクリート吹付工
- 4 2 1 (略)
- 4-2-2 モルタル吹付工
- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 施工単価
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

/	1/M 1/M		IMI-7-C				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モノ	ルタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8 \sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$		
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	II	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

- 4-2-3 コンクリート吹付工
- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 施工単価
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

機	械	名			規 格	適用単価表	指定事項
モ	・ルタ	ルコン	クリー	7	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8\sim1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$		
空	: 気	〔 圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 10.5~11.0 ㎡/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	」 発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	機一16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

吹			л II Л		0.8~1.2 m³/h		
	法枠吹						
	ルタル					Toke 4 =	
吹	枠内吹			機		機一15	
							 運転労務数量→0.80
ホ	ィー	ル	п —	ダ	普通・排出ガス対策型(第2次基準値) 山積0.34㎡	機-29	燃料消費量→15
					2 次基準値) 山積 0.34 m³		賃料数量→1.58
					可搬式スクリューエンジ		
空	気	圧	縮	機	ン掛(超低騒音型)排出ガ	機-16	燃料消費量→ <u>81</u>
		/	ЛΗ	1/20	ス対策型(第2次基準値)	1/20	賃料数量→1.71
					10.5~11.0 m³/min		
					ディーゼルエンジン駆動		I the let wite the III
発	動	発	電	機	(超低騒音型)	機一16	燃料消費量→ <u>36</u>
	294			1/24	排出ガス対策型(第3次基	1/2 20	賃料数量→1.71
					準値)45kVA		

4-2 モルタル・コンクリート吹付工

4 - 2 - 1 (略)

4-2-2 モルタル吹付工

- (1) ~ (6) (略)
- (7) 施工単価
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

· <u>/</u>	1/2/1/2/1	_ 1001 1	рц 27				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$		
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛 (超低騒音型) 排出ガス対策型 (第2次基準値) 10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	<i>II</i>	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-2-3 コンクリート吹付工

- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 施工単価
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	יוריאלור	从于村十	Щ八			
楔	ん 械	名		規格	適用単価表	指定事項
Ŧ	・ルタ	ルコン	クリーー	湿式・モータ駆動	機一15	
吵	7	付	杉	$\stackrel{\text{\ensuremath{\&}}}{=} 0.8 \sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$		
空	灵	. 圧	縮が	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	. 動	,発	電が	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値) 45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4-2-4 特殊配合モルタル吹付工A

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

	1)及1)从迁	_1241	- IIII 22				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	7茂一15	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min		燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71
種	子	吹	付	機	車載用 (種子専用) 2.5 m³	機一13	
1	ラ		ツ	ク	4~4.5 t 積	機-6	

(参考) (略)

- 4-2-5 特殊配合モルタル吹付工B
- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリ	<u>ا</u> 7	湿式・モータ駆動	機-15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	/茂一15	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-2-4 特殊配合モルタル吹付工A

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モル	ノタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	機一15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	7茂一15	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min		燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71
種	子	吹	付	機	車載用 (種子専用) 2.5 m³	機一13	
1	ラ		ツ	ク	4~4.5 t 積	機-6	

(参考) (略)

4-2-5 特殊配合モルタル吹付工B

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モル	レタル	コン	クリ	ا ب	湿式・モータ駆動	機-15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$		
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-2-6 特殊配合モルタル吹付工C

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

<u> </u>							
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリー	7	湿式・モータ駆動	機-15	
吹		付		機	$0.8 \sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	/茂一13	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値)45kVA	II	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-3 植生基材吹付工

- 4-3-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工
- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

· <u>/</u>	124124	_ 12-1	IIII >				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	機-15	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	7茂一15	
空	戾	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン 掛 (超低騒音型) 排出ガス対 策型 (第2次基準値) 10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基 準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71

4 - 3 - 2 (略)

4-3-3 客土吹付特殊工

- $(1) \sim (4)$ (略)
- (5) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
種	子	吹	付	機	車載式(種子専用)2.5 m³	機一13	
1	ラ		ツ	ク	4~4.5 t 積	機-6	
発	動	発	電	機	排出ガス対策型 ディーゼル エンジン駆動 13/15kVA	機-16	燃料消費量→ <u>17</u> 賃料数量→1.09

(参考) (略)

 $4 - 4 \sim 4 - 6$ (略)

4-2-6 特殊配合モルタル吹付工C

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

		機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
٦	モル	タル	コン	クリー			機一15	
吵	欠		付		機	$0.8 \sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	1)X 10	
2	te L	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン掛(超低騒音型)排出ガス対策型(第2次基準値)10.5~11.0 m³/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
多	Ě	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次 基準値) 45kVA	11	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

(参考) (略)

4-3 植生基材吹付工

4-3-1 植生基材吹付工・特殊植生基材吹付工

- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	1/2/1/20	_ 1=1	ΙЩ »				
	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
モ	ルタル	コン	クリ	ート	湿式・モータ駆動	₩ 1 E	
吹		付		機	$0.8\sim 1.2 \text{ m}^3/\text{ h}$	機-15	
空	気	圧	縮	機	可搬式スクリューエンジン 掛 (超低騒音型) 排出ガス対 策型 (第2次基準値) 10.5~11.0 ㎡/min	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
発	動	発	電	機	ディーゼルエンジン駆動 (超低騒音型) 排出ガス対策型(第3次基 準値)45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71

4 - 3 - 2 (略)

4-3-3 客土吹付特殊工

- $(1) \sim (4)$ (略)
- (5) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
種	子	吹	付	機	車載式(種子専用)2.5 m³	機-13	
1	ラ		ツ	ク	4~4.5 t 積	機-6	
発	動	発	電	機	排出ガス対策型 ディーゼル エンジン駆動 13/15kVA	機一16	燃料消費量→ <u>20</u> 賃料数量→1.09

(参考) (略)

 $4 - 4 \sim 4 - 6$ (略)

4-7 斜面安定工

4-7-1 鉄筋挿入工

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- 1)~5) (略)
- 6) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運転	排出ガス対策型 可搬式、エンジン駆動 18~19 ㎡/min	機-16	燃料 <u>消費</u> 量→ <u>139</u> 賃料数量→1.27

4-7-2 鉄筋挿入工(自穿孔)

 $1 \sim 7$ (略)

 $(1) \sim (6)$

(7) 機械運転単価表

() ()	10-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-		
機械名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運転	排出ガス対策型 可搬式、 エンジン駆動 7.5~7.8 m³/min	機16	燃料 <u>消費量→66</u> 賃料 <u>数量</u> →1.75

4 - 7 - 3 (略)

第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

 $5 - 1 \sim 5 - 4$ (略)

5-5 **基礎工・裏込工**

- 5-5-1 基礎・裏込砕石工
- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8)単価表
- 1) 2) (略)
- 3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準 値)・クローラ型		基礎砕石工 運転労務数量→0.58 燃料消費量→ <u>39</u> 賃 料 数量→0.79
	山積 0.8 m³ (平 積 0.6 m³)		裏込砕石工 運転労務数量→0.90 燃料消費量→ <u>61</u> 賃 料 数量→1.00

5-5-2 基礎・裏込栗石工

- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 単価表
- 1)~3) (略)
- 4) 機械運転単価表

/ /////								
機械名	規	格	適用単価表	指 定 事 項				
バックホウ	(第2次	m³	機-28	基礎栗石工(敷均し) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>68</u> 賃 料 数量→1.00 基礎栗石工(敷並べ) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→ <u>39</u> 賃 料 数量→0.79				

4-7 斜面安定工

4-7-1 鉄筋挿入工

- $(1) \sim (5)$ (略)
- (6) 単価表
- $1) \sim 5)$ (略)
 - 6) 機械運転単価表

機	械	名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧	縮植	幾運転	排出ガス対策型 可搬式、エンジン駆動 18~19 ㎡/min	機一16	燃料 <u>数</u> 量→ <u>164</u> 賃料数量→1.27

4-7-2 鉄筋挿入工(自穿孔)

 $1 \sim 7$ (略)

 $(1) \sim (6)$

(7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機運	排出ガス対策型 可搬式、	機─16	燃料→ <u>78</u>
転	エンジン駆動7.5~7.8 m³/min	機—16	賃料→1.75

4 - 7 - 3 (略)

第5 共通工(2) (土留工・擁壁工等)

 $5 - 1 \sim 5 - 4$ (略)

5-5 基礎工・裏込工

5-5-1 基礎・裏込砕石工

- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8) 単価表
- 1)・2) (略)
- 3) 機械運転単価表

7 12000	11-1-2-4		
機械名	規格	適用単価表	指定事項
	排出ガス対策型 (第2次基準 値)・クローラ型 山積0.8㎡(平 積0.6㎡)	機-28	基礎砕石工 運転労務数量 \rightarrow 0.58 燃料消費量 \rightarrow 41 賃 料 数量 \rightarrow 0.79 裏込砕石工 運転労務数量 \rightarrow 0.90 燃料消費量 \rightarrow 65 賃 料 数量 \rightarrow 1.00

5-5-2 基礎・裏込栗石工

- $(1) \sim (6)$ (略)
- (7) 単価表
- $1) \sim 3)$ (略)
- 4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ	排出ガス対策型 (第2次基準値) ・クローラ型 山積0.8 ㎡ (平積0.6 ㎡)	機-28	基礎栗石工(敷均し) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>72</u> 賃 料 数量→1.00 基礎栗石工(敷並べ) 運転労務数量→0.58 燃料消費量→ <u>41</u> 賃 料 数量→0.79

	裏込栗石工(かき込み)
	運転労務数量→0.90	燃料消費量→ <u>61</u>
	賃 料 数量→1.00	

5 - 5 - 3 (略)

 $5 - 6 \sim 5 - 8$ (略)

5-9 落石防護柵工 5-9-1 (略)

5-9-2 落石防止網(ロックネット)設置工

- $(1) \sim (11)$ (略)
- (12) 単価表
- 1)~10) (略)

11) 機械運転単価表

_				
	機械名	規格	適用単価表	指定事項
	簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0 t		運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.55</u>

(参考1) ~ (参考3) (略)

 $5 - 9 - 3 \sim 5 - 9 - 5$ (略)

 $5 - 10 \sim 5 - 18$ (略)

- 5-19 (参考歩掛) 目地・止水板設置工
- (1)・(2) (略)
- (3) 施工歩掛
- 1) 目地板設置歩掛 目地板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

目地板設置歩掛

(10 ㎡当たり)

名	称	単位	数量
世 話	役	人	<u>0. 22</u>
山 林 砂 (普通作	防 業 員)	11	<u>0. 76</u>

2) 止水板設置歩掛 止水板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

止水板設置歩掛

(10m当たり)

	名		称		単位	数量
世		話		役	人	<u>0. 14</u>
Щ	林	砂	防	工]]	<u>0.48</u>

裏込栗石工(かき込み)
運転労務数量→0.90 燃料消費量→ <u>65</u>
賃 料 数量→1.00

5 - 5 - 3 (略)

 $5 - 6 \sim 5 - 8$ (略)

5-9 落石防護柵工

5 - 9 - 1 (略)

5-9-2 落石防止網(ロックネット)設置工

- $(1) \sim (11)$ (略)
- (12) 単価表
- 1)~10) (略)

11) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0 t	機-23	運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→1.53

(参考1) ~ (参考3) (略)

 $5 - 9 - 3 \sim 5 - 9 - 5$ (略)

 $5 - 10 \sim 5 - 18$ (略)

5-19 (参考歩掛) 目地・止水板設置工

- (1)・(2) (略)
- (3) 施工歩掛
- 1) 目地板設置歩掛 目地板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

目地板設置歩掛

(10 ㎡当たり)

	名		称		単位	数量
世		話		役	人	<u>0.05</u>
山 (普	林通	砂作	防 業 」	(一 員	<i>II</i>	<u>0. 29</u>

2) 止水板設置歩掛 止水板の設置歩掛は、次表のとおりとする。

止水板設置歩掛

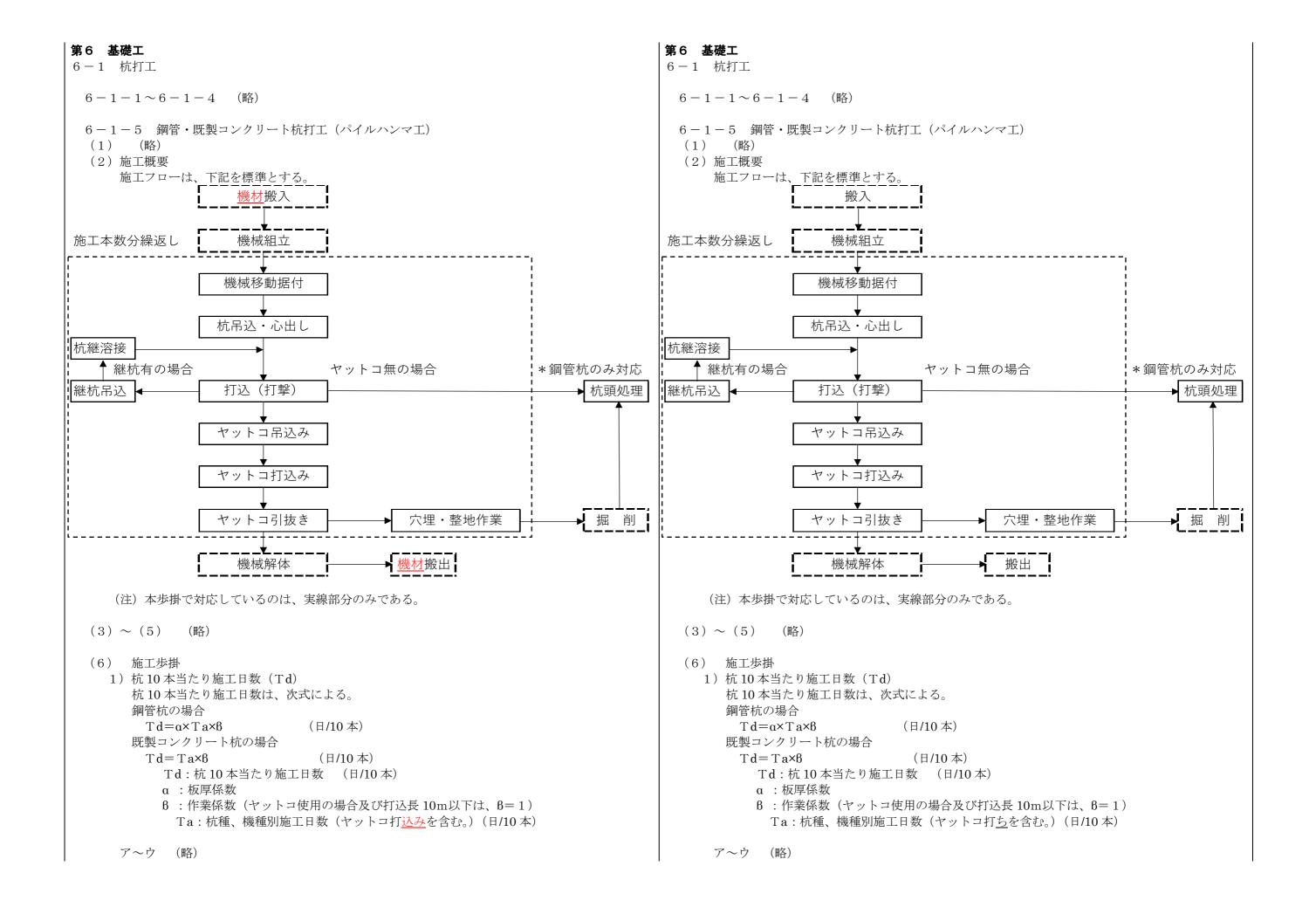
(10m当たり)

	名	称		単位	数量
世	言	舌	役	人	<u>0. 13</u>
Щ	林石	沙 防	Н	IJ	0.45

(普通作業員) (4) • (5) (略)

(普通作業員)

(4)・(5) (略)



2) (略)

(7) 諸雑費率

諸雑費率は、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限 として計上する。

1) 鋼管杭

鋼管杭打設による諸雑費は、裏当てリング及びストッパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ並びに溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料、設置・撤去・移設及び電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭なし	34
継杭あり	<u>15</u>

2) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

٠,							
	機械名	規	格	適用単価表	指	主事項	
		/		機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→1.77 燃料消費量→下記のとおりとする ラム質量 燃料消費量(Q/日) 2 t <u>87</u> 4~4.5 t <u>129</u> 6.5~8 t <u>125</u>		
		標準型・排出ガス対策型 (第2次基準値) 山積 0.28 ㎡(平積 0.2 ㎡)		機-28	10~12.5 t 運転労務数量− 燃料消費量→3. 機械賃料数量−	<u>. 5</u>	
	クローラクレーン	油圧駆動式ウ ブ型排出ガス 2 次基準値) 50~55 t 吊		機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→27 機械損料数量→ <u>1.13</u>		

4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表

機械名	規	格	適用単価表	指 定	事「	項
電気溶接機	ーク式・排		機-12	燃料消費量→ <u>27</u>		

2) (略)

(7) 諸雑費率

諸雑費率は、労務費、機械損料、機械賃料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限 として計上する。

1) 鋼管杭

鋼管杭打設による諸雑費は、裏当てリング及びストッパー、鋼バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、鋼管吊具、吊ワイヤー、先端補強バンド、ヤットコ並びに溶接機の損料、足場材(敷鉄板)賃料、設置・撤去・移設及び電力に関する経費、溶接ワイヤー等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を使用できる。

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭なし	34
継杭あり	<u>16</u>

2) (略)

(8) 単価表

1)・2) (略)

3) 機械運転単価表

<u>ر</u> د		丰 Ш				
	機械名	規	格	適用単価表	指分	主 事 項
•		油圧パマ直結三点支持	式	機-18	運転労務数量一機械損料数量→ 燃料消費量→下 ラム質量 2 t 4~4.5 t 6.5~8 t 10~12.5 t	
		標準型・排出 (第2次基準 山積 0.28 m ㎡)	隼値)	機-28	運転労務数量─ 燃料消費量→ <u>3.</u> 機械賃料数量─	→1. 00 8
	クローラクレーン	油圧駆動式が プ型排出ガス 2 次基準値) 50~55 t 吊		機-18	運転労務数量─ 燃料消費量→2′ 機械損料数量─	7

4) 鋼管杭杭頭処理用機械運転単価表

機械	名	規	格	適用単価表	指	定	事	項	
電気溶		ディーゼルエンジン ーク式・排出 (第1次基準 最大溶接電源	出ガス対策型 単値)	機-12	燃料消費量→3	<u>32</u>			

6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)

1 適用範囲

本歩掛は、中掘工(打撃又はグラウト注入(拡大根固め工法を含む。)による打止め)による鋼管 杭及び既製コンクリート杭(PHC杭、RC杭、SC+PHC杭)の施工に適用する。 なお、適用杭径は次表による。

摘用杭径

(削る。)	杭径 (mm)	<u>杭 種</u>
(削る。)	400~1000	鋼管杭
(別る。)	400~1000	既製コンクリート杭

掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次図により難い場合は、別途考慮する。

図 1-1・1-2 (略)

2 施工概要

(略)

施工フロー

備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 ヤットコは必要により施工

6-1-6 鋼管・既製コンクリート杭打工(中掘工)

1 適用範囲

本歩掛は、中掘工(打撃又はグラウト注入(拡大根固め工法を含む。)による打止め)による鋼管 杭及び既製コンクリート杭(PHC杭、RC杭、SC+PHC杭)の施工に適用する。 なお、適用杭径は次表による。

摘用杭径

工 法	杭径 (㎜)	<u>摘 要</u>
中堀工	400~1000	鋼管杭
中畑上 	400~1000	既製コンクリート杭

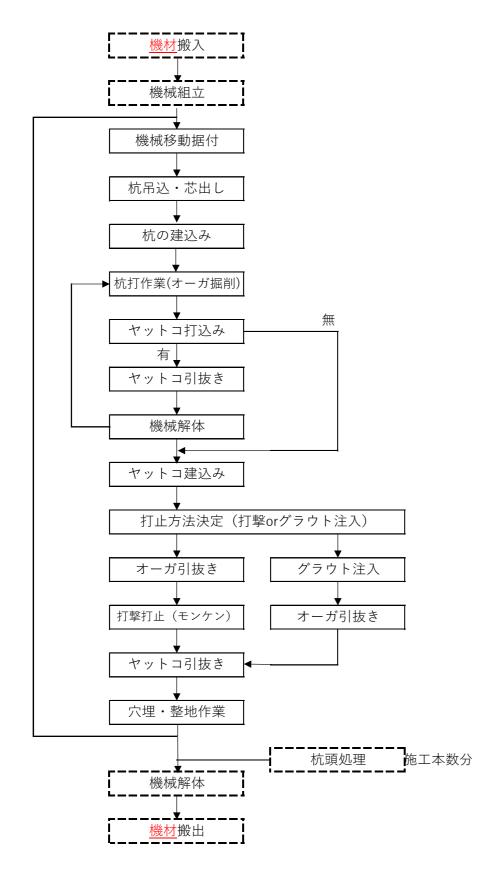
掘削長については、次図を標準とする。また、現場条件により次図により難い場合は、別途考慮する。

図 1-1・1-2 (略)

2 施工概要 (略)

施工フロー

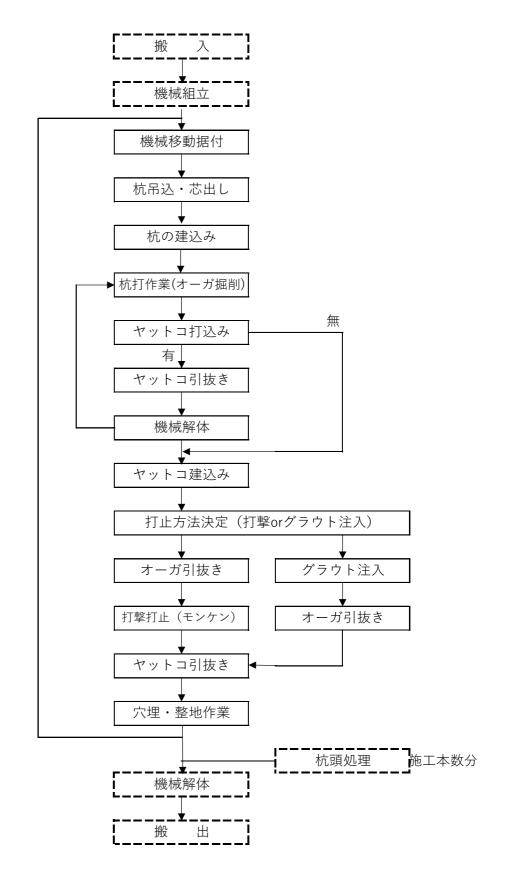
備考 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。 ヤットコは必要により施工



3 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。

 機種の選定

 機種
 規格
 単
 数
 量
 摘要



3 機種の選定 機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

		位		中	堀]
			施工杭径		施工杭径	施工杭径 φ1000	
			32m以下				
	直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~ 1,200mm リーダ 長21~33m	台	1	_	_	_	打撃方式 で あ場合の
アースオーガ中掘機	直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~ 1,200mm リーダ 長21~33m	"	_	1	1	1	モンケン 10 t は含 む。
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型排出ガ ス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)50~55 t 吊	l	=	1	1	_	
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型排出ガ ス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)80t吊	1 11	-	_	_	1	
ハ゛ックホウ	標準型・超低 <u>騒音</u> 型 排出ガス対策型(2014 年規制) ク ローラ型 山積 0.5 m³ (平積 0.4 m³)		-	1	1	1	掘処(業易を含む。)

4 (略)

5 施工歩掛

(1) 杭 10 本当たり施工時間 (Td)

杭10本当たり施工日数は、次式による。

鋼管杭の場合

 $Td = \alpha \times \beta \times Ta$

(日/10本)

(日/10本)

既製コンクリート杭の場合

 $Td = \alpha \times Ta$

α:土質係数

B: 板厚係数

Ta: 杭種、<u>施工方法</u>別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用できるものとする。)

①•② (略)

③ 杭種、施工方法別施工日数 (Ta)

ア 鋼管杭 (グラウト方式)

(日/10本)

掘削長 (m)			杭 径 (mm) 600 以上 700 以上 800 以上 900 以				
掘削長 (m <i>)</i> 	400 以上	500 以上	600以上	700以上	800以上	900以上	1000

		位		中	堀]
			φ 400	杭径) 以上) 未満 掘削長 32m超え	施工杭径 φ800 以上 φ1000 まで	施工杭径 φ1000	
	直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~ 1,200mm リーダ 長21~33m	台	1	_	_	_	打撃方式 で施工す る場合の
アースオーガ中掘機	直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~ 1,200mm リーダ 長 21~33m		_	1	1	1	モンケン 10 t は含 む。
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型排出ガ ス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)50~55 t 吊		1	1	1	_	
	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型排出ガ ス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値) 80 t 吊	l <i>II</i>	-	_	_	1	
ハ゛ックホウ	標準型・ 排出ガス対策型(<u>第2次</u> 基準値) クローラ型山積 <u>0.45</u> ㎡(平積 <u>0.35</u> ㎡)	"	1	l	1	1	掘処(業易を含む。)

4 (略)

- 5 施工歩掛
- (1) 杭10本当たり施工時間 (Td)

杭10本当たり施工日数は、次式による。

鋼管杭の場合

Td= α ×β×Ta (\Box /10 \Box)

既製コンクリート杭の場合

 $Td = \alpha \times Ta$ (日/10 本)

α: 土質係数

B: 板厚係数

Ta: 杭種、<u>機種</u>別施工日数 (ヤットコの建込み及び引抜きを含むが、不要の場合でも使用できるものとする。)

①・② (略)

③ 杭種、施工方法別施工日数 (Ta)

ア 鋼管杭 (グラウト方式)

(日/10本)

掘削長(m)			杭	径(mm)		
掘削長(m <i>)</i>	400以上	500以上	600以上	700以上	800 以上	900以上	1000

	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	
16m 以下	<u>1.78</u>	<u>1.86</u>	<u>1. 91</u>	<u>1. 98</u>	2.09	2.22	<u>2. 37</u>
16m を超え 32m 以下	3.41	<u>3. 69</u>	<u>3. 91</u>	<u>4. 17</u>	<u>4. 44</u>	<u>4. 73</u>	<u>5. 08</u>
32m を超え 48m 以下	<u>5. 03</u>	<u>5. 52</u>	<u>5. 90</u>	<u>6. 36</u>	<u>6. 79</u>	<u>7. 25</u>	<u>7. 78</u>
48m を超え 64m 以下	<u>6.65</u>	<u>7. 36</u>	<u>7. 90</u>	<u>8. 55</u>	9.14	<u>9. 76</u>	<u>10. 49</u>

イ 鋼管杭(打撃方式)

(日/10本)

							1/10/1/
			杭	径 ((mm)		
掘削長 (m)	400 以上	500 以上	600 以上	700 以上	800 以上	900 以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	
16m 以下	<u>1.86</u>	<u>1. 91</u>	<u>1. 93</u>	<u>1. 95</u>	<u>1. 97</u>	<u>2.00</u>	<u>2. 02</u>
16m を超え 32m 以下	<u>3. 48</u>	<u>3. 74</u>	<u>3. 92</u>	<u>4. 14</u>	<u>4. 33</u>	<u>4. 51</u>	<u>4. 73</u>
32m を超え 48m 以下	<u>5. 10</u>	<u>5. 57</u>	<u>5. 92</u>	<u>6. 33</u>	<u>6. 68</u>	<u>7. 02</u>	<u>7. 43</u>
48m を超え 64m 以下	<u>6. 73</u>	<u>7. 40</u>	<u>7. 91</u>	<u>8. 51</u>	9.03	<u>9. 54</u>	<u>10. 14</u>

ウ 既製コンクリート杭(グラウト方式)

(日/10本)

			杭	径 ((mm)		
掘削長 (m)	400 以上	500 以上	600 以上	700 以上	800 以上	900以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	1000
16m 以下	<u>1.77</u>	<u>1.87</u>	<u>1. 93</u>	<u>2. 00</u>	<u>2. 09</u>	<u>2. 22</u>	<u>2. 37</u>
16m を超え	3. 48	3. 73	3. 92	4. 12	4. 33	4. 59	4 02
32m 以下	<u>5. 40</u>	<u> 5. 75</u>	<u>5. 92</u>	4. 12	4. 00	4. 09	<u>4. 93</u>
32m を超え	5 10	5 60	5 02	6. 25	6. 56	6 05	7 40
48m 以下	<u>5. 19</u>	<u>5. 60</u>	<u>5. 92</u>	<u>0. 20</u>	<u>0. 50</u>	<u>6. 95</u>	<u>7. 49</u>
48m を超え	6.00	7 46	7 01	0 20	9 70	0.22	10.05
64m 以下	<u>6. 90</u>	<u>7. 46</u>	<u>7. 91</u>	<u>8. 38</u>	<u>8. 79</u>	<u>9. 32</u>	<u>10. 05</u>

エ 既製コンクリート杭(打撃方式)

(日/10本)

			杭	径 (mm)		
掘削長(m)	400 以上	500 以上	600 以上	700以上	800以上	900以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	1000
16m 以下	<u>1.86</u>	<u>1. 91</u>	<u>1. 93</u>	<u>1. 95</u>	<u>1. 97</u>	<u>2.00</u>	<u>2. 02</u>
16m を超え 32m 以下	3. 57	3.77	3.92	4.08	<u>4. 21</u>	4.37	<u>4. 58</u>
32m を超え 48m 以下	<u>5. 28</u>	<u>5. 63</u>	<u>5. 92</u>	<u>6. 21</u>	<u>6. 44</u>	<u>6. 73</u>	<u>7. 14</u>
48m を超え 64m 以下	6. 99	7. 49	7. 91	<u>8. 34</u>	<u>8. 68</u>	9. 10	<u>9. 70</u>

	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	
16m 以下	<u>1.76</u>	<u>1.84</u>	<u>1.89</u>	<u>1. 96</u>	<u>2.06</u>	<u>2. 19</u>	<u>2.34</u>
16m を超え 32m 以下	3. 36	<u>3. 65</u>	<u>3.86</u>	<u>4. 12</u>	<u>4. 38</u>	<u>4. 68</u>	<u>5. 02</u>
32m を超え 48m 以下	4. 97	<u>5. 46</u>	<u>5. 83</u>	<u>6. 28</u>	<u>6. 70</u>	<u>7. 16</u>	7.69
48m を超え 64m 以下	<u>6. 57</u>	<u>7. 27</u>	<u>7.80</u>	8. 44	9.03	<u>9. 64</u>	<u>10. 36</u>

イ 鋼管杭(打撃方式)

(日/10本)

						()	a / 10 / T·/
			杭	径((mm)		
掘削長(m)	400 以上	500 以上	600 以上	700 以上	800 以上	900 以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	
16m 以下	<u>1.84</u>	<u>1.88</u>	<u>1. 91</u>	<u>1. 93</u>	<u>1. 95</u>	<u>1. 97</u>	<u>2.00</u>
16m を超え 32m 以下	3. 44	3.69	3.88	4.09	4. 27	<u>4. 46</u>	<u>4. 67</u>
32m を超え 48m 以下	<u>5. 04</u>	<u>5. 50</u>	<u>5. 85</u>	<u>6. 25</u>	<u>6. 59</u>	6.94	<u>7. 34</u>
48m を超え 64m 以下	<u>6. 65</u>	<u>7.31</u>	<u>7.82</u>	<u>8. 41</u>	<u>8. 92</u>	9.42	<u>10. 01</u>

ウ 既製コンクリート杭(グラウト方式)

(日/10本)

			杭	径(mm)		
掘削長(m)	400 以上	500以上	600以上	700 以上	800以上	900以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	1000
16m 以下	<u>1.75</u>	<u>1.85</u>	<u>1. 90</u>	<u>1. 97</u>	<u>2. 07</u>	<u>2. 19</u>	<u>2.34</u>
16m を超え	3. 44	3. 69	3. 87	4. 07	4. 27	4. 53	4.87
32m 以下	<u> </u>	<u>5.05</u>	5.01	4.01	4. 21	4.00	4.01
32m を超え	<u>5. 13</u>	5. 53	5. 84	6. 18	6. 48	6.87	7.40
48m 以下	<u>0. 10</u>	<u> </u>	<u>J. 04</u>	0. 10	0.40	0.01	1.40
48m を超え	6. 82	7. 37	7. 82	8. 28	8. 69	0.21	0 03
64m 以下	0.02	1.31	1.02	0. 20	<u>0.09</u>	<u>9. 21</u>	<u>9. 93</u>

エ 既製コンクリート杭(打撃方式)

(日/10本)

						()	4 / 10 / T */
			杭	径 (mm)		
掘削長(m)	400 以上	500 以上	600以上	700 以上	800 以上	900 以上	1000
	500 未満	600 未満	700 未満	800 未満	900 未満	1000 未満	1000
16m 以下	<u>1.84</u>	<u>1.88</u>	<u>1. 91</u>	<u>1. 93</u>	<u>1. 95</u>	<u>1. 97</u>	<u>2.00</u>
16m を超え	3. 53	2 79	3. 88	4 02	1 16	1 21	1 59
32m 以下	<u> 5. 55</u>	<u>3. 72</u>	<u>3. 00</u>	<u>4. 03</u>	4. 16	<u>4. 31</u>	<u>4. 53</u>
32m を超え	5. 22	5. 56	5. 85	6. 14	6. 36	6. 65	7 05
48m 以下	<u> 5. 22</u>	<u>5. 50</u>	<u>ə. 6ə</u>	0.14	0. 30	<u>0.00</u>	<u>7. 05</u>
48m を超え	6 01	7. 40	7. 82	8. 24	8. 57	8. 99	9. 58
64m 以下	<u>6. 91</u>	1.40	1.04	0.24	0. 31	0.99	<u>9. 00</u>

(2) 杭頭処理

杭頭処理の適用については、6-1-5鋼管・既製コンクリート杭打工 (パイルハンマエ)及び6-1-10 鋼管・既製コンクリート杭打工 (杭打処理工) により別途計上する。

(3) 諸雑費

諸雑費は、労務費、材料費(杭)、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を 上限として計上する。

① 鋼管杭(打擊方式)

中掘工(打撃打止め)による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接<u>ワイヤ</u>、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、<u>半自動</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸経費率を適用できる。

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

	(/0 /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>32</u>
継杭有り	<u>37</u>

(削る。)

② 既製コンクリート杭(打撃方式)

中掘工(打撃打止め)による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接<u>ワイヤ</u>、吊ワイヤ、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、<u>半自動</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率 (既製コンクリート杭)

(%)

	() - /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>24</u>
継杭有り	<u>28</u>

③ 鋼管杭 (グラウト方式)

中掘工(グラウト注入)による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材(セメントミルク)、溶接<u>ワイヤ</u>、鋼管吊具、吊ワイヤ、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、<u>半自動</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

(2) 杭頭処理

杭頭処理の適用については、6-1-5鋼管・既製コンクリート杭打工 (パイルハンマエ)及び6-1-10鋼管・既製コンクリート杭打工 (杭打処理工)による。

(3) 諸雑費

諸雑費は、労務費、材料費(杭)、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を 上限として計上する。

① 鋼管杭(打擊方式)

中掘工(打撃打止め)による鋼管杭打込の諸雑費は、溶接<u>棒、現場溶接にて行う杭先端加工費(労務費、材料費を含む。</u>)、鋼管吊具、吊ワイヤ<u>ー</u>、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、<u>交流</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸経費率を適用できる。

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

	(/0 /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>27</u>
継杭有り	<u>29</u>

(注) 杭先端加工費とは、周辺摩擦低減の為に杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭の 補強を目的とする費用は含まない。

② 既製コンクリート杭(打撃方式)

中掘工(打撃打止め)による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、溶接<u>棒</u>、吊ワイヤ<u>ー</u>、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、<u>交流</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)の運転、電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率 (既製コンクリート杭)

(%)

	() - /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	9
継杭有り	<u>23</u>

③ 鋼管杭 (グラウト方式)

中掘工(グラウト注入)による鋼管杭打込の諸雑費は、グラウト材(セメントミルク)、溶接棒、現場溶接にて行う杭先端加工費(労務費、材料費を含む。)、鋼管吊具、吊ワイヤー、裏当てリング及びストッパー、銅バンド、ずれ止め、ずれ止め用ストッパー、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、交流アーク溶接機損料、空気圧縮機(排出ガス対策型)、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無及びずれ止め、ずれ止め用ストッパーの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>58</u>
継杭有り	48

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

④ 既製コンクリート杭(グラウト方式)

中掘工 (グラウト注入) による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材 (セメントミルク)、溶接<u>ワイヤ</u>、吊ワイヤ、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材 (敷鉄板) 賃料及び設置・撤去・移設、<u>半自動</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機 (排出ガス対策型)、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率 (既製コンクリート杭)

(%)

	(/0 /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>52</u>
継杭有り	<u>40</u>

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

6 単価表

(1) 中堀工(打撃打止め)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当たり単価表

	15 17	*****		
名称	規格	単位	数量	摘要
世 話 役		人	Td $ imes$ 1	
溶 接 工		IJ	Td×1	4 必要に応じ て計上する。
と び エ		IJ	Td $ imes$ 1	
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		IJ	Td×1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガ アースオーガ中 堀 機 運 転		日	Td	
クローラクレーン 運 転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第○次基準 値)○○ t 吊	11	Td	
ハ゛ックホウ運 転	標準型・ <mark>超低騒音型</mark> 排出ガス対策型(<u>2014 年規</u> <u>制</u>) クローラ型 山積 <u>0.5</u> ㎡(平積 <u>0.4</u> ㎡)	IJ.	Td	
諸 雑 費		式	1	(5)-3)-7
計				

(注) Td: 杭10本当たり施工日数

諸雑費率 (鋼管杭)

(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>52</u>
継杭有り	38

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

杭先端加工費とは、周辺摩擦低減のために杭先端内部に現場で加工する費用のことであり、杭 の補強を目的とする費用は含まない。

④ 既製コンクリート杭 (グラウト方式)

中掘工 (グラウト注入) による既製コンクリート杭打込の諸雑費は、グラウト材 (セメントミルク)、溶接<u>棒</u>、吊ワイヤ<u>ー</u>、オーガスクリュ、オーガヘッド、ヤットコ、足場材 (敷鉄板) 賃料及び設置・撤去・移設、<u>交流</u>アーク溶接機損料、空気圧縮機 (排出ガス対策型)、モルタルプラント運転及び電力に関する経費等の費用である。なお、ヤットコの有無にかかわらず本諸雑費率を適用できる。

諸雑費率 (既製コンクリート杭)

(%)

	() - /
継杭の有無	諸雑費率
継杭無し	<u>36</u>
継杭有り	<u>33</u>

(注) 拡大根固め工法も上表の率を適用する。

6 単価表

(1) 中堀工(打撃打止め)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当たり単価表

(1) 下畑工(1)事11工の) による婀目・��表コンプリ	1.45 61 1	$\mathcal{L}^{\text{IU}}\mathcal{A}$ $\exists \mathcal{L}^{\text{U}}$	7 平 川 八
名称	規格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人	Td $ imes$ 1	
溶 接 工		IJ	Td× 1	4 必要に応じ て計上する。
と び エ		IJ	Td $ imes$ 1	
山 林 砂 防 工 (普 通 作 業 員)		IJ	Td $ imes$ 1	
杭		本	10	
クローラ式アースオーガアースオーカ 中 堀 機 運 転	I I	日	Td	
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第○次基準 値)○○ t 吊	IJ	Td	
ハ゛ックぉウ運 転	標準型・排出ガス対策型(<u>第</u> 2 <u>次基準値</u>) クローラ型 山積 <u>0.45</u> ㎡(平積 <u>0.35</u> ㎡)	"	Td	
諸 雑 費		式	1	(5)-3)-7
計				
(34) m1 44 10 4 1/12 10 4	トー ロ 4/.			

(注) Td: 杭10本当たり施工日数

(2) 中堀工(グラウト注入)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当たり単価表

	名		称		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	Td $ imes$ 1	
溶		接		エ		II	Td×1	4 必要に応じ て計上する。
特	殊	作	業	員		IJ	Td $ imes$ 1	
と		Ţ		Т		IJ	Td $ imes$ 1	
山 (林 普 通	砂 作	防 業 貞	軍(一八		11	Td× 1	
		杭				本	10	
1	ローラコスオーカ	-		-		日	Td	
力口	ローラク	ν	ーン 追	重転	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第○次基準 値)○○ t 吊	"	Td	
n	*	ホ	り 運	転	標準型・ <u>超低騒音型</u> 排出ガス対策型(<u>2014 年規</u> <u>制) クローラ型</u> 山積 <u>0.5</u> ㎡(平積 <u>0.4</u> ㎡)	"	Td	
諸		雑		費		式	1	5-(3)-2
		計						

(注) Td: 杭10本当たり施工日数

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アー	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33 m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>57</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
スオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~1,200mm リーダ長 21~33 m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
hp. = h1 (-) (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス 対策型(第 <u>3</u> 次基準値)50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>56</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス 対策型(第 <u>3</u> 次基準値)80 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>82</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
ハ゛ックホウ	標準型・ <u>超低騒音型</u> 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) クローラ型 <u>0.5</u> ㎡ (平積 <u>0.4</u> ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>45</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>

(2) 中堀工(グラウト注入)による鋼管・既製コンクリート杭打込10本当たり単価表

	名		称		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	Td $ imes$ 1	
溶		接		エ		IJ.	Td× 1	4 必要に応じ て計上する。
特	殊	作	業	員		IJ	Td $ imes$ 1	
と		$\mathcal{C}_{\mathcal{C}}$		工		IJ	Td $ imes$ 1	
山 (林 普 通	砂作	防 業 貞	工 ("	Td× 1	
		杭				本	10	
1	ローラ式 スオーカ゛					日	Td	
					油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 排出ガス対策型(第○次基準 値)○○ t 吊	II	Td	
Λ	*	木	ウ 運	転	<u>クローラ型</u> 標準型・排出ガス対策型(<u>第</u> <u>2 次基準値</u>) 山積 <u>0.45</u> ㎡ (平 積 <u>0.35</u> ㎡)	JJ	Td	
諸		雑		費		式	1	5-(3)-2
		計						

(注) Td: 杭10本当たり施工日数

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
クローラ式アー	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 55kW 公称杭径 400~1, 200mm リーダ長 21~33 m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>61</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>
スオーガ	アースオーガ中掘機・直結三点支持式 オーガ出力 90kW 公称杭径 400~1, 200mm リーダ長 21~33 m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>77</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>
カローラカレーソ	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス 対策型(第 <u>2</u> 次基準値)50~55 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>51</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス 対策型(第 <u>1</u> 次基準値)80 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>66</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
ハ゛ックホウ	標準型・排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) クローラ型 山積 <u>0.45</u> ㎡ (平積 <u>0.35</u> ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39</u> 機械損料数量→ <u>1.50</u>

6-1-7 (参考歩掛) 木杭打工(大型ブレーカ)

- $(1) \sim (4)$ (略)
- (5) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
大型ブレーカ (バックホウ装 着)	油圧式 600~800kg	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量 1→1.40 バックホウ排出ガス対策型・クローラ 型山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³) 機械損料数量 2→1.40 大型ブレーカ(油圧式 600~800 kg)

6-1-8 鋼管・既製コンクリート杭打工(鋼管ソイルセメント杭工)

 $1 \sim 6$ (略)

7 諸雑費

諸雑費は、電力に関する経費、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削撹拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 7. 1 諸雜費率(%)

	H D / I
継杭の有無	諸雑費率
継杭なし	<u>26</u>
継杭あり	<u>27</u>

8 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

(2) 城城连钩车	- Ш		
機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ式枯灯機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1, 500 mm 最大施工深度 70 m オーガ出力 110~150kw	科	運転労務数量→0. 19 燃料消費量→13
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65 t 吊排出ガス対策型(第1次基準 値)	<u>₩₩</u> —	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型(第3次基準値)	科	運転労務数量→0.17 燃料消費量→18
	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	科	運転労務数量→0.16 燃料消費量→ <u>9.2</u>

6-1-9 鋼管・既製コンクリート杭打工(回転杭工)

 $1 \sim 5$ (略)

6 単価表

6-1-7 (参考歩掛)木杭打工(大型ブレーカ)

- $(1) \sim (4)$ (略)
- (5) 単価表
- 1) (略)
- 2) 機械運転単価表

機	械	名	規格	適用単価表	指 定 事 項
大型フ (バッ 着)		トウ生	油圧式 600~800kg	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→62 機械損料数量 1→1.39 バックホウ排出ガス対策型・クローラ 型山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡) 機械損料数量 2→1.39 大型ブレーカ (油圧式 600~800 kg)

6-1-8 鋼管・既製コンクリート杭打工(鋼管ソイルセメント杭工)

 $1 \sim 4$ (略)

7 諸雑費

諸雑費は、電力に関する経費、足場材(敷鉄板)賃料及び設置・撤去・移設、溶接機と付属機材及び溶接材料の費用、口元管、ヤットコ、掘削撹拌ヘッド及びロッド、鋼管キャップ・カラー、ロッドスタビライザ、スタビライザブラケット、下部振れ止め、ロッド吊金具、高圧洗浄機等の費用であり、労務費、機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 7. 1 諸雑費率(%)

継杭の有無	諸雑費率
継杭なし	<u>27</u>
継杭あり	28

8 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

(2) 极极连钩牛			
機械名	規格	適用単価表	指定事項
クローラ式枯灯機	鋼管ソイルセメント杭打機 杭径 900~1, 500 mm 最大施工深度 70 m オーガ出力 110~150kw	科 —	運転労務数量→0.19 燃料消費量→13
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 60~65 t 吊排出ガス対策型(第1次基準 値)	科 —	運転労務数量→0.17 燃料消費量→12
	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 90 t 吊排出ガス対策型(第3次基準値)		運転労務数量→0.17 燃料消費量→18
	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値) 山積 0.5 m³(平積 0.4 m³)		運転労務数量→0.16 燃料消費量→ <u>9.8</u>

6-1-9 鋼管・既製コンクリート杭打工(回転杭工)

 $1 \sim 5$ (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
全回転型オールケー シング掘削機 (回転杭用)	ケーシングドライバ (スキッド式 ・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削 径 2,000 mm 排出ガス対策型 (第 3 次基準値)		運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>150</u> 機械損料数量→ <u>1.49</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型(第 3 次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>121</u> 機械損料数量→ <u>1.53</u>
クローラクレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→2.1 機械賃料数量→1.64
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積 0.5 ㎡(平積 0.4 ㎡)	機-28	運転労務数量→0.28 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.59

(注) (略)

6 - 1 - 10 (略)

第7 (略)

7-1 土留工・擁壁工

 $7 - 1 - 1 \sim 7 - 1 - 6 \qquad (\mathfrak{B})$

<u>7-1-7</u> (参考歩掛) 木製枠工 (ユニット式)

<u>1</u> 適用範囲

本歩掛は、工場で製作された組み立てが容易な木製枠に、栗石、砕石及び現地発生材などの中詰材を 詰める構造体で、積工、土留工等に適用する。構造体に使用する角材は45 mm程度を標準とする。

2 施工歩掛

木製枠工(ユニット式)の施工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.1 施工歩掛

(中詰:割栗石-機械)

(10m当たり)

<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u>(10m 3 /2 / / / / / / / / / / / / / / / / / </u>
世話役		人	0.09	組立等指導
山林砂防工 (普通作業員)		人	<u>0.34</u>	<u>小運搬、組立、据付、詰石補助、</u> <u>シート設置</u>
バックホウ運転経費	<u>山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)</u>	時間	<u>0.54</u>	中詰材投入

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
全回転型オールケー シング掘削機 (回転杭用)	ケーシングドライバ (スキッド式 ・ディーゼル/油圧駆動) 最大掘削 径 2,000 mm 排出ガス対策型 (第 3 次基準値)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>174</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型 100 t 吊 排出ガス対策型(第 3 次基準値)		運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.51</u>
I/フローフ/フレーソ	油圧伸縮ジブ型 4.9 t 吊 排出ガス対策型(第3次基準値)	機-28	運転労務数量→0.18 燃料消費量→2.1 機械賃料数量→1.64
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型(第3次基準値)山積0.5 m³ (平積0.4 m³)	機-28	運転労務数量→0.28 燃料消費量→ <u>11</u> 機械賃料数量→1.59

(注) (略)

6 - 1 - 10 (略)

第7 (略)

7-1 土留工・擁壁工 7-1-1~7-1-6 (略)

(新設)

山積 0.45 ㎡	(平積 0.35 m³)	時間	0.81
山積 0.13 ㎡	(平積 0.1 m³)	且	0.45

(中詰:割栗石-人力)

(10m当たり)

<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u>摘要</u>
世話役		人	0.09	組立等指導
山林砂防工		1	0.00	小運搬、組立、据付、詰石、シー
(普通作業員)			0.88	<u>卜設置</u>

(中詰:土砂-機械)

(10m当たり)

				(Tom
<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u>摘要</u>
世話役		人	<u>0.06</u>	組立等指導
山林砂防工		į	0.21	小運搬、組立、据付、詰土補助、
(普通作業員)		<u> </u>	<u>0.31</u>	シート設置
	<u>山積 0.8 m³(平積 0.6 m³)</u>	時間	<u>0.12</u>	
バックホウ運転経費	山積 0.45 m³ (平積 0.35 m³)	時間	0.17	中詰材詰土
	<u>山積 0.13 ㎡(平積 0.1 ㎡)</u>	且	<u>0.10</u>	
タンパ運転 (60~80 kg)		且	<u>0.09</u>	中詰材転圧

(中詰: 土砂 - 人力)

(10m当たり)

<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u>摘要</u>
世話役		人	0.06	組立等指導
山林砂防工		Į.	0.79	小運搬、組立、据付、詰土、シー
(普通作業員)		<u> </u>	0.72	<u>卜設置</u>
タンパ運転 (60~80 kg)		且	<u>0.09</u>	中詰材転圧

- 備考 上表歩掛には小運搬は含まないため、現場条件により、使用材料の仮置場からの小運搬が必要な場合は別途計上する。
- 3 使用材料

木製枠工(ユニット式)の使用材料は次表を標準とする。

表3.1 使用材料

(中詰:割栗石)

(10m当たり)

<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	数量	<u>摘要</u>
木製枠(ユニット式)	$ \begin{array}{r} $	<u>基</u>	<u>6. 67</u>	
割栗石	<u>50∼150</u>	<u>m³</u>	<u>2.7</u>	
吸出防止シート	t = 10 mm (非分解性)	<u>m</u> ²		<u>設置数量 (m²) × (1+K)</u> K:補正係数 (+0.07)

(中詰:土砂)

(10m当たり)

	<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u> </u>
<u>木</u>	製枠(ユニット式)	$ \begin{array}{r} $	<u>基</u>	<u>6. 67</u>	
<u> </u>	·詰土砂		<u>m³</u>	2.9	
<u>±</u>	留シート	$t = 5 \sim 10 \text{ mm}$	<u>m²</u>	<u>5. 4</u>	

<u>4</u> 単価表 (1) 木製枠工(ユニット式)10m当たり単価表

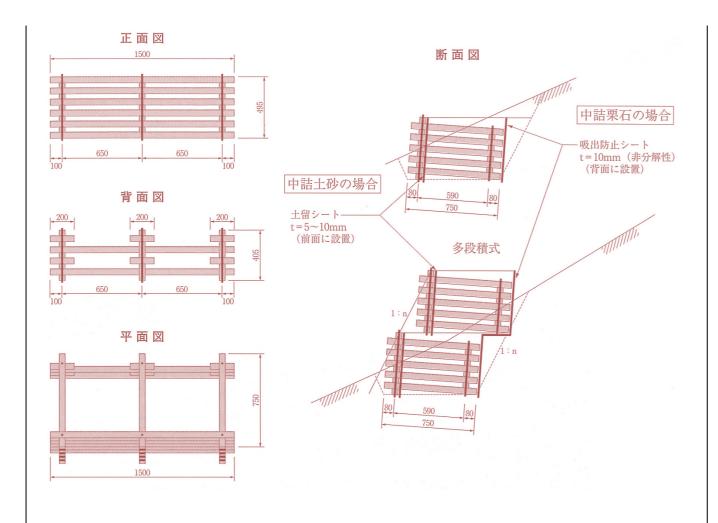
<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	数量	<u>摘要</u>
世話役		<u>人</u>		表 2.1
山林砂防工 (普通作業員)		丛		表 2 . 1
<u>バックホウ運転</u> <u>(小型バックホウ運転)</u>		<u>時間</u> (日)		表 2 . 1
タンパ運転		且		表 2.1
木製枠(ユニット式)		<u>基</u>		表 3.1
割栗石(中詰土砂)		<u>m</u> ³		表 3.1
<u>吸出防止シート</u> <u>(土留シート)</u>		<u>m</u> ²		<u>表3.1</u>

(2)機械運転単価表

<u>名称</u>	<u>規格</u>	摘要単価表	指定要項
<u>バックホウ</u> (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) 山積0.8 m³ (平積0.6 m³)	機 - 1	
<u>バックホウ</u> (クローラ型)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (2014 年規制) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)	機 - 1	
<u>小型バックホウ</u> (クローラ型)	後方超小旋回型・排出ガス対策型 <u>(2014 年規制)</u> 山積 0.13 ㎡ (平積 0.10 ㎡)	<u>機 - 18</u>	
<u>タンパ</u>	60∼80 kg	機 - 8	運転時間→5 h/日

(参考)

施工標準図



 $7 - 2 \sim 7 - 14$ (略)

第8 仮設工

8-1~8-3 (略)

8-4 水替工

8-4-1 水替工

 $(1) \sim (5)$ (略)

- (6) 単価表
- 1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機似連転単価表					
機械名	規格	摘用単価表	指 定 事 項		
工 事 用水中ポンプ		機-30	賃料数量→ (常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2		
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25KVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>67</u> 35kVA→ <u>98</u> 60kVA→ <u>168</u> 100kVA→ <u>264</u> 賃料数量→1.1		
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>22</u> 35kVA→ <u>33</u> 60kVA→ <u>56</u> 100kVA→ <u>88</u> 賃料数量→1.2		
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) ・クローラ型クレーン機能付 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>65</u> 賃料数量→1.16		

8-4-2 水替工(小口径)

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

I /	从 从是书中间公					
	機械名		規格		適用単価表	指 定 事 項
	発動発電	機	カ゛ソリンエンシ゛ン駆動 2kVA		機-16	燃料消費量→28(常時排水) <u>8.9</u> (作業時排水) 賃料数量→1.1
	発動発電	発 電 機 ディーセ・ルエンシ ン駆動 5kVA		機-16	燃料消費量 \rightarrow 20(常時排水) 6.7(作業時排水) 賃料数量 \rightarrow 1.1	
	バックホ	ウ	排出ガス対策型(第 2 基準値)・クローラ型 クレーン機能付山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)2.9 t 吊	次	機-28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→ <u>40</u> 機械賃料数量→1.00

 $8-5 \sim 8-7$ (略)

第8 仮設工

8-1~8-3 (略)

8-4 水替工

8-4-1 水替工

 $(1) \sim (5)$ (略)

- (6) 単価表
- 1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	摘用単価表	指 定 事 項				
エ 事 用水中ポンプ		機-30	賃料数量→ (常時排水) 1.1 (作業時排水) 1.2				
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25KVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(常時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>79</u> 35kVA→ <u>115</u> 60kVA→ <u>199</u> 100kVA→ <u>312</u> 賃料数量→1.1				
発動発電機	排出ガス対策型(第2次基準値) ディーゼルエンジン駆動 25kVA 35kVA 60kVA 100kVA	機-16	(作業時排水) 燃料消費量→25kVA→ <u>26</u> 35kVA→ <u>38</u> 60kVA→ <u>66</u> 100kVA→ <u>104</u> 賃料数量→1.2				
バックホウ	排出ガス対策型(第2次基準値) ・クローラ型クレーン機能付 山積 0.8 m³ (平積 0.6 m³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 賃料数量→1.16				

8-4-2 水替工(小口径)

(1)~(5) (略)

(6) 単価表

1)~3) (略)

4) 機械運転単価表

 7				
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項	
発動発電機	カ`ソリンエンシ`ン駆動 2kVA	機-16	燃料消費量 $\rightarrow 28$ (常時排水) <u>9</u> (作業時排水) 賃料数量 $\rightarrow 1.1$	
発 動 発 電 機	ディーゼルエンジン駆動 5kVA	機-16	燃料消費量 \rightarrow 24(常時排水) $\frac{7.9}{(作業時排水)}$ 賃料数量 \rightarrow 1.1	
バックホウ	排出ガス対策型(第2次 基準値)・クローラ型 クレーン機能付山積0.8 m³ (平積0.6 m³)2.9 t 吊	機-28	運転労務数量→0.68 燃料消費量→ <u>43</u> 機械賃料数量→1.00	

 $8 - 5 \sim 8 - 7$ (略)

8-8 仮囲い設置・撤去工 8-8-1 (略)

8-8-2 雪寒仮囲いエ 1~7 (略)

8 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

I .			
機械名	規格	適用単価表	摘要
バックホウ	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き・排出ガス対策型(2011 年規制) 山積/平積み 0.8 ㎡/0.6 ㎡	・排出ガス対策型(2011 年規制) 機-28	
業務用可搬型ヒータ (ジェットヒータ) 運転	油だき・熱風・直火型 126MJ/h (30、100kcal/h)油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5.2 機械賃料数量→1.20
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (50/60Hz)2.7/3KVA	機-24	燃料消費量→表 5.2 機械損料数量→ <u>1.21</u>

8-9 大型土のうエ

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) 単価表

 $1) \sim 5)$ (略)

6)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
ハ゛ックホウ(クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9 t 吊 山積0.8 m³(平積0.6 m³)	機-28	〔製作・設置〕 (バックホウによる設置) 運転労務サー1.00 燃料対サー1.39 (ラフランルによる設置) 運転判対サーンルによる設置) 運転判対サー1.00 燃料数サー1.44 〔製転労費量→1.44 〔製転労費量→1.44 〔製転労費量→1.44 〔選転判数量→1.44 〔設転判数量→1.36 「運転料数量→1.36 「運転判数量→1.00 燃料数量→1.36 「運転料数量→1.26

8-8 仮囲い設置・撤去工 8-8-1 (略)

8-8-2 雪寒仮囲い工 1~7 (略)

8 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	摘要
バックホウ	標準型・超低騒音型・クレーン機能 付き・排出ガス対策型(2011 年規制) 山積/平積み 0.8 m³/0.6 m³	機-28	運転労務数量→0.25 燃料消費量→ <u>18</u> 機械賃料数量→1.02
業務用可搬型ヒータ (ジェットヒータ) 運転	油だき・熱風・直火型 126MJ/h (30、100kcal/h)油種 灯油	機-16	燃料消費量→表 5.2 機械賃料数量→1.20
発動発電機	ディーゼルエンジン駆動 (50/60Hz)2.7/3KVA	機-24	燃料消費量→表 5.2 機械損料数量→1.20

8-9 大型土のうエ

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) 単価表

1)~5) (略)

6)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クレーン仕様)	超低騒音型・排出ガス対策型 (第3次基準値) クローラ型 クレーン機能付2.9 t 吊 山積0.8 m³(平積0.6 m³)	機-28	〔製作・設置〕 (バックホウによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>98</u> 賃料数量→1.39 〔製作・設置〕 (ラフテレーンクレーンによる設置) 運転労務数量→1.00 燃料消費量→1.44 〔製作〕 運転労務費量→1.00 燃料数量→1.12 賃料数量→1.44 〔設野務数量→1.00 燃料対量→1.36 〔撤転労消費量→1.00 燃料対数量→1.00 燃料対数量→1.36

8-10 敷鉄板敷設・撤去工

(1) • (2) (略)

(3) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1機種の選定

機械名	機械名		敷鉄板		
	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	設置	撤去		
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(<u>2014年規制</u>)山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡) 吊能力 2.9 t	0	0		

(注) (略)

(4) • (5) (略)

(6) 単価表

1) 敷鉄板設置 100 ㎡当たり単価表

从外队队员 100 出 1 亿 7 平面公					
名 称	規格	単位	数量	摘 要	
土木一般世話役		人	$1 \times 100/D$	表 4.1、表 4.2	
とび工]]	$1 \times 100/D$	JJ	
山林砂防工		"	1×100/D	,,	
(普通作業員)		"	1 × 100/ D	"	
	標準型・クレーン機能付排出				
バックホウ	ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)山	日	100/D	表 4.2	
(クローラ型) 運転	積 0.8 m³ (平積 0.6 m³) 吊能	Н	100/D	機械賃料	
	力 2.9 t				
諸雑費		式		表 5.1	
計					

2) 敷鉄板撤去 100 ㎡当たり単価表

从外队队出 100 m 1/2 / T m 4					
名 称	規格	単位	数量	摘 要	
土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1、表 4.2	
とび工]]	1×100/D	JJ	
山林砂防工 (普通作業員)		<i>II</i>	1×100/D	JJ	
バックホウ	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(<u>2014 年規制</u>)山 積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡) 吊能 力 2.9 t	日	100/D	表 4. 2 機械賃料	
諸雑費		式		表 5.1	
計					

3) (略)

8-10 敷鉄板敷設・撤去工

(1) • (2) (略)

(3) 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1機種の選定

機械名	規格	敷鉄板		
	次間	設置	撤去	
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>)山積 0.8 m³(平積0.6 m³) 吊能力2.9 t	0	0	

(注) (略)

(4) • (5) (略)

(6) 単価表

1) 敷鉄板設置 100 m²当たり単価表

次外(K)と 100 m コルケー個名					
名 称	規格	単位	数量	摘要	
土木一般世話役		人	1×100/D	表 4.1、表 4.2	
とび工		IJ	1×100/D	"	
山林砂防工 (普通作業員)		"	1×100/D	II	
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) 山積0.8 m³ (平積0.6 m³) 吊 能力2.9 t	日	100/D	表 4. 2 機械賃料	
諸雑費		式	_	表 5.1	
計					

2) 敷鉄板撤去 100 ㎡当たり単価表

ががいいか 100 田当たり 一個女					
名 称	規格	単位	数量	摘要	
土木一般世話役		人	$1 \times 100/D$	表 4.1、表 4.2	
とび工		IJ	$1 \times 100/D$	"	
山林砂防工 (普通作業員)		"	1×100/D	II	
バックホウ (クローラ型)運転	標準型・クレーン機能付排出 ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) 山積0.8 m³ (平積0.6 m³) 吊 能力2.9 t	日	100/D	表 4. 2 機械賃料	
諸雑費		式		表 5.1	
計					

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)運 転	標準型・クレーン機能付排 出ガス対策型 (2014 年規 <u>制</u>)山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡) 吊能力 2.9 t	機一28	【設置】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>119</u> 機械賃料数量→1.06 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>119</u> 機械賃料数量→1.06

8-11 鋼矢板 (H型鋼) エ (バイブロハンマエ・油圧圧入引抜工)

8-11-1 バイブロハンマエ

1・2 (略)

3 施工歩掛

- (1)機種の選定
- ① バイブロハンマの規格 (略)

ア 打込み(電動式バイブロハンマ)

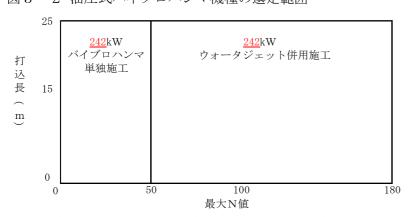
表3.1 機種の選定(電動式バイブロハンマ)

	0, 1/2/12	ア区化 (电別20) 1	, ,	
	施工方法	バイブロハンマ 単 独 施 工	ウォーター	-ジェット併用施工
	最大N値	Nmax<50	$50 \le N \max < 100$	100≦Nmax≦180
		電動式・普通型 6	0kW	電動式・普通型 90kW
打	15m以下	電動式・可変モー	メント型	電動式・可変モーメント型
込	込 (ハット型:		月) 60kW	(ハット型鋼矢板用)90kW
長	25m以下		電動式・普通型	90kW
	25加以下	電動式・戸	J変モーメント型(ハッ	ット型鋼矢板用)90kW
杭打ち用ウォー			エンジン式・排出ガ	ス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)
	」ら用リォー -ジェット	_	ポンプ圧力 14.7MPa	a、吐出量 3250/min× 2 台
	シエット		(14.7MPa 3250/min	×1台)(注1)

(注) (略)

イ 打込み(油圧式バイブロハンマ)

図3-2 油圧式バイブロハンマ機種の選定範囲



4) 機械運転単価表

P7417 10 = 11 1 1 1 1 1 1 1 1			
機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)運 転	標準型・クレーン機能付排 出ガス対策型(<u>第3次基準</u> <u>値</u>)山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡) 吊能力 2.9 t	機—28	【設置】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>112</u> 機械賃料数量→1.06 【撤去】 運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>112</u> 機械賃料数量→1.06

8-11 鋼矢板 (H型鋼) 工 (バイブロハンマエ・油圧圧入引抜工)

8-11-1 バイブロハンマエ

1・2 (略)

3 施工歩掛

- (1)機種の選定
- ① バイブロハンマの規格

(略)

ア 打込み (電動式バイブロハンマ)

表3.1 機種の選定(電動式バイブロハンマ)

	0. 1 / / / / / / / / / / / / / / / / / /	ア区化 (电影を)	, ,		
	施工方法	バイブロハンマ 単 独 施 工	ウォーター	-ジェット併用施工	
	最大N値	Nmax<50	$50 \le N \max < 100$	100≦Nmax≦180	
		電動式・普通型 6	0kW	電動式・普通型 90kW	
打	15m以下		メント型	電動式・可変モーメント型	
込		(ハット型鋼矢板月	月)60kW	(ハット型鋼矢板用)90kW	
長	25m以下	電動式・普通型 90kW			
		電動式・戸	式・可変モーメント型(ハット型鋼矢板用)90kW		
tit t	丁ち用ウォー		エンジン式・排出ガ	ス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)	
	」ら用リオー -ジェット	_	ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 3250/min× 2 台		
	シエット		(14.7MPa 3250/min	×1台)(注1)	

(注) (略)

イ 打込み(油圧式バイブロハンマ)

図3-2 油圧式バイブロハンマ機種の選定範囲

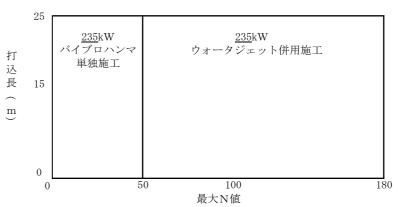


表3.2 機種の選定(油圧式バイブロハンマ)

	衣3.2 機種の選定(個圧式パイプロバンマ)						
		バイブロハン					
施工方法		マ	ウォータージェット併用施工				
		単独施工					
	最大N値	Nmax < 50	$50 \le N \max < 100$	100≦Nmax≦180			
打	95 N.T	油圧式・可変超	B高周波型・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) <u>・最大起</u>			
込		振力 473 k N・	<u>242</u> k W				
長	25m以下	油圧式·可変超	高周波型(ハット型鋼矢板用)	・排出ガス対策型(第3			
文		次基準値)・最	是大起振力 473 k N・242 k W				
1÷ +1	「ち用ウォータ		エンジン式・排出ガス対策型	!(第 <u>3</u> 次基準値)			
	「ら用リオータ ^ジ ェット	_	ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量	計 325ℓ/min×2台			
	エット		(14.7MPa 325ℓ/min×1台)	(注1)			

(注) (略)

ウ 引抜き

引抜作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表のとおりとする。

表3.3 引抜作業の機種の選定

	JIJX IF X • J	及住 シスピ			
	電動式バイブロハンマ		油圧式バイブロハンマ		
	引 抜 長	規格	引 抜 長	規格	
鋼 矢 板 H 形 鋼	25m以下	60kW	25m以下	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準 値)・最大起振力 473kN・242kW	

(注) (略)

② 付属機械

(略)

表3.4 付属機械の機種の選定

	禹城城が飛出りまた		
バイブロハンマ種別	施工内容	機械名	規格
電動式バイブロハンマ	打込み(WJ 併用施工を 含む。)・引抜き	クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(2014 年
油圧式バイブロハンマ	打込み(WJ併用施工を 含む。))	<u>規制</u>)50~55 t 吊
何圧び、17 四77	引抜き	ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)25 t 吊

(注) (略)

表3.5 (略)

- (2) (略)
- (3) 日当たり施工枚(本)数
- ①・② (略)

表3.2 機種の選定(油圧式バイブロハンマ)

	式 0: 1					
施工方法		バイブロハン マ 単独施工	ウォータージェッ	,卜併用施工		
	最大N値	Nmax<50	$50 \leq N \max < 100$	100≦Nmax≦180		
打 込 25m以下 長		油圧式・可変制	B高周波型・排出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準値) <u>235</u> kW		
杭打ち用ウォータ ージェット		_	エンジン式・排出ガス対策型 ポンプ圧力 14.7MPa、吐出 (14.7MPa 3250/min×1台)	量325ℓ/min×2台		

(注) (略)

ウ 引抜き

引抜作業に使用する機械・規格は、N値にかかわらず次表のとおりとする。

表3.3 引抜作業の機種の選定

	電動式バイ	イブロハンマ	油圧	三式バイブロハンマ
	引 抜 長	規格	引 抜 長	規格
鋼 矢 板 H 形 鋼	25m以下	60kW		油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準 値) <u>235</u> kW

(注) (略)

② 付属機械

(略)

表3.4 付属機械の機種の選定

バイブロハンマ種別	施工内容	機械名	規格
電動式バイブロハンマ	打込み(WJ 併用施工を 含む。)・引抜き		油圧駆動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型(第1次
油圧式バイブロハンマ	打込み(WJ併用施工を 含む。))	<u>基準値</u>)50~55 t 吊
(四) 工工(八 1) 四(八)	引 抜 き	フフテレーソカレーソ	油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)25 t 吊

(注) (略)

表3.5 (略)

- (2) (略)
- (3) 日当たり施工枚(本)数
- ①・② (略)

③ 継施工費

継施工が必要な場合の費用は、<u>次表による。</u>

	鋼矢板·H形鋼型式	継施工費(円/箇所)		
	Ⅱ型	<u>8, 160</u>		
	Ⅲ型	<u>8, 580</u>		
	IV型	<u>8,880</u>		
	$ m V_{\scriptscriptstyle L}$ 型	<u>12, 200</u>		
錮	VIL型	12,500		
鋼矢板	Ⅱ w型	<u>9, 760</u>		
板	Ⅲw型	<u>10, 000</u>		
	Ⅳw型	<u>10,600</u>		
	10H型(ハット)	<u>15, 800</u>		
	25H型(ハット)	<u>16, 900</u>		
	H250	<u>28, 800</u>		
H 形	H300	<u>36, 300</u>		
鋼	H350	<u>50, 900</u>		
	H400	73, 400		

(注) (略)

④ (略)

(4) 諸雑費

(略)

表 3 35 諸雑費率 (%)

衣 3.	表 3. 35							
				諸 雑 費 率				
	バイブロハンマ 機種・規格		継施工なし		継施工あり			
施工区分			普通・広幅鋼矢板H形鋼	ハット形鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形鋼矢板	H形鋼	
		60kW	19	16	17	15	17	
	電動式	OUKW	13	11	12	11	12	
バイブロハ	电别八	90kW	22	18	20	17	20	
ンマ単独施		90KW	15	13	14	12	14	
工・打込み	油圧式	<u>242</u> kW	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1	
	電動式 —	60kW	18 (22)	16 (19)	18 (21)	16 (19)	17 (20)	
			14(16)	13 (15)	14 (16)	13 (15)	13 (15)	
ウォーター			(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	
ジェット併		90kW	20 (24)	18 (21)	20 (23)	17 (20)	19 (22)	
用施工・打			15 (18)	14(16)	15 (18)	14 (16)	15 (17)	
込み			(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	(注2)	
2007	油圧式	242kW	6 (7) 5 (5)	5 (6) 5 (5)	6 (7) 5 (6)	6 (6) 5 (5)	5 (6) 5 (5)	
	ты/	<u>242</u> KW	(注2)	(注 2)	(注 2)	(注2)	(注 2)	
31++ *	電動式	60kW	18 12 (注 3)	_	_			
引抜き	油圧式	<u>242</u> kW	0.2 一 (注3)	_	_	1	_	

③ 継施工費

継施工が必要な場合の費用は、別途計上する。

	鋼矢板・H形鋼型式	継施工費(円/箇所)		
	Ⅱ型	<u>7, 970</u>		
	Ⅲ型	<u>8, 330</u>		
	Ⅳ型	<u>8, 450</u>		
	$V_{\scriptscriptstyle L}$ 型	<u>11,600</u>		
細	$VI_{\scriptscriptstyle L}$ 型	11, 900		
鋼矢板	Ⅱ w型	9,390		
板	Ⅲw型	<u>9, 630</u>		
	Ⅳw型	<u>10, 100</u>		
	10H型(ハット)	<u>15, 100</u>		
	25H型(ハット)	<u>16, 100</u>		
	H250	<u>26, 100</u>		
H 形	H300	<u>33, 200</u>		
鋼	H350	<u>46, 900</u>		
. , ,	H400	<u>67, 400</u>		

(注) (略)

④ (略)

(4) 諸雑費

表3.	表 3. 35 諸雑費率 (%)							
			諸 雑 費 率					
	バノヴ	イフロハンマ · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		継施工あり				
施工区分	機種・規格		普通・広幅 鋼矢板 H形鋼	ハット形鋼矢板	普通・広幅 鋼矢板	ハット形鋼矢板	H形鋼	
		60kW	19 13	16 11	17 12	15 11	17 12	
ジノゴロぃ	電動式							
バイブロハ ンマ単独施		90kW	22 15	18 13	20 14	17 12	2 14	
工・打込み	油圧式	<u>235</u> kW	1 1	1 1	2 1	2 1	1 1	
A, b	電動式	60kW	18(22) 14(16) (注 2)	16(19) 13(15) (注 2)	18(21) 14(16) (注 2)	16 (19) 13 (15) (注 2)	17(20) 13(15) (注 2)	
ウォーター ジェット併 用施工・打		90kW	20(24) 15(18) (注 2)	18(21) 14(16) (注 2)	20(23) 15(18) (注 2)	17 (20) 14 (16) (注 2)	19 (22) 15 (17) (注 2)	
込み	油圧式	<u>235</u> kW	6(7) 5(5) (注 2)	5(6) 5(5) (注 2)	6(7) 5(6) (注 2)	6(6) 5(5) (注 2)	5(6) 5(5) (注 2)	
コサキ	電動式	60kW	18 12 (注 3)	_	_	_	_	
引抜き	油圧式	<u>235</u> kW	0.2 一 (注3)	_	_	-	_	

- (注) (略)
- (5) (略)
- 4 単価表
- (1) (略)
- (2) バイブロハンマとウォータジェット併用施工による鋼矢板等の打込み 10枚(本)当たり単価表

(鋼矢板等打込長○○m)

								(2) 1) 101	411万以
	名	称		規格	単位	数	量	摘	更
土	木一角	20世前	舌役		人	10/	N×1	表 3.6 表 3.12~3.19、3 3.32、3.34	. 24~
\sim	(H	各)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
杭ジジ	打ち用 ェ ツ	ウォ [、] ト 運	ータ	エンジン式・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 3250/min	"	10/N	1×台数	表 3. 1~3. 2 "	
\sim	(各)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
諸	九	隹	費		式		1	表 3.35	
		+							

(注) (略)

__(3) 矢板積台船(200 t 積)運転1日当たり単価表

	名	称		規格	単位	数量	摘要	
台	船	損	料	200 t 積	供用日	<u>1.31</u>		
諸	杂	É	費		式	1		
	言	 						

- (注) (略)
- (5) (略)
- 4 単価表
- (1) (略)
- (2) バイブロハンマとウォータジェット併用施工による鋼矢板等の打込み 10枚(本)当たり単価表

(鋼矢板等打込長○○m)

2	名	称	規格	単位	数	量	摘	要
土木	:一般	世話役		人	10/N	1×1	表 3.6 表 3.12~3.19、 3.32、3.34	3.24~
\sim	(略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略	(i) ~	~ (略) ~	
杭打ジュ	ち用ウェット	/ォータ 、運 転	エンジン式・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)ポンプ圧力 14.7MPa、吐出量 3250/min	JJ	10/N	×台数	表 3.1~3.2	
\sim	(略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略	(i) ~	~ (略) ~	
諸	雑	費		式	1	•	表 3.35	
	計							

(注) (略)

__(3) 矢板積台船(200 t 積)運転1日当たり単価表

	名	称		規格	単位	数量	摘	要
台	船	損	料	200 t 積	供用日	<u>1. 3</u>		
諸	杂	É	費		式	1		
	言	ŀ						

(4) 機械運転単価表(陸上施工)

	機械連転単価 		<u> </u>	· Д П
機械名	規格	適用単価表	指定事項	適用
電動式 バイブロハンマ 杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機一20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>76</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ(単体)[電動式・普通型]60 kW、90 kW 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料 2 → クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(<u>2014 年規</u> <u>制</u>)]50~55 t 吊 機械損料数量→1.31	打込み引抜き
ンマ杭打機 (ハット形	電動式・可変 モーメント 型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>76</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ(単体)[電動式・可変モー メント型] 60 k W、90 k W 機械損料数量→ <u>1.31</u> 機械損料 2 → クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(<u>2014 年規</u> <u>制</u>)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み
油圧式 バイブロハ	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第3次基	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→473 機械損料1→バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→1.31 機械損料2→クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(2014 年規 <u>制</u>)]50~55 t 吊 機械損料数量→1.31	打込み
	型(第 <u>3</u>	15% 20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→484 機械損料1→バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→1.21 機械損料2→ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第3次基準値)]25 t 吊 機械損料数量→1.21	引抜き
	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第 <u>3</u> 次基準 値)・最大起 振力 473 k N ・ 242 k W	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→473 機械損料 1 →バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型] 機械損料数量→1.31 機械損料 2 → クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014 年規制)]50~55 t 吊 機械損料数量→1.31	打込み
杭打ち用 ウォータジ ェット	エンジン式・ 排出ガス対策 型(第 <u>3</u> 次基準 値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>	打込み

(4) 機械運転単価表(陸上施工)

機械名	規格	適用単価表	指定事項	適用
電動式 バイグロハンマ 杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ(単体)[電動式・普通型]60 kW、90 kW 機械損料数量→1.3 機械損料 2 →クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(<u>第1次基準</u> 値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み引抜き
		機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>69</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ(単体)[電動式・可変モー メント型] 60 k W、90 k W 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料 2 → クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(<u>第1次基準</u> <u>値</u>)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み
油圧式バイブロハ	油圧式・可変超高周波型・排出ガス対策	高周波型・ 出ガス対策 第 <u>2</u> 次基 直) 機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>523</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型 <u>・</u> 排出ガス対策型(第 2 次基準値)] 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料 2 →クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラ チスジブ型・排出ガス対策型(第 1 次基準 値)]50~55 t 吊 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み
ンマ杭打機	至(第 <u>2</u> 次差 準値) <u>235</u> k W		運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>570</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型 <u>・</u> 排出ガス対策型(第 2 次基準値)] 機械損料数量→ <u>1.2</u> 機械損料 2 →ラフテレーンクレーン[油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)] 25 t 吊 機械損料数量→ <u>1.2</u>	引抜き
油圧式 バイブロハ ンマ杭打機 (ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変 超高周波型・ 排出ガス対策 型(第 <u>2</u> 次基準 値) 235 k W	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>523</u> 機械損料 1 →バイブロハンマ[油圧式・可変超高周波型 <u>・排出ガス対策型(第2次基準値)</u>] 機械損料数量→ <u>1.3</u> 機械損料 2 → クローラクレーン[油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>)]50~55 t 吊機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み
杭打ち用 ウォータジ ェット	エンジン式・ 排出ガス対策 型(第 <u>1</u> 次基準 値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>120</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>	打込み

(5) 機械運転単価表(水上施工)

(3) 機械建転甲	'恤衣 (小上灺上)		
機械名	規格	適用 単価表	指定事項
バイブロハンマ (単体)	電動式・普通型 60 k W、90 k W	機-25	機械損料数量→ <u>1.31</u>
バイブロハンマ (単体)(ハット形鋼 矢板用)	電動式・可変モーメント型 60 k W、90 k W	機-25	機械損料数量→1.31
バイブロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) ・最大起振力 473 k N・242 k W	機-24	燃料消費量→ <u>397</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
バイブロハンマ (単体)(ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) ・最大起振力 473 k N・242 k W	機-24	燃料消費量→ <u>397</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
杭打ち用 ウォータジェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 45~50 t 吊 台船 300 t 積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.31 (台船) 機械損料数量→1.31
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→1.01

8-11-2 バイブロハンマエ (軽量鋼矢板打込引抜工) 1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 打込打込及び引抜施工時間 (略)

① (略)

②軽量鋼矢板1枚当たり打込又は引抜時間 (Tb) (略)

ア (略)

イ 軽量鋼矢板の種類による係数(K)

表5.3 軽量鋼矢板の種類による係数(K)

八 ひ 、 ひ ・ 社 里	型型/八/X Vノ/里規(こよ	、の床数(II)
矢板種類	打込み	引抜き
軽量矢 250 mm	0.5	0.6

(5) 機械運転単価表(水上施工)

(5) 機機連転甲	(加衣 (水上)		
機械名	規格	適用 単価表	指定事項
バイブロハンマ (単体)	電動式・普通型 60 k W、90 k W	機-25	機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイブロハンマ (単体)(ハット形鋼 矢板用)	電動式・可変モーメント型 60 k W、90 k W	機-25	機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイブロハンマ (単体)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準 値) <u>242</u> k W	機-24	燃料消費量→ <u>454</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
バイブロハンマ (単体)(ハット形鋼 矢板用)	油圧式・可変超高周波型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準 値) <u>242</u> k W	機-24	燃料消費量→ <u>454</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
杭打ち用 ウォータジェット	エンジン式・排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>120</u> 機械損料数量→ <u>1.3</u>
クレーン付台船	クローラクレーン 45~50 t 吊 台船 300 t 積	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 機械損料単位→供用日 燃料消費量→51 機械損料数量→1.3 (台船) 機械損料数量→1.3
引船	鋼製 200PS 型	機-11	船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 燃料消費量→111 (重油) 機械損料単位→供用日 機械損料数量→ <u>1.0</u>

8-11-2 バイブロハンマエ (軽量鋼矢板打込引抜工) 1~4 (略)

5 施工歩掛

(1) 打込打込及び引抜施工時間 (略)

① (略)

②軽量鋼矢板1枚当たり打込又は引抜時間(Tb) (略)

ア (略)

イ 軽量鋼矢板の種類による係数(K)

表5.3 軽量鋼矢板の種類による係数(K)

	矢板種類	打込み	引抜き
車	径量矢 250 mm	0.5	0.6

" 333 mm	0.8	0. 95

ウ (略)

(2) (略)

6 (略)

8-11-3 油圧圧入引抜工

1 • 2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種の選定

① 油圧式杭圧入引抜機油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

作	業の種類	风压,还是	圧入	\	引抜き
最	大N値	Nmax≦25	Nmax≦50	50 <nmax≦600< td=""><td>_</td></nmax≦600<>	_
	Ⅱ型 Ⅲ型 Ⅳ型	エンジン式ユニガス対策型(<u>2</u> ガス対策型(<u>2</u> <u>制</u>) 圧入力 <u>800</u> kN 引抜力 <u>900</u> kN		普通鋼矢板用	1
鋼矢板型式	V _L 型 VI _L 型 II w型 II w型 IV w型	エンジン式ユニガス対策型(資値) 広幅鋼矢板用 圧入力 <u>1,000</u> k 引抜力 <u>1,100</u> k	第 <mark>3</mark> 次基準 N	エンジン式ユニット(硬 質地盤専用)・排出ガス 対策型(第 <u>3</u> 次基準 値)	
		エンジン式ユニガス対策型(<mark>2</mark> 制) ハット形鋼矢材 圧入力 1 <u>,</u> 000k 引抜力 <u>1,200</u> k	2014 年規 坂 900 mm用 N	_	_

(注) (略)

υ <u>300 mm</u>	0.8	0.95	

ウ (略)

(2) (略)

6 (略)

8-11-3 **油圧圧入引抜工**

1 • 2 (略)

3 施工歩掛

(1) 機種の選定

① 油圧式杭圧入引抜機油圧式杭圧入引抜機の規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

	衣 3. 1				
作	業の種類		圧 入		引抜き
最	最大N値 Nmax≦25 Nmax≦50		50 <nmax≦600< td=""><td>_</td></nmax≦600<>	_	
	Ⅱ型 Ⅲ型 Ⅳ型	エンジン式ユ: ガス対策型(<u>j</u> 値) 圧入力 <u>1,000</u> k 引抜力 <u>1,100</u> k	第 2 次基準 N	ガス対策型(第3次基準値) 普通鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力900kN	
鋼矢板型式	V _L 型 VI _L 型 II w型 II w型 IVw型	エンジン式ユ ガス対策型(値) 広幅鋼矢板用 圧入力 <u>981~1</u> 引抜力 <u>1,079~</u>	ニット・排出 第 <u>1</u> 次基準 <u>, 471</u> kN <u>~1, 569</u> kN	值)	
	10H型 25H型	エンジン式ユデガス対策型(<u>が</u> 値) ハット形鋼矢 圧入力 1000kN 引抜力 <u>1,100</u> k	第2次基準 板 900 mm用	_	_

(注) (略)

② 付属機械

油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表3.2 付属機械の機種の選定

	1 1 12 17 17 17 17 17 1 1 1 1 1 1 1 1 1	,_		
作業の 種類 機械名	圧入(Nmax≦25) 引抜き	圧入(Nmax≦50)	圧入(50 <nmax≦600)< td=""><td>備考</td></nmax≦600)<>	備考
ラフテレーン クレーン (注) 4	油圧伸縮ジブ型 (第 <u>3</u> 次基準値)	・排出ガス対策型 25 t 吊(注)2	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (<u>2011 年規</u> <u>制</u>) 50~51 t 吊(注)2	陸上からの施 工時のみ
杭打ち用 ウォータジェ ット	_	エンジン式・排出 ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250 /min	-	
クレーン付台 船	クローラクレーン 台船 300 t 積(注)		_	水上からの施
引船	鋼製D100PS型	4.9GT(注)3	_	工時のみ

(注) (略)

(2) • (3) (略)

4 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤25)

	名 称		規格	単位	数量	摘 要
土	木一般世話	役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 5
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	ファレー レーン 運	ン 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)25 t 吊	IJ	$\frac{10}{N}$	表 3. 2(注)2 表 3. 5 機械損料
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	表 3.17
	計					

(注) (略)

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≤50)

(2)	ショウノイルス/ユー	八日の次コルノ中間以	(I villan	= 907	
名	称	規格	単位	数量	摘要
土木一	般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 6
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭 打 ウォータ 運	ち 用 'ジェット 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第 <u>3</u> 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	JJ	10 N	表 3. 2 表 3. 6 機械損料
ラフテクレー	レーン	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)25 t 吊	"	10 N	表 3. 2(注)3 表 3. 6 機械損料

② 付属機械

油圧式杭圧入引抜機の付属機械の機械・規格は、次表を標準とする。

表3.2 付属機械の機種の選定

	门/内/风/风 > / / 风 主 >			
作業の 種類 機械名	圧入(Nmax≦25) 引抜き	圧入(Nmax≦50)	圧入(50 <nmax≦600)< td=""><td>備考</td></nmax≦600)<>	備考
ラフテレーン クレーン (注) 4	油圧伸縮ジブ型 (第 <u>2</u> 次基準値)	・排出ガス対策型 25 t 吊(注)2	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (<u>第1次基</u> <u>準値</u>) 50~51 t 吊(注)2	陸上からの施 工時のみ
杭打ち用 ウォータジェ ット	_	エンジン式・排出 ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250 /min	_	
クレーン付台 船	クローラクレーン 台船 300 t 積(注)	•	_	水上からの施
引船	鋼製D100PS型	!4.9GT(注)3	_	工時のみ

(注) (略)

(2) • (3) (略)

4 単価表

(1) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦25)

	(1) 40(0)	•/	/ 10 人 二 一 一 四 八	(1111421)			
	名 称		規格	単位	数量	摘	要
土;	木一般世話	役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 5	
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
ラク	フテレー レーン 運	ン 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	IJ	$\frac{10}{N}$	表 3.2(注)2表 3.5機械損料	
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
諸	雑	費		式	1	表 3.17	
	計						

(注) (略)

(2) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦50)

名	称	規格	単位	数量	摘要
土木一般	设世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 6
~ (略	子) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
杭 打 ウォータ 運	ち 用 ジェット 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第1次基準値) 圧力14.7MPa 吐出量3250/min	,,,	$\frac{10}{N}$	表 3. 2 表 3. 6 機械損料
ラフテクレー	レーン ン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	"	$\frac{10}{N}$	表 3. 2(注)3 表 3. 6 機械損料
~ (略	子) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~

\sim	(略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	表 3.17
	計					

(注) (略)

(3) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (50<Nmax≤600)

名 称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 7~表 3. 11
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(<u>2011</u> <u>年規制</u>)50~51 t 吊	IJ	$\frac{10}{N}$	表 3. 2(注)2 表 3. 7~表 3. 11 機械損料
諸 雑 費		式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦25)

	(コ) が区到りへ	· 1//	<u> </u>	· (111110	m	
	名 称		規格	単位	数量	摘要
土	木一般世話	役		人	$\frac{10}{\text{NorN'}} \times 1$	表 3. 3 表 3. 13、表 3. 15
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレー レーン 運	ン 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <mark>3</mark> 次 基準値)25 t 吊	IJ	10 NorN'	表 3. 2(注)2 表 3. 13、表 3. 15 機械損料
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	表 3.17
	計			·		

(注) (略)

(5) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦50)

	(3) 極調八板圧入10 次当たり 平面表 (14 max = 90)							
	名 称		規格	単位	数量	摘要		
土	木一般世話	役		人	$\frac{10}{\mathrm{NorN'}} \times 1$	表 3. 3 表 3. 14、表 3. 15		
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~		
杭ウダ	打 ち ォータジェッ	用ト転	エンジン式・排出ガス対 策型(第 <u>3</u> 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	"	10 NorN'	表 3. 2 表 3. 14、表 3. 15 機械損料		
ラク	ファレー レーン 運	ン 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)25 t 吊	II	$\frac{10}{\text{NorN'}}$	表 3. 2(注)3 表 3. 14、表 3. 15 機械損料		
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~		
諸	雑	費		式	1	表 3.17		
	計							

(注) (略)

諸	雑	費	式	1	表 3.17
	計				

(注) (略)

(3) 鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (50<Nmax≤600)

		(00 111	man <u> </u>	
名 称	規格	単位	数量	摘要
土木一般世話行	T.Z.	人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3.3 表 3.7~表 3.11
~ (略)	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラフテレー: クレーン 運	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(<u>第1次</u> <u>基準値</u>)50~51 t 吊	IJ	$\frac{10}{N}$	表 3. 2(注)2 表 3. 7~表 3. 11 機械損料
諸 雑 第	弗	式	1	表 3.17
計				

(注) (略)

(4) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦25)

`	、 エ / 一川上がり/ へ	1//		(11110	m	
	名 称		規格	単位	数量	摘要
土刀	木一般世話	役		人	$\frac{10}{\mathrm{NorN'}} \times 1$	表 3. 3 表 3. 13、表 3. 15
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレー レーン 運	ン 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	IJ	10 NorN'	表 3. 2(注)2 表 3. 13、表 3. 15 機械損料
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	表 3.17
	計					

(注) (略)

(5) 継鋼矢板圧入 10 枚当たり単価表 (Nmax≦50)

(0)	(3)					
名	称	規格	単位	数量	摘要	
土木一	般世話役		人	$\frac{10}{\text{NorN'}} \times 1$	表 3. 3 表 3. 14、表 3. 15	
~ (略) ~	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~	
杭 打 ウォータ 運	ち 用 7ジェット 転	エンジン式・排出ガス対 策型(第 <u>1</u> 次基準値) 圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	II	10 NorN'	表 3. 2 表 3. 14、表 3. 15 機械損料	
ラフテクレー	レーン・ン運転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	II	10 NorN'	表 3. 2(注)3 表 3. 14、表 3. 15 機械損料	
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
諸	雑費		式	1	表 3.17	
	計					

(注) (略)

(6) 鋼矢板引抜き10枚当たり単価表

(0	/ 2017 (1)		汲ら 10 仏コルケギ画4	-		
名	称		規格	単位	数量	摘要
土木	一般世話	役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 12
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラフクレ	テレー ーン運!	ン転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)25 t 吊	IJ	$\frac{10}{N}$	表 3. 2(注)2 表 3. 12 機械損料
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	表 3.17
	計					

(注) (略)

(7) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当たり単価表

	(,) 15/25	- 1/ -	/==/ +3/13/2//2/4/11 /3 1		= / I IM //		
	名 称		規格	単位	数量	摘	要
土	木一般世話	役		人		表 3.16	
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
ラ	フテレー	` /	油圧伸縮ジブ型・排			表 3.2(注)2	
ク	/ / •	声二	出ガス対策型(第3次	"		表 3.16	
	クレーン運	料公	基準値) 25 t 吊			機械損料	
ラ	フテレー	` /	油圧伸縮ジブ型・排			表 3.2(注)2	
ク		声二	出ガス対策型(<u>2011</u>	"		表 3.16	
	レーン運	料公	<u>年規制</u>)50~51 t 吊			機械損料	
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	
諸	雑	費		式	1		
	計						

(注) (略)

(6) 鋼矢板引抜き 10 枚当たり単価表

_		15/10 = 0			
	名 称	規格	単位	数量	摘 要
土;	木一般世話役		人	$\frac{10}{N} \times 1$	表 3. 3 表 3. 12
~	(略)~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレーン レーン 運 転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	"	10 N	表 3. 2(注)2 表 3. 12 機械損料
\sim	(略)~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑 費	,	式	1	表 3.17
	計				

(注) (略)

(7) 油圧式杭圧入引抜機据付・解体1回当たり単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘要
土	木一般世話	役		人		表 3.16
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	フテレー レーン 運	ン転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(第 <u>2</u> 次 基準値)25 t 吊	"		表 3. 2(注)2 表 3. 16 機械損料
ラク	フテレー レーン 運	ン転	油圧伸縮ジブ型・排 出ガス対策型(<u>第1次</u> <u>基準値</u>)50~51 t 吊	11		表 3. 2(注)2 表 3. 16 機械損料
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
諸	雑	費		式	1	
	計					

(注) (略)

(8) 機械運転単価表

	転単価表	ATN ET	الله والع الله الله والع الله
機械名	規格	適用単価表	指定事項
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(<u>2014年</u> 規制) 圧入力 <u>800</u> kN 引抜力 <u>900</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>132</u> 機械損料数量→ <u>1,46</u>
油圧式杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 <u>1,000</u> kN 引抜力 <u>1,100</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>151</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(<u>2014年</u> 規制) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 <u>1,200</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>176</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
油圧式杭圧入引抜機 (鋼矢板 II ・ III ・ IV 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→ <u>176</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板 V _L ・VI _L ・ II w・IIIw・IVw 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 <u>1,000</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>176</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
杭打ち用ウォータジ ェット	エンジン式・排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値)25 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>95</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
ラフテレーンクレーン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(<u>2011 年規制</u>)50 ~51 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>132</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35~40 t 吊 (台船) 300 t 積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→45 機械損料数量→1.46 機械損料単位→供用日(台船) 機械損料数量→1.46
引船	鋼製 D100PS 型 4. 9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→ <u>1.22</u>

(8) 機械運転単価表

(8) 機械連 機械名	転単価表 規格	適用単価表	指定事項
VA VAC H	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第2次基	な重上 こうり	14/CT X
油圧式 杭圧入引抜機	<u>準値</u>) 圧入力 <u>1,000</u> kN 引抜力 <u>1,100</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>202</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 <u>981~1, 471</u> kN 引抜力 <u>1,079~1, 569</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>132</u> 機械損料数量→1.45
油圧式 杭圧入引抜機	エンジン式ユニット・排出ガス対策型(<u>第2次基準値</u>) ハット形鋼矢板 900 mm用 圧入力 1,000kN 引抜力 <u>1,100</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>202</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
油圧式杭圧入引抜機 (鋼矢板 II・III・IV 型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第3次基準値)普通鋼矢板用 圧入力800kN 引抜力900kN	機-24	燃料消費量→ <u>208</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
油圧式 杭圧入引抜機 (鋼矢板V _{L・VIL・} IIw・IIIw・IVw型用)	エンジン式ユニット(硬質地盤専用)・排出ガス 対策型(第 <u>2</u> 次基準値)広幅鋼矢板用 圧入力 800kN 引抜力 <u>900</u> kN	機-24	燃料消費量→ <u>202</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
杭打ち用ウォータジ ェット	エンジン式・排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) ポンプ圧力 14. 7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>120</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(第 <u>2</u> 次基準値)25 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>107</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
ラフテレーンクレー ン	油圧伸縮ジブ型排出ガス対策型(<u>第1次基準値</u>)50~51 t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>139</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>
クレーン付台船	(クローラクレーン) 35~40 t 吊 (台船) 300 t 積	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 (クローラクレーン) 燃料消費量→45 機械損料数量→1.45 機械損料単位→供用日(台船) 機械損料数量→1.45
引船	鋼製 D100PS 型 4.9GT	機-11	運転1日当たり単価表 船員名称→高級船員 運転労務数量→1.00 主燃料→重油 燃料消費量→57 機械損料数量→ <u>1.21</u> 機械損料単位→供用日

機械損料単位→供用日

8-11-4 プレボーリング $1 \sim 3$ (略)

4 施工歩掛

(略)

 $(1) \sim (3)$ (略)

(4) 諸雑費

諸雑費は、オーガスクリュ及びオーガヘッド損料、発動発電機を使用した場合の発動発電機損料及び運転経費等の費用であり、労務費、杭打機損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は()内の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4. 6 諸雑費率 (%)

• •		
諸雑費率	<u>10</u> (4)	

5 (略)

8-12 鋼矢板工 (アースオーガ併用圧入工)

 $1 \sim 4$ (略)

(1) (略)

(2) 諸雑費

諸雑費は、掘削土処理(穴埋め作業等)作業費、矢板等設置小運搬費、オーガスクリュ及びオーガヘッド損料、電力に関する経費、足場材(敷鉄板等)、鋼矢板圧入金具取付に関する経費等の費用であり、労務費及び杭打機運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 5 諸雑費率 (%)

機種	諸雑費率
油圧式オーガ 34kN-m	34
電動式オーガ 90kW	<u>37</u>

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
アースオーガ	油圧式 34kN-m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量→ <u>1.61</u>
併用圧入杭打機	電動式 90kW		運転労務数量→1.00 燃料消費量 →74 機械損料数量→ <u>1.61</u>

8-13 鋼矢板 (H形鋼) エ (クレーン引抜工)

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) (略)

8-11-4 プレボーリング $1 \sim 3$ (略)

4 施工歩掛

(略)

 $(1) \sim (3)$ (略)

(4) 諸雑費

諸雑費は、オーガスクリュ及びオーガヘッド損料、発動発電機を使用した場合の発動発電機損料及び運転経費等の費用であり、労務費、杭打機損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、商用電源を使用した場合は()内の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4. 6 諸雑費率 (%)

	HI THE ST	(/0/
諸雑費率		<u>11</u> (4)

5 (略)

8-12 鋼矢板エ (アースオーガ併用圧入工)

 $1 \sim 4$ (略)

(1) (略)

(2) 諸雑費

諸雑費は、掘削土処理(穴埋め作業等)作業費、矢板等設置小運搬費、オーガスクリュ及びオーガへッド損料、電力に関する経費、足場材(敷鉄板等)、鋼矢板圧入金具取付に関する経費等の費用であり、労務費及び杭打機運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 5 諸雑費率 (%)

機種	諸雑費率
油圧式オーガ 34kN-m	34
電動式オーガ 90kW	<u>39</u>

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
アースオーガ	油圧式 34kN-m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →57 機械損料数量→ <u>1.59</u>
併用圧入杭打機	電動式 90kW	7成 10	運転労務数量→1.00 燃料消費量 →74 機械損料数量→ <u>1.59</u>

8-13 鋼矢板(H形鋼)エ(クレーン引抜工)

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

	1 IM 24		
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
杭 抜 機	ワイヤ式 最大引抜力 2,940kN (300 t)	機-20	運転労務数量→1.0 燃料消費量→53 機械損料 1→杭抜き機 損料数量→ <u>1.60</u> 機械損料 2 →クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(第1次基準値) 30~35 t 吊) 損料数量→ <u>1.60</u>

8-14 (略)

8-15 仮橋·仮桟橋工

1 (略)

3 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

<u> </u>	生 2 起 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2				
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘要
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(<u>2014</u> <u>年規制</u>)	○○ t 吊	台	1	
杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型	○○ t 吊	IJ	1	

(注) $1 \sim 3$ (略)

4. ラフテレーンクレーンで 45t 吊を選定した場合は、<u>排出ガス対策型(</u>第1次基準値<u>)とし、35t</u> 吊を選定した場合は、排出ガス対策型(2011 年規制)とする。

4 施工歩掛

- (1) (略)
- (2) 下部工
- ① (略)
- ② 杭橋脚設置·撤去工(杭基礎形式)

ア 杭橋脚打込・引抜工

- (ア) 機種の選定
- a (略)
- b 付属機械

バイブロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合 した規格とすることができる。現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。

表4.8 付属機器の機械・規格

	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		
	バイブロハンマ規格	電動式バイ	ブロハンマ
機種		60kW	90kW

(2) 機械運転単価表

, ,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	十四公		
機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
杭 抜 機	ワイヤ式 最大引抜力 2,940kN (300 t)	機-20	運転労務数量→1.0 燃料消費量→53 機械損料 1→杭抜き機 損料数量→1.58 機械損料 2 →クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ 型・排出ガス対策型(第1次基準値) 30~35 t 吊) 損料数量→1.58

8-14 (略)

8-15 仮橋・仮桟橋工

1 (略)

3 機種の選定

機械・規格は、次表を標準とする。

表3.1 機種の選定

	医多心心				
作業種別	機械名	規 格	単位	数量	摘要
直接基礎形式	ラフテレーンクレーン 油圧伸縮ジブ型・排出ガス対策型(<u>第2次</u> <u>基準値</u>)	○○ t 吊	石	1	
杭基礎形式	クローラクレーン 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) 油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型	○○ t 吊	II	1	

(注) 1~3 (略)

4. ラフテレーンクレーンで 7t 吊、10t 吊、45t 吊を選定した場合は、第1次基準値とする。

4 施工歩掛

- (1) (略)
- (2) 下部工
- ① (略)
- ② 杭橋脚設置·撤去工(杭基礎形式)

ア 杭橋脚打込・引抜工

- (ア) 機種の選定
- a (略)
- b 付属機械

バイブロハンマの付属機器の機械は、次表を標準とし、吊上げ能力については現場条件に適合し た規格とすることができる。現場条件によりこれにより難い場合は、別途考慮する。

表4.8 付属機器の機械・規格

	X 4.			
		バイブロハンマ規格	電動式バイ	ブロハンマ
機種	Ē		60kW	90kW

クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>))

(イ)~ (エ) (略)

イ (略)

③ (略)

5 単価表

 $(1) \sim (8)$

(9) 機械運転単価表

	転単価表 		II. 4. 4. 7.
機械名	規格	摘用単価表	指 定 事 項
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (2014 年規制) 50-55 t 吊 70 t 吊 80 t 吊 90 t 吊 120 t 吊 200 t 吊	機-18	運転労務数量 \rightarrow 1.00 燃料消費量 $50-55 t \rightarrow \frac{72}{72}$ $70 t \rightarrow \frac{105}{80} t \rightarrow \frac{118}{90} t \rightarrow \frac{105}{100} t \rightarrow \frac{118}{120} t \rightarrow \frac{118}{200} t \rightarrow \frac{138}{138}$ 機械損料数量 \rightarrow 1.32
バイブロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機-20	運転労務数量→1.00 機械損料1→バイブロハンマ(単体)電動式・普通型60kW、90kW 機械損料数量→1.32 機械損料2→クローラクレーン(油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・排出ガス対策型(2014年規制))○○ t 吊 燃料消費量 50-55 t→72 70 t→105 80 t→118 90 t→105 100 t→118 120 t→118 200 t→138 機械損料数量→1.32
杭打用 ウォータジェ ット	エンジン式・ 排出ガス対策型(第3 <u>次基準値)</u> ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>136</u> 機械損料数量→ <u>1.32</u>

8-16 切土及び発破防護柵工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) • (2) (略)

(3) 機械運転単価表

クローラクレーン (油圧駆動式ウインチ・ラチスジブ型・ 排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>))

○○ t 吊

(イ)~ (エ) (略)

イ (略)

③ (略) 5 単価表

 $(1) \sim (8)$

(9) 機械運転単価表

	転単価表 	H. H. W. G.	tta iti da er
機械名	規格	摘用単価表	指 定 事 項
クローラクレーン	油圧駆動式ウインチ・ ラチスジブ型 排出ガス対策型 (<u>第3次基準値</u>) <u>40-45 t 吊</u> 50-55 t 吊 70 t 吊 80 t 吊 90 t 吊 120 t 吊 200 t 吊	機一18	運転労務数量 \rightarrow 1.00 燃料消費量 $40-45 \text{ t} \rightarrow 64$ $50-55 \text{ t} \rightarrow 74$ $70 \text{ t} \rightarrow \underline{106}$ $80 \text{ t} \rightarrow \underline{106}$ $90 \text{ t} \rightarrow \underline{121}$ $100 \text{ t} \rightarrow \underline{121}$ $120 \text{ t} \rightarrow \underline{121}$ $200 \text{ t} \rightarrow \underline{136}$ 機械損料数量 \rightarrow 1.31
バイブロハンマ杭打機	電動式・普通型 60kW 90kW	機一20	運転労務数量→1.00 機械損料 1 →バイブロハンマ(単体)電 動式・普通型 60kW、90kW 機械損料数量→1.31 機械損料 2 → クローラクレーン(油圧駆 動式ウインチ・ラチスジ ブ型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値))○○ t 吊 燃料消費量 40-45 t →64 50-55 t →74 70 t →106 80 t →106 90 t →121 100 t →121 120 t →121 200 t →136 機械損料数量→1.31
杭打用 ウォータジェ ット	ポンプ圧力 14.7MPa 吐出量 3250/min	機-24	燃料消費量→ <u>118</u> 機械損料数量→ <u>1.31</u>

8-16 切土及び発破防護柵工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) • (2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指 定 事 項
高所作業車	トラック架装・伸縮ブー ム・バスケット型 作業床高さ 12m	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>24</u> 機械賃料数量→1.07

8-17 (略)

8-18 法面工(仮設用モルタル吹付工)

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

/				
	名 称	規格	適用単価表	指定事項
	モルタルコンク	湿式 モータ駆動		
	リート吹付機	能力 0.8~1.2 ㎡/h	機-15	
	(法面用)	所要空気量 10~19 ㎡/min		
	空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第2次基準値)吐出量10.5~11.0 ㎡/min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>65</u> 賃料数量→1.71
	電動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低 騒音型)排出ガス対策型(第3 次基準値)定格容量 (50/60Hz) 37/45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>31</u> 賃料数量→1.71
	ホイールローダ	普通・排出ガス対策型(第2次 基準値)山積 0.34 ㎡	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>14</u> 機械賃料数量→1.58

8-19 (略)

第9~第11 (略)

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高 所 作 業	トラック架装・伸縮ブー 車 ム・バスケット型 作業床高さ 12m	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>28</u> 機械賃料数量→1.07

8-17 (略)

8-18 法面工(仮設用モルタル吹付工)

1~5 (略)

6 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

機械連転 中 個 衣			
名 称	規格	適用単価表	指定事項
モルタルコンク	湿式 モータ駆動		
リート吹付機	能力 0.8~1.2 ㎡/h	機-15	
(法面用)	所要空気量 10~19 m³/min		
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型(超低騒音型)・排出ガス対策型(第2次基準値)吐出量10.5~11.0 ㎡/min 吐出圧力0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>81</u> 賃料数量→1.71
電動発電機	ディーゼルエンジン駆動(超低 騒音型)排出ガス対策型(第3 次基準値)定格容量 (50/60Hz)37/45kVA	機-16	燃料消費量→ <u>36</u> 賃料数量→1.71
ホイールローダ	普通・排出ガス対策型(第2次 基準値)山積 0.34 ㎡	機-29	運転労務数量→0.80 燃料消費量→ <u>15</u> 機械賃料数量→1.58

8-19 (略)

第9~第11 (略)

第2編 治山

第1 山地治山土工

1-1 機械土工

 $1 \sim 3$ (略)

4 施工歩掛

(1) バックホウ掘削(掘削・積込み、積込み)

バックホウ<mark>掘削</mark>による各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表 4.1 (略)

(注) $1 \sim 3$ (略)

4 地山の掘削・積込みは、地山の掘削及び掘削・積込みの作業に適用する。

5 ルーズな状態の積込みは、掘削により仮置きされた土砂等の積込、転圧・締固めを 伴わない埋戻しの作業等に適用する。

(2) (略)

5 単価表

(1) • (2) (略)

(3)機械運転単価表

(3) 機械運料中			
機械名	規格	適用単価表	指定事項
	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.54</u>
	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.47</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>58</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>94</u> 機械損料数量→ <u>1.45</u>

(参考) (略)

 $1 - 2 \sim 1 - 4$ (略)

第2 治山ダムエ

2-1 コンクリート工 $2-1-1 \cdot 2-1-2$ (略)

2-1-3 コンクリート打設工法の選定

(1) 打設工法

(略)

2-1-4 人力打設

(略)

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1)・(2) (略)

第2編 治山

第 1 山地治山土工

1-1 機械土工

 $1 \sim 3$ (略)

4 施工歩掛

(1) バックホウの日当たり作業量

バックホウによる各作業の日当たり作業量は、次表を標準とする。

表 4. 1 (略)

(注) $1 \sim 3$ (略)

(新設)

(新設)

(2) (略)

5 単価表

(1) • (2) (略)

(3)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.52</u>
	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.46</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.45 ㎡ (平積 0.35 ㎡)	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>62</u> 機械損料数量→ <u>1.54</u>
バックホウ (クローラ型) (片切掘削)	標準型・超低騒音型・排出ガス対策型 (第 3 次基準値) 山積 0.8 ㎡ (平積 0.6 ㎡)	機一18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>100</u> 機械損料数量→ <u>1.44</u>

(参考) (略)

 $1 - 2 \sim 1 - 4$ (略)

第2 治山ダムエ

2-1 コンクリート工 $2-1-1 \cdot 2-1-2$ (略)

2-1-3 投入打設工法の選定

(1) <u>投入</u>打設工法 (略)

2-1-4 人力<u>投入</u>打設<u>歩掛</u>

(略

2-1-5 コンクリートポンプ車打設歩掛

(1)・(2) (略)

(3) 打設歩掛

(10 ㎡当たり)

区	分	世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
打設 (A)	無筋構造物	0.2	0.3 (0.2)	0.8
打政(A)	鉄筋 "	0.2	0. 5 <u>(0. 4)</u>	0.8
打設(B)	無筋構造物	0.3	0.6 (0.5)	1. 5
打政(B)	鉄筋 "	0.3	0.8 (0.6)	1. 5

備考 1 (略)

- 2 上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。<u>なお、コンクリートポ</u>ンプ車圧送料金について見積により積算する場合は、() 書きの歩掛を適用する。
- 3 (略)
- 4 諸雑費は、バイブレータ、高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する。

	謔	雑	費率 (%)	1
5	•	6	(略)	

(4) コンクリートポンプ車圧送料金

コンクリートポンプ車圧送を専門業者に外注する際に、該当する地域の専門業者の圧送料金 (打設1回あたり) に、打設1回あたり固定の基本料金が設定されていること、打設量に応じて 増える従量料金に最低限度の打設量が設定されていることなどの事由により、標準歩掛の適用が 適当でない場合は、専門業者の圧送料金相当額を見積により積算することができる。

見積により積算する場合のコンクリートポンプ車圧送料金は、間接工事費等に相当する経費を含んだコンクリートポンプ車の運転・操作・筒先作業等の労務(原則2人)及びコンクリートポンプ車運転(1台、付属機器を含む)に要する費用であり、設計日打設量(m³)に対応する打設1回当たりの単価とする。一般に、圧送料金の見積額は、打設1回あたり固定の基本料金、打設量に応じて増える従量料金である圧送料、諸経費として示される。なお、半日程度の作業、あるいは1回の打設量が少ない場合に最低保証の料金で見積もることになる場合は、当該見積額とする。

また、コンクリートポンプ車圧送料金(打設1回あたり)は、直接工事費に相当する部分と間接工事費等に相当する部分を分離して見積を徴収することが困難であることから、間接工事費等に相当する部分を含めた圧送料金として見積を徴収して計上する。なお、間接工事費等の積算においては、ヘリコプター飛行経費に準じて、計上した圧送料金を共通仮設費(率分)・現場管理費・一般管理費等の算定の対象額に含めないものとする。

(5) (略)

<u>(6)</u> 単価表 (削る。)

(3) 打設歩掛

(10 ㎡当たり)

区 分		世 話 役	特殊作業員	山林砂防工
+T=□ (A)	無筋構造物	0. 2	0.3	0.8
打設(A)	鉄筋 "	0. 2	0.	0.8
打設(B)	無筋構造物	0.3	0.6	1. 5
	鉄筋 "	0.3	0.8	1. 5

備考 1 (略)

2 上表には、ホースの筒先作業等を行う機械付補助労務を含む。

3 (略)

4 諸雑費は、バイブレータ、高周波発動発電機損料等の費用であり、上表の労務費、機械損料及び運転経費の合計額に下表の諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上する

	(%)
諸雑費率	1
5 · 6 (略)	_

(新設)

(4)(略)

<u>(5)</u> 単価表

1) コンクリートポンプ車運転単価表

(1時間当たり)

										(I) [H] /C /
	名		称		規	格	単位	数量	摘	要
特	殊	運	転	手			人			
燃		料		費			Q			
機	械		損	料			h	1		
		計								

(削る。)

1) コンクリートポンプ車打設

(10m³当たり)

				(<u>1011 = 7C /</u>
<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>
世話役		<u>人</u>		(3)
特殊作業員				(3)
<u>山林砂防工</u>		<u> 11 </u>		(3)
コンクリートポンプ車運転		<u>h</u>		(2) 10/標準時間当たり打設量
コンクリート		<u>m</u> ³		10× (1+割増率)
<u>諸雑費</u>		<u>式</u>	1	(3)
<u>計</u>				

2) コンクリートポンプ車打設 (コンクリートポンプ車圧送料金による場合)

<u>(10m³当たり)</u>

<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量	<u>摘要</u>
<u>世話役</u>		<u>人</u>		(3)
特殊作業員		<u> 11 </u>		(3) () 書き適用
山林砂防工		<u> 11 </u>		(3)
コンクリートポンプ車圧送		回		10/設計日打設量
<u>料金</u>				
コンクリート圧送管損料		共用日		10/設計日打設量×2
コンクリート		<u>m</u> ³		10× (1+割増率)
<u>諸雑費</u>		<u>式</u>	1	(3)
<u>計</u>				

- 備考
 1
 見積によりコンクリートポンプ車圧送料金(打設1回あたり)を積算する場合に適用する。

 2
 圧送管実延長が30mを超える部分についてコンクリート圧送管損料を計上する。

 - 3 諸雑費は労務費及び圧送管損料の合計額に諸雑費率を乗じて得た金額を上限として計上 <u>する。</u>

3) 圧送管組立・撤去

(10m 当たり)

	名 称	相枚	畄位	数量	描 更
	<u> </u>	<u> 79670</u>	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>
	山林砂防工		<u>人</u>		<u>(5)</u>
ſ	<u>計</u>				

備考 圧送管実延長が30mを超える部分に適用する。

2) 投入打設単価表

	名	100	称	規格	単位	数量	摘	要
コ		クリ	<u> </u>		m ³		10×(1+割増率)	
コン	クリー	ートポン	プ車運転	5	h		10/(A)	
コン	/ クリ	ノート	養生費		m³		第1編3-1-5、3-1-	6
諸		雑	費		式	1		
世		話	役	į į	人			
特	殊	作	業員	į	IJ		(3)	
Щ	林	砂	防工	_]]			
	•	計						

- 備考 1 (A)は、(2)の標準時間当たりの打設量。
 - 2 圧送管実延長 30m以上の部分については、圧送管 (パイプ) 損料を積算する。

(新設)

(新設)

(新設)

4)機械運転単価

機械名	<u>規格</u>	適用単価	指定事項
コンクリートポ	トラック架装・	機一3	機械損料 1 →コンクリート
<u>ンプ車</u>	<u>ブーム式</u>		<u>ポンプ車</u>
	$90\sim 110 \text{m}^3/\text{h}$		機械損料2→コンクリート
			<u>圧送管(径 125mm)</u>
			<u>単位→m•h</u>
			数量→L×1h

備考 Lは、圧送管実延長が30mを超える部分の延長とする。

2-1-6 クレーン車打設

(1) 打設歩掛

(略)

(2) 単価表

(10 m³当たり)

名 称 規 格 単位 数量 摘 要 コ ン ク リ ー ト ㎡ 10×(1+割増率)
コ ン ク リ ー ト
クレーン車賃料 h
(削る。) (削る。)
諸 雑 費 式 1
世話役人人
特殊作業員 " (1)
山林砂防工
計

2-1-7 コンクリート養生

「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-5コンクリート養生 工、3-1-6養生工 (特殊養生)」 による。

<u>また、単価表は、「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-10単</u> <u>価表」 による。</u>

2-1-8 型枠工

- (1) 治山ダム型枠
- 1) 適用範囲

本歩掛は、渓間構造物のうち、谷止、床固工の本体等に適用する。 ただし、治山ダムの増厚・嵩上に係る型枠工は、別途積算することができる。

2)・3) (略)

(2) (略)

 $2 - 2 \sim 2 - 9$ (略)

2-10 ソイルセメントエ

 $1 \sim 4$ (略)

5 単価表

 $(1) \sim (3)$ (略)

(新設)

2-1-6 クレーン車類投入打設歩掛

(1) <u>投入</u>打設歩掛 (略)

(2) 投入打設単価表

(10 m³当たり)

									(10 III / C
	名		称		規	格	単位	数量	摘要
コ	ン:	クリ	Ţ	イ			m³		10×(1+割増率)
ク	レー	ン	車 賃	計料			h		
コ	ンク	リー	ト養	生費			<u>m</u> ³		第1編3-1-5、3-1-6
諸		雑		費			式	1	
世		話		役			人		
特	殊	作	業	員			IJ		(1)
Щ	林	砂	防	工			11		
		計							

2-1-7 コンクリート養生

「第1編共通工 第3コンクリート工 3-1コンクリート工 3-1-5コンクリート養生 工、3-1-6養生工 (特殊養生)」 による。

(新設)

2-1-8 型枠工

- (1) 治山ダム型枠
- 1) 適用範囲

本歩掛は、渓間構造物のうち、谷止、床固工の本体等に適用する。 (新設)

2)・3) (略)

(2) (略)

 $2 - 2 \sim 2 - 9$ (略)

2-10 ソイルセメントエ 1~4 (略)

5 単価表

 $(1) \sim (3)$ (略)

(4) 機械運転単価表

	4 平		
機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8 ㎡(平積0.6 ㎡)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>93</u> 機械損料数量→ <u>1.73</u>
バックホウ(撹絆混合)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付山積 0.8 ㎡(平積0.6 ㎡)吊能力2.9 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>98</u> 機械損料数量→ <u>1.73</u>
	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積 0.28 ㎡(平積 0.2 ㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>18</u> 賃料数量→1.52
	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>13</u> 賃料数量→1.45

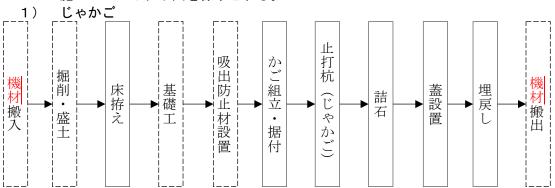
第3 山腹工

3-1 (略)

3-2 かごエ (A)

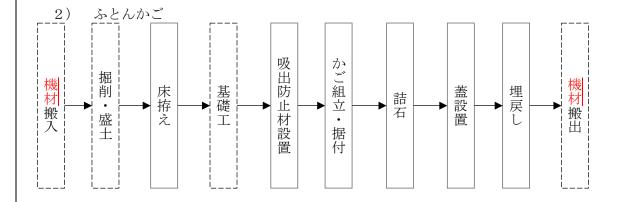
- (1) (略)
- (2) 施工概要

施エフローは、下図を標準とする。



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

(4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型山積0.8 m³(平積0.6 m³)	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→99 機械損料数量→ <u>1.71</u>
バックホウ(撹絆混合)	排出ガス対策型(第2次基準値) クローラ型・クレーン機能付山積 0.8 ㎡(平積0.6 ㎡)吊能力2.9 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>104</u> 機械損料数量→ <u>1.71</u>
	排出ガス対策型(第1次基準値) クローラ型山積 0.28 ㎡(平積 0.2 ㎡)	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>19</u> 賃料数量→1.52
	排出ガス対策型(第1次基準値) 搭乗式・コンバインド型 3~4 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>11</u> 賃料数量→1.45

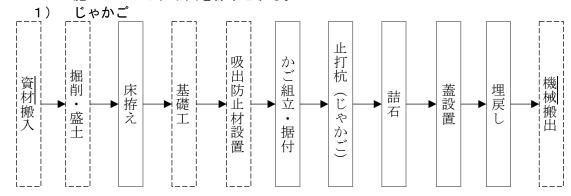
第3 山腹工

3-1 (略)

3-2 かごエ (A)

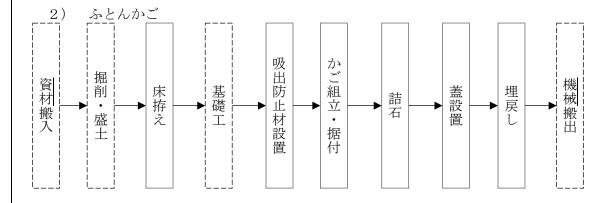
- (1) (略)
- (2) 施工概要

施工フローは、下図を標準とする。



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。



必要回数繰り返し

備考 本歩掛に対応しているのは、実線部分のみである。

(3) 機種選定

機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

1771			
機械名	規格	台数	摘要
バックホウ	標準型・排出ガス対策型(第3次基準	1	
(クローラ型)	値)山積 0.5 ㎡(平積 0.4 ㎡)	1	

(4) 施工歩掛

1) じゃかご

じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。

じゃかご施工歩掛

(10m 当たり)

名 称	規格	単位	じゃかご	`径(cm)	摘要
41 W	<i>次</i> 允 1位	中丛	45	60	一
詰 石		m³	1.5	2.7	
世話役		人	0.2	0.3	
特殊作業員]]	0.7	1.3	
山林砂防工		"	0.7	1.2	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	h	0. 2	0. 4	

備考 1~6 (略)

2) ふとんかご

ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ふとんかご施工歩掛

(10m 当たり)

												\-	0111 _	¬ · · · ·				
	> 1.) 4. ~\H-\d				高 (cm)	40		50	60	1	00							
ふとんかご規格				幅 (cm)	120		120		120		200		120 200		120 200			要
名		称		規	格	単位												
詰			石			m³	4.6	5. 7	9.5	6.8	11.0	19.0						
世	話		役			人	0.6	0.7	1. 1	0.8	1.3	2.3						
特殊	作	業	員			"	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6						
山林	砂	防	工			"	1.7	2.1	3. 5	2.5	4. 1	7.0						
バ ツ (クロ						h	2. 3	2.9	4.8	3. 4	5. 5	9. 6						

備考 1~6 (略)

3) (略)

(5) (略)

(3) 機種選定

機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

17412			
機械名	規格	台数	摘要
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準 値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	1	

(4) 施工歩掛

1) じゃかご

じゃかご施工歩掛は、次表を標準とする。

じゃかご施工歩掛

(10m 当たり)

名 称	規格	単位	じゃかこ		摘 要
=+ <i>-</i> -		3	45	60	
詰石		m³	1.5	2. 7	
世 話 役		人	0.2	0.3	
特殊作業員		IJ	0.7	1.3	
山林砂防工		IJ	0.7	1.2	
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平積 0.4 ㎡)	h	0.2	0. 4	

備考 1~6 (略)

2) ふとんかご

ふとんかご施工歩掛は、次表を標準とする。

ふとんかご施工歩掛

(10m 当たり)

			/ دا خ	しかご規格		高 (cm)	40	į	50	60	100			
			かこん	ノル・二 万紀代	,	幅 (cm)	120		200	200 120		200	摘	要
	名		称	規	格	単位								
詰			石			m³	4.6	5. 7	9. 5	6.8	11.0	19.0		
世		話	役			人	0.6	0.7	1. 1	0.8	1.3	2.3		
特	殊	作	業員			"	0.6	0.8	1.3	0.9	1.5	2.6		
山	林	砂	防工			"	1. 7	2. 1	3. 5	2.5	4. 1	7. 0		
	クロ		ホ ウ ラ型)	対策型(積 0.5 m³	h	2.3	2.9	4.8	3. 4	5. 5	9. 6		

備考 1~6 (略)

- 3) (略)
- (5) (略)

(6) 単価表

1) じゃかご 10m 当たり単価表

/ C \ \ \ C 1011	ココルノー曲気			
名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 1)
特殊作業員		IJ		IJ
山林砂防工		IJ		IJ
じゃかご		m	10	
詰石		$ m m^3$		(4) - 1)
止杭		本		必要に応じて計上 (6)-3)
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 山積 0.5 m³(平積 0.4 m³)	h		(4)-1)
計				

2) ふとんかご 10m 当たり単価表

$\int a^3 C N R C I$	UM ヨたり単個衣			
名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 2)
特殊作業員		11		IJ
山林砂防工		11		JJ
ふとんかご		m	10	ふとんかごは、パネル式と する。
詰石		m^3		(4) - 2)
吸出防止材	t = 10 mm	m²		必要に応じて計上 式5-2
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) 山積 0.5 m³(平積 0.4 m³)	h		(4) - 2)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 3次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平 積 0.4 ㎡)		

$3 - 3 \sim 3 - 5$ (略)

3-6 航空実播工

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) 地上作業の積算(直接工事費)

(6) 単価表

1) じゃかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4)-1)
特殊作業員		IJ		JI .
山林砂防工		IJ		JI .
じゃかご		m	10	
詰石		$ m m^3$		(4) - 1)
止杭		本		必要に応じて計上 (6)-3)
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値) 山積 0.5 m³(平積 0.4 m³)	h		(4) - 1)
計				

2) ふとんかご 10m 当たり単価表

名称	規格	単位	数量	摘要
世話役		人		(4) - 2)
特殊作業員		IJ		JJ
山林砂防工		IJ		JJ
ふとんかご		m	10	ふとんかごは、パネル式と する。
詰石		m^3		(4) - 2)
吸出防止材	t = 10 mm	m²		必要に応じて計上 式5-2
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値)山積 0.5 m ³ (平積 0.4 m ³)	h		(4) - 2)
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・排出ガス対策型 (第 1次基準値) 山積 0.5 ㎡ (平 積 0.4 ㎡)	機-1	

$3 - 3 \sim 3 - 5$ (略)

3-6 航空実播工

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) 地上作業の積算(直接工事費)

1) 地上作業の歩掛

(1日当たり)

							(1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
;	名	称	形状・寸法	単位	スラリ 一方式	空播き 方 式	摘要
世	話	衫		人	1.0	1.0	ヘリコプター誘導を含む。
運	転	手		"	1.0		種子吹付機運転
符	殊 作	莱 貞		"	1.0	1.0	揚水ポンプ運転積込み
山	林砂	防コ		"	6.0	4.0	資材運搬、計量、投入
機	械	損 彩	→ 車載式種子吹付機 37kW(PS)	時	5. 0		
	"		小型渦巻ポンプ可 搬・自吸・エンジン駆	日	1.0		1日稼働時間 5時間
			動型 口径 40 mm				
			1.0kW(ps)				
燃	料	費	軽油	Q	35		
	IJ		ガソリン	"	2.5		

<u>備考</u> 本表を標準とするが、現場状況等により、これにより難い場合は、必要な経費を別途計上するものとする。

2) (略)

(7) (略)

 $3 - 7 \sim 3 - 13$ (略)

3-14 山腹水路工

 $1 \sim 4$ (略)

- 5 施工歩掛
- (1) 山腹集水路・排水路工
 - ① 山腹U型側溝(機械据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械 損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 2 諸雜費率

(%) 諸雑費率 <u>0.5</u>

② 山腹U型側溝(人力据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 4 諸雑費率

(%) 諸雑費率 <u>0.5</u>

③ 山腹コルゲートフリューム据付歩掛

1) 地上作業の歩掛

(1日当たり)

ź	名	称	形状・寸法	単位	スラリ 一方式	空播き 方 式	摘要
世	話	役		人	1. 0	1.0	ヘリコプター誘導を含む。
運	転	手		"	1.0		種子吹付機運転
特	殊作	業員		IJ	1. 0	1.0	揚水ポンプ運転積込み
山	林砂區	坊 工		IJ	6. 0	4.0	資材運搬、計量、投入
機	械 損	料	車載式種子吹付機 37kW(PS)	時	5. 0		
	"		小型渦巻ポンプ可 搬・自吸・エンジン駆 動型 口径 40 mm	日	1.0		1日稼働時間 5時間
140	ala l	-#+	1.0kW(ps)		0.5		
燃	料	費	軽油	Q	35		
	IJ		ガソリン	IJ	2.5		

(新設)

2) (略)

(7) (略)

 $3 - 7 \sim 3 - 13$ (略)

3-14 山腹水路工

 $1 \sim 4$ (略)

- 5 施工歩掛
- (1) 山腹集水路・排水路工
 - ① 山腹U型側溝(機械据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械 損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 2 諸雑費率

(%) 諸雑費率 <u>0.4</u>

② 山腹U型側溝(人力据付)歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械及び目地モルタルの費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 4 諸雜費率

(%) 諸雑費率 <u>0.4</u>

③ 山腹コルゲートフリューム据付歩掛

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の 合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 6 諸雑費率

(%) 諸雑費率 <u>0.4</u>

(2) • (3) (略)

(4) 集水桝工

① (略)

② プレキャスト集水桝据付歩掛 プレキャスト集水桝据付の歩掛は、次表を標準とする。

表 5. 16 プレキャスト集水桝据付歩掛

(1基当たり)

_						\ .	上坐コたり
集7	水桝製品質量		150 kg	500 kg	1,000 kg	1,500 kg	
			を超え	を超え	を超え	を超え	摘要
名 称	規格	単位	500 kg	1,000 kg	1,500 kg	1,700 kg	100安
		\	以下	以下	以下	以下	
世 話 役		人	0.2	0.3	0.3	0.3	
特殊作業員]]	0.3	0.3	0.3	0.4	
山 林 砂 防 工 (普通作業員)		"	0.5	0.5	0.6	0.6	
バックホウ 運 転	排出ガス対策型 (第2次基準値) クローラ型・クレ	h	2. 2	2.7	3. 2	3. 5	
	排出ガス対策型 (第1次基準値) クローラ型・ダン プ式 2.5 t 積	П	0. 1				必要に 応じて 計上 (注)1
諸 雑 費 率	<i>+</i>	%		0.	<u>. 6</u>		

(注) $1 \sim 5$ (略)

③ (略)

 $6 \sim 7$ (略)

8 単価表

 $(1) \sim (7)$ (略)

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、締固め機械の費用であり、労務費、バックホウの機械損料及び運転経費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 5. 6 諸雑費率

(%) 諸雑費率 0.3

(2) • (3) (略)

(4) 集水桝工

① (略)

② プレキャスト集水桝据付歩掛 プレキャスト集水桝据付の歩掛は、次表を標準とする。

表 5. 16 プレキャスト集水桝据付歩掛

(1基当たり)

									\ -	上 左 コ に り
		集	水桝製品質	量		150 kg	500 kg	1,000 kg	1,500 kg	
						を超え	を超え	を超え	を超え	摘要
名	利	ķ	規	格	単位 \	500 kg	1,000 kg	1,500 kg	1,700 kg	100分
					\	以下	以下	以下	以下	
世	話	役			人	0.2	0.3	0.3	0.3	
特 殊	作業	美 員			IJ	0.3	0.3	0.3	0.4	
山林	: 砂 🛭	5 工			"	0 5	0 5	0.6	0.6	
(普)	通作業	員)			"	0. 5	0.5	0.6	0.6	
バ ッ	クオ	マック 転	排出ガス対 (第2次基 クロラ型 ーン機能作 山積 0.28 0.2 m³) 吊能力 1.7	基準値) 型・クレ け ㎡(平積	h	2. 2	2. 7	3. 2	3. 5	
運	地運		排出ガス対 (第1次基 クローラ型 プ式 2.5 t	基準値) 型・ダン	日	0.1				必要に 応じて 計上 (注)1
諸な	维費	率			%		0.	5		
'→ \ ¬	_	/	<i>Ι</i> Α-)							

(注) 1~5 (略)

③ (略)

 $6 \sim 7$ (略)

8 単価表

 $(1) \sim (7)$ (略)

(8) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
バックホウ (集水桝工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積0.28 ㎡(平積0.2 ㎡)吊能力1.7 t	機-1	
バックホウ (山腹集水路・排水路 工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積0.28 ㎡(平積0.2 ㎡) 吊能力1.7 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>37</u> 機械損料数量→ <u>1.58</u>
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準 値)クローラ型・ダンプ式 2.5 t 積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <mark>8</mark> 機械賃料数量→1.66

 $3-15 \cdot 3-16$ (略)

3-17 (参考歩掛) コンクリートブロック積工(治山) 1~3 (略)

4 単価表

(1)~(4) (略)

(5)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対 策型(第3次基準値)山積0.45 ㎡ (平積0.35 ㎡)吊能力2.9t		運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>28</u> 機械賃料数量→1.64

5 (略)

(8) 機械運転単価表

(0) 极极连钩车曲线			
機 械 名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
バックホウ (集水桝工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積0.28 m³(平積0.2 m³)吊能力1.7 t	機-1	
バックホウ (山腹集水路・排水路 工) (山腹明暗渠工) (山腹暗渠工)	排出ガス対策型(第2次基準値)クローラ型・クレーン機能付 山積0.28 m ² (平積0.2 m ²) 吊能力1.7 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>39</u> 機械損料数量→ <u>1.56</u>
不整地運搬車	排出ガス対策型(第1次基準 値)クローラ型・ダンプ式 2.5 t 積	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.66

 $3-15 \cdot 3-16$ (略)

3-17 (参考歩掛) コンクリートブロック積工(治山) 1~3 (略)

4 単価表

(1)~(4) (略)

(5)機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・クレーン機能付・排出ガス対 策型(第3次基準値)山積0.45 ㎡ (平積0.35 ㎡)吊能力2.9t		運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>30</u> 機械賃料数量→1.64

5 (略)

第4 地すべり防止工

4-1 小口径ボーリング

- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8) 消耗品損耗量
- 1) (略)
- 2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフタリング

(100m当たり)

									(10	000 = 700
品名	規格	単位	粘性 土	砂· 砂質 土	礫質 土	岩塊 • 玉石	軟岩 (I)	軟岩 (Ⅱ) <u>・</u> 中硬岩	硬岩	摘要
ボーリン グロッド	径 40.5mm 長 3.0m	本	2	2	2	2	2	2	2	地上 作業用
IJ	径 40.5mm 長 1.0m 3 本	11	6	6	6	6	6	6	6	坑内 作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	11	1	1	1	1	1	_		地上 作業用
IJ	各径 長 1.0m 1.5本	11	1.5	1.5	1. 5	1.5	1.5	_	_	坑内 作業用
コアー チューブ	各径	11	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフ タリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

 $(9) \sim (12)$ (略)

4-2 中口径ボーリング

- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8) 消耗品損耗量
- 1) (略)

第4 地すべり防止工

4-1 小口径ボーリング

- $(1) \sim (7) \qquad (略)$
- (8) 消耗品損耗量
- 1) (略)
- 2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフタリング

(100m当たり)

									(
品名	規格	単位	粘性 土	砂· 砂質 土	礫質 土	岩塊 • 玉石	軟岩 (I)	軟岩 (Ⅱ)	硬岩	摘要
ボーリン グロッド	径 40.5mm 長 3.0m	本	2	2	2	2	2	2	2	地上 作業用
"	径 40.5mm 長 1.0m 3 本	"	6	6	6	6	6	6	6	坑内 作業用
ケーシン グ	各径 長 1.5m	11	1	1	1	1	1			地上 作業用
JJ	各径 長 1.0m 1.5本	"	1. 5	1. 5	1. 5	1.5	1.5	l	_	坑内 作業用
コアー チューブ	各径	11	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフ タリング		個	1	1	1	3	8	8	16	
:± /m/>\										

備考 (略)

 $(9) \sim (12)$ (略)

4-2 中口径ボーリング

- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8) 消耗品損耗量
- 1) (略)

2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフタリング

									(10	0 \square \square \square \square
品名	規格	単位	粘性 土	砂· 砂質 土	礫質 土	岩塊 • 玉石	軟岩 (I)	軟岩 (Ⅱ) <u>・</u> 中硬岩	硬岩	摘要
ボーリン グロッド	長 3.0m 各径	本	2	2	2	2	2	2	2	地上 作業用
II.	長 1.0m 3 本各径	11	6	6	6	6	6	6	6	坑内 作業用
ケーシング	各径 長 1.5m	"	1	1	1	1	1		l	
IJ	各径 長 1.0m 1.5本	11	1. 5	1. 5	1. 5	1.5	1.5	_	l	坑内 作業用
コア チューブ	各径	"	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフ タリング		個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

 $(9) \sim (12)$ (略)

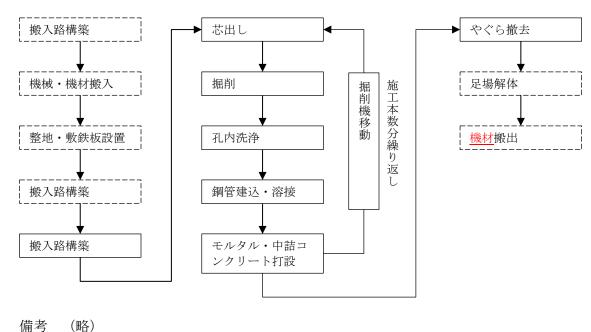
4-3 大口径ボーリング

(1) (略)

(2) 施工概要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又は H 形鋼を建て込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は、土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、 レキ質土、岩等に対応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



2) ボーリングロッド、ケーシング、コアチューブ及びコアリフタリング

(100m当たり)

									(10	Om = /C
品名	規格	単位	粘性土	砂・ 砂質 土	礫質 土	岩塊• 玉石	軟岩 (I)	軟岩 (Ⅱ)	硬岩	摘要
ボーリングロッド	長 3.0m 各径	本	2	2	2	2	2	2	2	地上 作業用
IJ	長 1.0m 3 本各径	11	6	6	6	6	6	6	6	坑内 作業用
ケーシング	を 各径 長 1.5m	11	1	1	1	1	1	ı	_	
11	各径 長 1.0m 1.5本	IJ	1.5	1.5	1.5	1.5	1.5	-	_	坑内 作業用
コア チューブ	各径	"	1	2	3	1	2	2	3	
コアリフタリング	7	個	1	1	1	3	8	8	16	

備考 (略)

(100m当たり)

 $(9) \sim (12)$ (略)

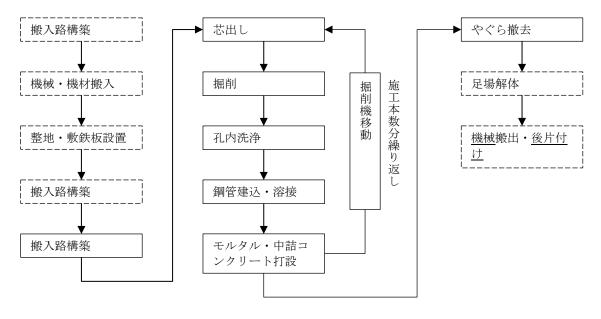
4-3 大口径ボーリング

(1) (略)

(2) 施工概要

本工法は、大口径ボーリングマシンを使用して施工するもので、地盤を掘削し、鋼管杭又は H 形鋼を建て込み、中詰コンクリートの打設、外詰モルタルの注入等の一連作業で杭を形成するものである。

なお、本工法は、土質・岩質に対する適用範囲が広く、使用するビットによって粘性土、 レキ質土、岩等に対応でき、孔壁の崩落保護を行いながら施工することを標準とする。



備考 (略)

- (3) 機種の選定
- 1) (略)
- 2) 補助機械の選定

(略)

現場及び作業条件

①~③ (略)

機械の選定

機械名	規格	単位	数量	摘用
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型(<u>2014</u> <u>年規制</u>) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	台	1	資材等の小運搬、鋼管、H型鋼の 建込、溶接大口径ボーリングマ シンの移動 必要に応じて計上する。

備考 (略)

$(4) \sim (6)$ (略)

(7) やぐらの設置・撤去

やぐらの設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらの分解をしなければ移動できない場合に計上する。

やぐらの設置・撤去歩掛 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

	名		称		単位	数量	摘要
世		話		役	人	1.0	
ک		び		Н	IJ	1.0	
特	殊	作	業	員	IJ	2.0	
山	林	砂	防	Н	IJ	2.0	
ラフ	テレーン	/クレ	ーン運転		日	1.0	排出ガス対策型(<u>2014 年規制</u>) ・油圧伸縮ジブ型 25t 吊

備考 (略)

やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合) (略)

(8) ビット等損耗費

ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、機械損料の合計金額に次表の率を乗じた額を<u>上限として</u>計上する。 なお、ビット等損耗費については、杭1本当たりで算出する。

ビット損耗費率(P) (略)

(9) • (10) (略)

- (3) 機種の選定
 - 1) (略)
 - 2) 補助機械の選定

(肥久)

現場及び作業条件

①~③ (略)

機械の選定

機械名	規格	単位	数量	摘用
ラフテレーン クレーン	排出ガス対策型 (<u>第3</u> <u>次基準値</u>) 油圧伸縮ジブ型 25t 吊	台	1	資材等の小運搬、鋼管、H型鋼の 建込、溶接大口径ボーリングマ シンの移動 必要に応じて計上する。

備考 (略)

$(4) \sim (6)$ (略)

(7) やぐらの設置・撤去

やぐらの設置・撤去歩掛は、次表とする。ただし、搬入搬出時及びやぐらの分解をしなければ移動できない場合に計上する。

やぐらの設置・撤去歩掛 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

	名		称		単位	数量	摘要
III.	^H	= 1	.h1.	ΔH.	十四		順安
世		話		役	人	1.0	
と		び		工	11	1.0	
特	殊	作	業	員	IJ	2.0	
山	林	砂	防	工	IJ	2.0	
ラフ	テレーン	ノクレ	ーン運転		田	1.0	排出ガス対策型(<u>第3次基準値</u>) ・油圧伸縮ジブ型 25t 吊

備考 (略)

やぐらの設置・撤去歩掛(索道使用の場合) (略)

(8) ビット等損耗費

ビット等損耗費は、大口径ボーリングマシンに使用するビット及びロッド等の費用であり、労務費、機械損料の合計金額に次表の率を乗じた額を計上する。 なお、ビット等損耗費については、杭1本当たりで算出する。

ビット損耗費率 (P) (略)

(9) • (10) (略)

(11) 単価表

1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当たり単価表

- 4		₹ 7 . <u>⊐</u>				. 1 = 01 0 //////////	<u> </u>	ГЩИ	
		名	称	`		規格	単位	数量	摘要
	世	Ī	話		役		人	$Tc \times 1$	(4)
	\sim	(略)	\	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
	ラク	ファレー	レン	_ 賃	ン料	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (<u>2014 年規</u> <u>制</u>) 25t 吊	"	$T_2 + T_3$	必要に応じて計上
	ビ	ット	等 損	耗	費		式	1	(8)
	諸	7	維		費		11	1	(9)
		Ī	計						

備考 (略)

2) やぐらの設置・撤去単価表 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

								(12:10-70
	名		称		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人		(7)
\sim	(略)	>	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
ラフ 賃	アテレ	ーン	クレー	- ン 料	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型 (<u>2014 年規</u> <u>制</u>) 25t 吊	П		II
		計						

3) (略)

4) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
大口	1径ボー	- リン	ノグマ	シン	(3)	機-25	機械損料数量→1.34
ウ	イ		ン	チ	単胴開放式 巻上能力 2.8t×30m/分	"	機械損料数量→1.42
発	動	発	電	機	排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 75kVA(19kW 用) 100kVA(30kW 用)	機-16	燃料消費量 75kVA→ <u>37</u> 100kVA→ <u>60</u> 機械賃料数量→ <u>1.30</u>

4-4 集水井工

4-4-1 集水井工 (ライナープレート土留工法)

- $(1) \sim (3)$ (略)
- (4) 機種の選定
- 1) 掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

(11) 単価表

1) 大口径ボーリングマシンによる場所打杭1本当たり単価表

	名 称		規格	単位	数量	摘要
世	話	役		人	$Tc \times 1$	(4)
\sim	(略)	\sim	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
ラク	ファレーレー グ質	ン料	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型(<u>第3次基</u> <u>準値</u>)25t 吊	"	$T_2 + T_3$	必要に応じて計上
ピ	ット等損耗	費		式	1	(8)
諸	雑	費		IJ	1	(9)
	計					

備考 (略)

2) やぐらの設置・撤去単価表 (ラフテレーンクレーン使用の場合)

(1基1回当たり)

名 称	規格	単位	数量	摘要
世 話 役		人		(7)
~ (略)~	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
フソアレーングレーン 香 料	油圧伸縮ジブ型・排出 ガス対策型(<u>第3次基</u> <u>準値</u>)25t 吊	Ш		"
計				

3) (略)

4) 機械運転単価表

	機	械	名		規格	適用単価表	指定事項
大口	径ボ-	- リ:	ングマ	シン	(3)	機-25	機械損料数量→1.33
ウ	イ		ン		単胴開放式 巻上能力 2.8t×30m/分	IJ	機械損料数量→1.41
発	動	発	電		排出ガス対策型 ディーゼルエンジン駆動 75kVA(19kW 用) 100kVA(30kW 用)	継−16	燃料消費量 <u>→86</u> 75kVA→ <u>43</u> 100kVA→ <u>73</u> 賃料数量→ <u>1.3</u>

4-4 集水井工

- 4-4-1 集水井工(ライナープレート土留工法)
- $(1) \sim (3)$ (略)
- (4) 機種の選定
- 1) 掘削土留作業に使用する機種、規格は、次表を標準とする。

機種の選定

177 H	-						
用途	機械名	規格	単	数		L 治	去
巾 坯	1成10人口	/元 1行	位	量	A	В	С
掘削及び排土	クラムシ	油圧クラムシェルテレスコピ	台	1)		
畑門及い肝工	エル	ック式クローラ型平積 0.4 ㎡		1			
	クローラ	排出ガス対策型(第3次基準値)	11	1			
排土及び土留	クレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	"	1			
材・機材の吊	めがさ壮	簡易やぐら (モータウインチ は) 飲力 2 0t 細則 4 60 5mm ×					
り込み		付)能力2.0t 鋼製φ60.5mm×	"	1			\circ
	置	4. Om					
15 AU	小型バッ	電動式・クローラ型	11	1			
掘削	クホウ	山積 0.022 ㎡(平積 0.015 ㎡)	"	1		\cup	

備考 (略)

- 2) (略)
- $(5) \sim (7)$ (略)
- (8) 井戸蓋工
- 1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単 位	数量
カローラカレーン	排出ガス対策型(第3次基準)	4	1
クローノグレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	口	1

備考 (略)

- 2)・3) (略)
- (9) 昇降用設備設置工
- 1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規 格	単 位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- (8) (8) (8)
- (10) (略)
- (11) 内訳表及び単価表
- 1)

機種の選定

	_						
用途	機械名	規格	単	数			去
用 歴	1茂/灰/口	/九 竹 	位	量	A	В	С
 掘削及び排土	クラムシ	油圧クラムシェルテレスコピ	台	1			
加州及〇州	エル	ック式クローラ型平積 0.4 m³		1)		
	クローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)	IJ	1			
排土及び土留	クレーン	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊		1))	
材・機材の吊	めべた壮	簡易やぐら (モータウインチ 付)能力2 0t 鋼製 460 5mm×					
り込み	置置	付)能力2.0t 鋼製φ60.5mm×	"	1			\circ
	- - - - - - - -	4. Om					
掘削	小型バッ	電動式・クローラ型	JJ.	1			
1/出 月リ	クホウ	山積 0.022 ㎡ (平積 0.015 ㎡)	"	1			

備考 (略)

- 2) (略)
- $(5) \sim (7)$ (略)
- (8) 井戸蓋工
- 1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単 位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- 2)・3) (略)
- (9) 昇降用設備設置工
- 1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単 位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- (8) (8) (8)
- (10) (略)
- (11) 内訳表及び単価表

1)

2) 掘削土留1基当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要		
世 話 役		人	$1 \times D$	(5), (6)		
~ (略)~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~		
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	"	D	(6) A・B工法のみ計上 機械賃料		
~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~		
諸 雑 費		式	1	(6)-1)-1		
計						

備考 (略)

3) (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

名 称	規 格	単位	数量	摘 要
世 話 役		人	1×1/D	
特殊作業員		IJ	2×1/D	(8) - 2), 3)
山 林 砂 防 工		IJ	1×1/D	
	排出ガス対策型(第 <mark>3</mark> 次基 準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井戸蓋材		基	1	
計				

備考 (略)

5) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

	名	称		規格	単位	数量	摘要
世	話	•	役		人	1×10/D	
特	殊 作	業	員		11	2×10/D	(9)-2), 3)
Щ	林 砂	防	工		11	1×10/D	
クロ	ローラクし	νーン <u>ϊ</u>	軍転	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基 準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×10/D	(9)-1)、3) 機械賃料
諸	雑		費		式	1	(9) - 4)
	計						

備考 (略)

6) (略)

7) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
	油圧クラムシェルテレス		運転労務数量→1.00
クラムシェル	コピック式	機-28	燃料消費数量→ <u>45</u>
	クローラ型平積 0.4 m³		機械賃料数量→1.41
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <mark>3</mark> 次 基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (A工法)→ <u>12</u> (B工法)→ <u>16</u> (井戸蓋、昇降用施設設置)→ <u>14</u> 機械賃料数量→1.47

2) 掘削土留1基当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
世 話 役		人	$1 \times D$	(5) (6)
~ (略)~	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	II	D	(6) A・B工法のみ計上 機械賃料
~ (略) ~	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
諸 雑 費		式	1	(6)-1)-1
計				

備考 (略)

3) (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

	2	名 称	;		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	1×1/D	
特	殊	作	業	員		IJ	2×1/D	(8) - 2) (3)
山	林	砂	防	I		IJ	1×1/D	
クロ	ーラ	クレー	- ン運		排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基 準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	Ш	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
	井戸	蓋材				基	1	
	計							

備考 (略)

5) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

	/ / / / /		14 12 -					
	4	名 乖	尔		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	1×10/D	
特	殊	作	業	員		IJ	2×10/D	(9)-2), 3)
山	林	砂	防	工		IJ	1×10/D	
クロ	ーラ	クレ	ーン)	運転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基 準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×10/D	(9)-1)、3) 機械賃料
諸		雑		費		式	1	(9) - 4)
		計						

備考 (略)

6) (略)

7) 機械運転単価表

/ MMZ-M-IM-M			
機械名	規格	適用単価表	指定事項
クラムシェル	油圧クラムシェルテレス コピック式 クローラ型平積 0.4 ㎡	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>48</u> 機械賃料数量→1.41
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値)油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (A工法)→ <u>13</u> (B工法)→ <u>17</u> (井戸蓋、昇降用施設設置)→ <u>15</u> 機械賃料数量→1.47

小型	型バ	ツクオ	ァウ	電動式クローラ型 山積 0.022 ㎡ (平積 0.015 ㎡)	機-25	(B工法) 機械損料数量→ <u>1.48</u> (C工法) 機械損料数量→ <u>1.41</u>
や	<i>(</i> * (ら装	置	簡易やぐら (モータウインチ付) 能力 2.0t 鋼 製 φ 60.5 mm×4.0m	機-25	機械損料数量→1.44
1	ラ	ツ	ク	クレーン装置付 2t 積 2. 9t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>21</u> 機械損料数量→1.21

4-4-2 集水井工 (プレキャスト土留工法)

- (1) (2) (略)
- (3) 機種の選定
- 1) 掘削土留作業に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

	用	途				7	機材	成名			規 格	単位	数量
掘削	及	び	排	土	ク	ラ	ム	シ	工	ル	油圧クラムシェル テレスコピック式 クローラ型平積 0.4 ㎡	和	1
土留材	• 機材	才のお	吊り ヨ	込み	クロ	ı —	・ラ	ク	レー	- ン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	IJ	1

備考 (略)

- 2) (略)
- $(4) \sim (6)$ (略)
- (7) 昇降用設備設置工
- 1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単 位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- (8) (8)
- (8) 井戸蓋工
- 1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単位	数量
カローラカレーン	排出ガス対策型(第3次基準値)	台	1
9 L 79 V - V	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊		1

備考 (略)

2)・3) (略)

(9) 内訳表及び単価表

小	型バ	ツ	クホ	ゥ	電動式クローラ型 山積 0. 022 ㎡ (平積 0. 015 ㎡)	機-25	(B工法) 機械損料数量→ <u>1.47</u> (C工法) 機械損料数量→ <u>1.40</u>
や	Ċ,	ら	装	置	簡易やぐら (モータウインチ付) 能力 2.0t 鋼製 φ 60.5 mm×4.0m	機-25	機械損料数量→ <u>1.43</u>
1	ラ		ツ	ク	クレーン装置付 2t 積 2.9t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>23</u> 機械損料数量→1.20

4-4-2 集水井工 (プレキャスト土留工法)

- (1) (2) (略)
- (3) 機種の選定
- 1) 掘削土留作業に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

	が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般が、一般												
	用途					機械名			戒名		規 格	単位	数量
掘	削	及	び	排	土	ク	ラ	<u>ل</u>	シ	ェル	油圧クラムシェル テレスコピック式 クローラ型平積 0.4 ㎡	台	1
土	留材	• 機材	才の日	号り 沪	込み	ク	ロ -	- ラ	クコ	レーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	IJ	1

備考 (略)

- 2) (略)
- $(4) \sim (6)$ (略)
- (7) 昇降用設備設置工
- 1) 使用機械

昇降用設備設置工に使用する機種・規格は、次表を標準とする。

昇降用設備設置工使用機械

機械名	規格	単位	数量
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	台	1

備考 (略)

- (8) (8) (8)
- (8) 井戸蓋工
- 1) 使用機械

井戸蓋工に使用する機種・規格は次表を標準とする。

井戸蓋工使用機械

機械名	規格	単 位	数量
カロ ラカレ ツ	排出ガス対策型(第1次基準値)	\leftarrow	1
96-790-2	油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	口	1

備考 (略)

2)・3) (略)

(9) 内訳表及び単価表

1) (略)

2) 掘削土留1基当たり単価表

名 称	規格	単位	数量	摘要
世 話 役		人	$1 \times D$	(4) (5)
~ (略)~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
クローラクレーン運転	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準 値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	"	D	(5) 機械賃料
土 留 材	プレキャスト土留材	基	1	
諸 雑 費		式	1	(5)-1)-1
計				

備考 (略)

3) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

	2	名 彩	ŗ		規格	単位	数量	摘 要
世		話		役		人	1×10/D	
特	殊	作	業	員		IJ	2×10/D	(7)-2), 3)
山	林	砂	防	T.		IJ	1×10/D	
クロ	ューラ	クレ	ーンi		排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準 値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	П	1×10/D	(7)-1)、3) 機械賃料
諸		雑		費		式	1	(7) - 4)
		計						

備考 (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

<u>/ / </u>	1 / 1111							
	1	名 科	5		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	1×1/D	
特	殊	作	業	員		IJ	2×1/D	(8) - 2) (3)
山	林	砂	防	エ		IJ	1×1/D	
クロ	ーラ	クレ	ーン		排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井	戸		蓋	材		基	1	
		計						

備考 (略)

5) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項	
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積 0.4 ㎡		運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>45</u> 機械賃料数量→1.36	
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (掘削土留)→11 (昇降用設備設置)→12 (井戸蓋設置)→6.7 機械賃料数量→1.41	

1) (略)

2) 掘削土留1基当たり単価表

	名 称	Ť.	規格	単位	数量	摘 要
世	話	役		人	$1 \times D$	(4) (5)
\sim	(略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
クロ	ーラクレ・	ーン運転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	"	D	(5) 機械賃料
土	留	材	プレキャスト土留材	基	1	
諸	雑	費		式	1	(5) -1) -イ
	計					

備考(略)

3) 昇降用設備設置工 10m 当たり単価表

	2	名 称	;		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	1×10/D	
特	殊	作	業	員		IJ	2×10/D	(7) - 2), 3)
山	林	砂	防	Н		IJ	1×10/D	
クロ	ーラ	クレ	ーン゛	重転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準 値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	П	1×10/D	(7)-1)、3) 機械賃料
諸		雑		費		式	1	(7) - 4)
		計						

備考 (略)

4) 井戸蓋工1基当たり単価表

	أ	5 称	.		規格	単位	数量	摘要
世		話		役		人	$1 \times 1 / D$	
特	殊	作	業	آ		IJ	$2\times1/D$	(8) - 2), 3)
山	林	砂	防	エ		IJ	1×1/D	
クロ	ーラ	クレ	ーン		排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次 基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	日	1×1/D	(8)-1)、3) 機械賃料
井	戸		蓋	材		基	1	
		計						
/+++ - 1-y	/ m/ -	\					_	

備考 (略)

5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項	
クラムシェル	油圧クラムシェルテレスコピック式 クローラ型平積 0.4 ㎡	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量→ <u>48</u> 機械賃料数量→1.36	
クローラクレーン	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値) 油圧伸縮ジブ型 4.9t 吊	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費数量 (掘削土留)→11 (昇降用設備設置)→12 (井戸蓋設置)→6.7 機械賃料数量→1.41	

4-5 (略)

4-6 集排水ボーリング孔洗浄工

(1) 適用範囲

本歩掛は、地すべり防止施設における集排水ボーリング孔の洗浄工に適用する。

1) 洗浄工

<u>横ボーリング孔及び集水井内での集排水ボーリング孔 (φ 30mm $\sim \varphi$ 150mm、延長 130m以下/本) の洗浄工に適用する。</u>

なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。

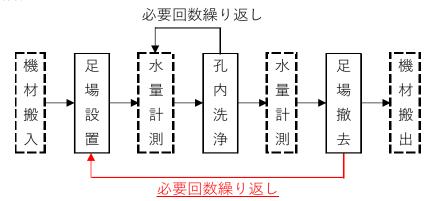
2) 集水井内足場工

井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用できる。

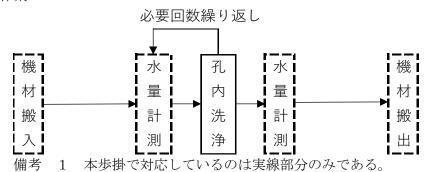
(2) 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

1) 井内作業



2) 井外作業



2 水量計測は、共通仮設費率に含むものとする。

(削る。)

<u>(3)</u> 施工歩掛 (削る。)

4-6 集排水ボーリング孔洗浄工

(1) 適用範囲

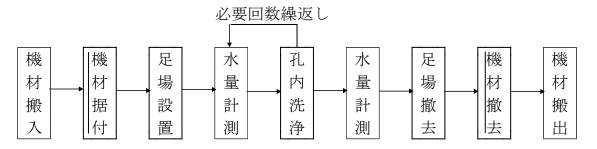
本歩掛は、地すべり防止施設における<u>横ボーリング孔及び集水井内での</u>集排水ボーリング孔、(φ30mm~φ150mm、延長 130m以下/本)の高圧ポンプによる洗浄工に適用する。 なお、洗浄工程数については、集水孔は4工程まで、排水孔は3工程までに適用する。 (新設)

(新設)

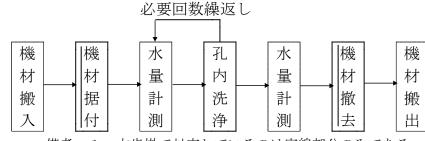
(2) 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。

1) 井内作業



2) 井外作業



備考 1 本歩掛で対応しているのは実線部分のみである。

2 水量計測は、共通仮設費率に含むものとする。

(3) 機種の選定

洗浄作業における機械等の機種・規格は、次表を標準とする。

機種の選定

1/X 1 1/C-1/C				
機械名	<u>規 格</u>	単位	数量	<u>摘 要</u>
高圧洗浄機	工事用・ガソリンエンジン 駆動 吐出量 35~70 0/min 圧力 14.7MPa	<u>台</u>	1	ノズル、高圧ホースを含 <u>む。</u>

(4) 施工歩掛

洗浄工の施工歩掛は、次表とする。

1) 洗浄工

<u>ア</u>編成人員

洗浄工の日当たり編成人員は、次表を標準とする。

日当たり編成人員

(人/日)

			0 1 1
选	土木一般世話役	特殊作業員	普通作業員
<u> </u>	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>1</u>

<u>イ</u> 日当たり施工量

洗浄工の日当たり施工量は、次表を標準とする。

日当たり施工量

(1日当たり)

		(= 1 : - 1 : - 7 /
进	<u>単位</u>	<u>数量</u>
<u> </u>	<u>m</u>	<u>230</u>

ウ 諸雑費率

諸雑費は、高圧洗浄機(ノズル、高圧ホース含む。)賃料、工事用水中モータポンプ賃料、 軸流ファン(軸流式)の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合 計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。なお、軸流ファン(軸流式)は、井内 作業の場合に計上する。井外作業の場合は、() 内の率を乗じた金額を上限として計上する。 また、高圧洗浄機は、「工事用・モータ駆動 吐出量 15~200/min 圧力 20MPa」を標準 とし、現場条件等により、これにより難い場合は、別途考慮する。

洗浄水は、沢水を工事用水中モータポンプにて採取し、水槽に貯水して使用することを標準としており、現場条件等により、これにより難い場合は、洗浄水に要する費用を別途計上する。

諸雑費率

(%)

<u>諸雑費率</u> <u>16(15)</u>		
	諸雑費率	<u>16 (15)</u>

<u>2)</u> 集水井内足場工 (削る。)

施工歩掛

井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。 なお、本歩掛で対応しているのは、集水井内足場概念図(参考図)に示す足場工である。

集水井内足場設置·撤去歩掛

洗浄工歩掛

1日当たり施工量 (m/日)	<u>編成人員</u> _(人)_	使用機械	<u>諸雑費率</u> <u>(%)</u>
	世 話 役 1	│ 一 高圧洗浄機	
<u>D=220</u>	<u>特殊作業員</u> 2		<u>2</u>
	山 林 砂 防 工 1	1台	

備考 諸雑費は、工事用水中モータポンプ賃料、軸流ファン(軸流式)の損料、水槽の損料、電力に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

(新設)

- (5) 集水井内足場工
- 1) 適用範囲

井内作業における集水井内足場の設置・撤去に適用する。 また、本歩掛は足場設置高さに関係なく適用できる。

2) 施工歩掛

井内作業における集水井内足場の設置・撤去歩掛は、次表のとおりとする。 なお、本歩掛で対応しているのは、集水井内足場概念図(参考図)に示す足場工である。

集水井内足場設置·撤去歩掛

(1回当たり)

				(1 / - 1 / - / /
	名 称		単位	数量
世	話	役	人	<u>0. 43</u>
と	び	Н]]	<u>0.72</u>
山	林 砂 防	工	11	<u>0. 51</u>
諸	雑費	率	%	<u>11</u>

- 備考<u>1</u> 諸雑費は、軸流ファン(軸流式)の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力 に関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として 計上する
 - 2 上表は、足場の設置・撤去1回当たりの数量であり同一集水井内で複数の設置・撤去を行う場合は、その実施回数を計上すること。

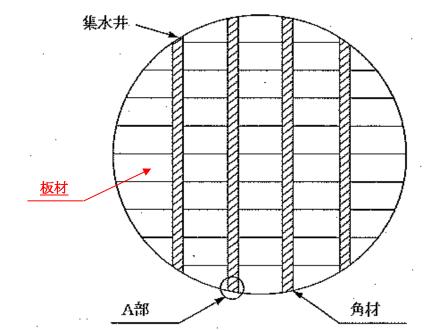
(1回当たり)

	名 称		単位	数量
世	話	役	人	0.4
ک	び	工	11	0.7
山	林 砂 防	エ	11	0.5
諸	雑費	率	%	7

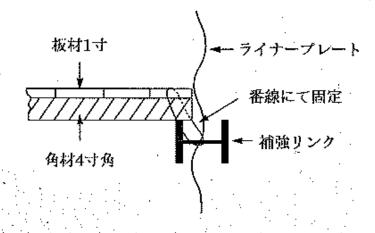
備考 諸雑費は、軸流ファン(軸流式)の損料、足場板合板、角材、安全ネット及び電力に 関する経費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上 する

集水井内足場概念図 (参考図)

〔平面図〕

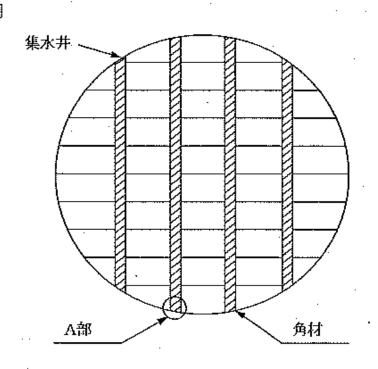


(A部詳細断面図)

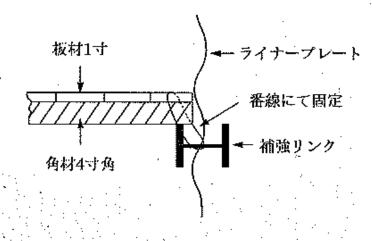


集水井内足場概念図(参考図)

[平面図]



(A部詳細断面図)



<u>(4)</u> 単価表

1)洗浄工 10m 当たり単価表

	v - · •		-		- / I IIII /			
	名		称		規格	単位	数 量	摘 要
世		話		役		人	$(10/D) \times 1$	(3) 1) ア、イ
特	殊	作	業	員]]	$(10/D) \times 2$	JJ
山	林	砂	防	T]]	$(10/D) \times 1$	JJ
(削	る	0)	(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)
諸		雑		費		式	1	(3) 1) ウ
		計						

備考 D:1日当たり施工量

2) 集水井内足場設置・撤去1回当たり単価表

	名		称		規	格	単位	数 量	摘 要
世		話		役			人	<u>0. 43</u>	$(3) \ 2)$
と		び		I			"	<u>0.72</u>	IJ.
山	林	砂	防	I			"	<u>0. 51</u>	IJ.
諸		雑		費			式	1	II.
		計							

(削る。)

4-7 (参考歩掛) ダウンザホールハンマエ

(1) ~ (11) (略)

(12) 諸雑費

(略)

諸雑費率

(%)

	A工法、B工法、C工法
諸雑費率	<u>29</u>

備考 (略)

(B工法:足場概念図)·(C工法:足場概念図)· (略)

(13) (略)

(14) 単価表

 $1) \sim 5)$ (略)

(6) 単価表

1) 洗浄工 10m 当たり単価表

	17 7001 五 10加 日 7 7 7 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1									
	名		称		規格	単位	数 量	摘 要		
世		話		役		人	(10∕D) ×1	<u>(4)</u>		
特	殊	作	業	員		IJ	$(10/D) \times 2$	JJ		
Щ	林	砂	防	工		IJ	(10∕D) ×1	<i>II</i>		
<u>高</u> 運	圧	洗	浄	<u>機</u> 転	工事用・ガソリンエンジン 駆動 吐出量 35~70 0/ min 圧力 14.7MPa	旦	<u>(10∕D) ×1</u>	<u>(4)</u> 機械損料		
諸		雑		費		式	1	<u>(4)</u>		
		計								

備考 D:1日当たり施工量

2) 集水井内足場設置・撤去1回当たり単価表

	名		称		規	格	単位	数 量	摘 要
世		話		役			人	<u>0. 4</u>	(5) 2)
と		び		Τ			"	<u>0. 7</u>	IJ
Щ	林	砂	防	П			"	<u>0. 5</u>	IJ
諸		雑		費			式	1	IJ
		計							

3) 機械運転単価表

	機	械	名		<u>規 格</u>	適用単価表	<u>摘 要</u>
<u>高</u>	圧	洗	浄	機	工事用・ガソリンエンジン <u>駆動 吐出量 35~70 0/</u> min 圧力 14.7MPa	幾-24	燃料消費量→28 機械損料数量→1.61

4-7 (参考歩掛) ダウンザホールハンマエ

(1) ~ (11) (略)

(12) 諸雑費

(略)

諸雑費率

	(%)
	A工法、B工法、C工法
諸雑費率	<u>28</u>

備考 (略)

(B工法:足場概念図)・(C工法:足場概念図)・ (略)

(13) (略)

(14) 単価表

1)~5) (略)

6) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
大口径ボーリングマシ ン	(5) - 2)	機-25	機械損料数量→1.29
空気圧縮機	(7)	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする。 規格 数量 7.5~7.6 m³/min 59 18~19 m³/min 114 機械賃料数量→1.33
ダウンザホールハンマ	空圧式 (6)	機-25	機械損料数量→ <u>1.38</u>
ウインチ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力 2.8t×30m/min 巻取容量 φ 22×200m	機一25	機械損料数量→1.57
発動発電機	排出ガス対策型 (第1 次基準値) ディーゼル エンジン駆動 定格 容量 75kVA	機-16	燃料消費量→ <u>51</u> 賃料数量→1.18
ラフテレーンクレーン (掘削用)	排出ガス対策型 (第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型 25t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.65</u> 燃料消費量→ <u>84</u>
クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウィンチ・ ラチスジブ型 (第2次 基準値) 50~55t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.09</u> 燃料消費量→60
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H 形鋼杭建込 用掘削機組立・分解用)		機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.03</u> 燃料消費量→ <u>84</u>

第5 森林整備

5-1 (略)

5-1-1 (略)

5-1-2 植栽(B)

(1) (略)

(2) (参考歩掛)植穴堀付、植付歩掛

6) 機械運転単価表

)						
機械名	規 格	適用単価表	指定事項			
大口径ボーリングマシン	(5) - 2)	機一25	機械損料数量→1.28			
空気圧縮機	(7)	機-16	燃料消費量→下記のとおりとする。 規格 数量 7.5~7.6 m³/min 66 18~19 m³/min 156 機械賃料数量→1.33			
ダウンザホールハンマ	空圧式 (6)	機一25	機械損料数量→1.37			
ウインチ (やぐら設置・撤去用)	開放型(電動)・単胴 巻上能力 2.8t×30m/min 巻取容量 φ 22×200m	機-25	機械損料数量→1.55			
発動発電機	排出ガス対策型 (第1 次基準値) ディーゼル エンジン駆動 定格 容量 75kVA	機-16	燃料消費量→ <u>60</u> 賃料数量→1.18			
ラフテレーンクレーン (掘削用)	排出ガス対策型 (第2 次基準値)油圧伸縮ジ ブ型 25t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.63</u> 燃料消費量→ <u>102</u>			
クローラクレーン (掘削用)	油圧駆動式ウィンチ・ ラチスジブ型 (第2次 基準値) 50~55t 吊	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.08</u> 燃料消費量→60			
ラフテレーンクレーン (鋼管杭・H 形鋼杭建込 用掘削機組立・分解用)	次基準値) 油圧伸縮ジ	機-18	運転労務数量→1.00 機械損料数量→ <u>1.02</u> 燃料消費量→ <u>102</u>			

第5 森林整備

5-1 (略)

5-1-1 (略)

5-1-2 植栽(B)

(1) (略)

(2) (参考歩掛)植穴堀付、植付歩掛

① 裸苗

(100 本当たり)

				\ , —, ,
名称	単位	数	文量	摘要
2 1	十1世	(削る。)	(削る。)	順 安
特殊作業員	人	0. 12	(削る。)	
普通作業員	人	0. 29	(削る。)	

備考 (削る。)

(削る。)

- 1 本表は、植穴を掘り苗木(長さ60cm未満)を植え付ける工程に適用する。
- 2 「裸苗」とは、苗畑で露地栽培される苗木をいう。
- 3 苗木の運搬及び施肥、客土等を必要とする場合は、別途考慮する。
- <u>4</u> 肥料木の植栽は、植穴堀付、植付の一連作業として<u>特殊作業員 0.10 人</u>/100 本、普通 作業員 0.23 人/100 本を標準とし、別途計上する。

② コンテナ苗

(100 本当たり)

				<u> </u>
夕 批	単位	<u>数</u>	量	摘要
<u>名 </u>	<u> </u>	<u>苗木 60 cm未満</u>	<u>苗木 60 cm未満</u>	<u>摘 安</u>
特殊作業員	<u>人</u>	<u>0. 11</u>	<u>0. 15</u>	
普通作業員	<u>人</u>	0.25	<u>0.34</u>	

- 備考 1 本表は、植穴を掘り苗木を植え付ける工程に適用する。
 - 2 「コンテナ苗」とは、根巻きを防止できる容器を使用し生産された、根鉢付き苗木を いう。
 - 3 苗木の運搬及び施肥、客土等を必要とする場合は、別途考慮する。
 - 4 <u>肥料木の植栽は、植穴堀付、植付の一連作業として特殊作業員 0.10 人/100 本、普通</u>作業員 0.23 人/100 本を標準とし、別途計上する。

5-1-3 (略)

5-1-4 地拵え等

(1) 人力地拵え歩掛

(略)

備考 1・2 (略)

3 職種は普通作業員とする。

(2) 立木整理歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 職種は普通作業員として、抜根は含まない。

(3) (略)

 $5-1-5\sim5-1-7$ (略)

5-1-8 苗木運搬歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 植栽 (B) の場合には、職種を普通作業員とする。

 $5 - 1 - 9 \sim 5 - 1 - 12$ (略)

 $5-2 \cdot 5-3$ (略)

(100 本当たり)

夕新	単位	数量		熔. 再
名 称	中亚	普通苗	コンテナ苗	摘要
特殊作業員	人	0.12	<u>0.11</u>	
普通作業員	人	0.29	0. 25	

備考 1 施肥、客土等を必要とする場合は、別途計上する。また、普通苗は、普通の山行き苗 を指す。

2 本表には、植栽地点を中心として 60cm 四方の地被物等の除去を含む。

(新設)

(新設)

(新設)

<u>3</u> 肥料木の植栽は、植穴堀付、植付の一連作業として <u>0.33 人</u>/100 本を標準とし、別途 計上する。

(新設)

5-1-3 (略)

5-1-4 地拵え等

(1) 人力地拵え歩掛

(略)

備考 1・2 (略)

3 職種は山林砂防工(普通作業員)とする。

(2) 立木整理歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 職種は山林砂防工(普通作業員)として、抜根は含まない。

(3) (略)

5-1-5~5-1-7 (略)

5-1-8 苗木運搬歩掛

(略)

備考 1~4 (略)

5 植栽(B)の場合には、職種を山林砂防工(普通作業員)とする。

 $5 - 1 - 9 \sim 5 - 1 - 12$ (略)

 $5-2 \cdot 5-3$ (略)

5-4 (参考歩掛)なだれ予防柵設置工

- $(1) \sim (3)$
- $1) \sim 4)$ (略)

5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0t		運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→ <u>1.55</u>

第6 海岸林造成

6-1 (略)

6-2 海岸植栽

(1)•(2) (略)

(3) 埋わら等歩掛

区分	埋わら	(削る。)	わら伏	わら立て	摘要
名称	(10束当たり)	(日)る。/	(10㎡当たり)	(10m当たり)	11的女
普通作業員(人)	0. 18	(削る。)	0. 36	0. 10	

備考 <u>敷わらを施工する場合は、見積りにより計上する。</u>

6-3 (略)

| 5-4 (参考歩掛)なだれ予防柵設置工

- $(1) \sim (3)$
- $1) \sim 4) \qquad (略)$

5) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
簡易ケーブルクレーン	エンジン式 巻上げ能力 1.0t		運転労務数量→1.00 燃料消費量→6 機械損料数量→1.53

第6 海岸林造成

6-1 (略)

6-2 海岸植栽

(1)•(2) (略)

(3) 埋わら等歩掛

	区分	埋わら	敷わら	わら伏	わら立て	按 西
名称		(10束当たり)	(100㎡当たり)	(10㎡当たり)	(10m当たり)	摘要
普通作	業員(人)	0. 18	0. 16	0. 36	0. 10	

備考 敷わらは、参考歩掛とする。

6-3 (略)

第3編 林道

第1 舗装工

1-1 (略)

1-2 砂利路盤工(機械)

1~3 (略)

4 作業歩掛

(1)・(2) (略)

(3) 舗装面仕上げ

舗装面仕上げの作業歩掛は、次表を標準とする。

表 4 . 4 施工歩掛

(100 ㎡当たり)

		(100 III = /C / /
機種	規格	舗装面仕上げ 機械運転日数(日)
振動ローラ 排出ガス対策型 (第 <u>3</u> 次基準値) コンバインド型	3~4t	0.2
振動ローラ ハンドガイド式	0.5~0.6t	0.3

(注) (略)

5 (略)

6 単価表

(1) 砂利舗装工(機械)100㎡当たり単価表

_ ` -	/	100	3 H113 %		- \				
	名		秱	Γ		規格	単位	数量	摘要
世		話			役		人		表 4. 2
\sim	(略)		\sim	~ (略) ~	\sim (略) \sim	~ (略) ~	~ (略) ~
振	動口	_	ラ	運	転	排出ガス対策型(第 <u>3</u> 次基準 値)コンバインド型 3~4t	IJ		表4.4 必要に応じ計上
		IJ				ハンドガイド式 0.5~0.6t	IJ		<i>II</i>
		計							

(2) (略)

(3) 機械運転単価表

_ ` `	, ,	/4 1//	THT-	, I				
	機	械	名		規格	適用単価表	指 定 事	項
					排出ガス対策型(第2次基準値)			
バ	ツ	ク	ホ	ウ	クローラ型	機-1		
					山積 0.28 ㎡ (平積 0.20 ㎡)			
					排出ガス対策型(第2次基準値)			
小	型バ	ツ	y ク ホ ウ クローラ型 (4) 運転時間:	運転時間=5.7	hr/日			
					山積 0.13 ㎡(平積 0.10 ㎡)			
					排出ガス対策型(第3次基準値)		運転労務数量-	→1.00
振	動	口	_	ラ	コンバインド型	機一28	燃料消費量→1	5
					3∼4t		機械賃料数量-	→1. 26
		IJ			ハンドガイド式	₩ 0.2	燃料消費量→3	<u>. 5</u>
		"			0.5~0.6t	機-23	機械損料数量-	→ <u>1. 76</u>

(4) (略)

1-3 (略)

第3編 林道

第1 舗装工

1-1 (略)

1-2 砂利路盤工(機械)

1~3 (略)

4 作業歩掛

(1)•(2) (略)

(3) 舗装面仕上げ

① 舗装面仕上げの作業歩掛は、次表を標準とする。

表 4. 4 施工歩掛

(100 m²当たり)

		(100 III = /C 9 /
機種	規格	舗装面仕上げ 機械運転日数(日)
振動ローラ 排出ガス対策型 (第 <u>1</u> 次基準値)コンバインド型	3∼4t	0. 2
振動ローラ ハンドガイド式	0.5~0.6t	0.3

(注) (略)

5 (略)

6 単価表

(1) 砂利舗装工(機械)100㎡当たり単価表

名		称		規格	単位	数量	摘 要
世	話		役		人		表 4. 2
~ (略)	\sim	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~	~ (略) ~
振動口	-	ラ道	重転	排出ガス対策型(第 <u>1</u> 値)コンバインド型	次基準 3~4t		表4.4 必要に応じ計上
	IJ			ハンドガイド式 0.5~	~0.6t "		JJ
	計						

(2) (略)

(3) 機械運転単価表

	- /	74 1/2	THAT.	11-4			
	機	械	名		規格	適用単価表	指 定 事 項
					排出ガス対策型(第2次基準値)		
バ	ツ	ク	ホ	ウ	クローラ型	機一1	
					山積 0.28 ㎡ (平積 0.20 ㎡)		
					排出ガス対策型(第2次基準値)		
小	型バ	ツ	クホ	ウ	クローラ型	(4)) 運転時間=5.7 hr/日
					山積 0.13 ㎡(平積 0.10 ㎡)		
					排出ガス対策型(第 <u>1</u> 次基準値)		運転労務数量→1.00
振	動	口	_	ラ	コンバインド型	機-28	燃料消費量→13
					3∼4t	機械賃料	機械賃料数量→1.26
		IJ			ハンドガイド式	機-23	燃料消費量→3
		"			0.5∼0.6t	7戏 — 23	機械損料数量→1.74

(4) (略)

1-3 (略)

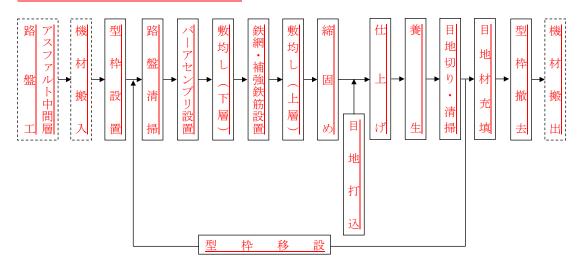
1-4 コンクリート舗装工

<u>1</u> 適用範囲

<u>本歩掛は、レディーミクストコンクリートを用いた人力によるセメントコンクリート舗装工事</u> に適用する。

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。



- (注) 1. 本歩掛で対応しているのは、実線部分のみである。
 - 2. 路盤工は、「路盤工」による。
 - 3. アスファルト中間層の施工は、「アスファルト舗装工」による。 図2-1 施工フロー

3 舗設工

(1) 舗設歩掛

施工歩掛は、次表を標準とする。

表3.1 施工歩掛

(100m²当り)

		人力舗設			
<u>名 称</u>	単位	<u>舗設厚</u>	<u>舗設厚</u>		
		<u>20cm以上</u>	<u>20cm未満</u>		
土木一般世話役	人	<u>1. 56</u>	<u>1. 08</u>		
特殊作業員	<u> </u>	<u>4.85</u>	<u>3. 35</u>		
普 通 作 業 員	<u> </u>	<u>9. 23</u>	<u>6. 38</u>		
諸 雑 費 率	<u>%</u>	<u>18</u>	<u>27</u>		

(注) 諸雑費は、養生に使用するマット、散水車等の費用及び舗設に使用する型枠、機械(トラック(クレーン装置付 ベーストラック4 t 級・吊能力 2.9 t)、コンクリートカッタ等)の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

(2) 舗設用コンクリート使用量

舗設用コンクリート使用量は、次式による。

表3.2 ロス率 (K)

<u> </u>	0. 2	1/_
舖設厚	<u>25cm未満</u>	25cm以上30cm以下
ロス率	+0.04	+0.03

(新設)

(3) 目地材料費

コンクリート舗装における横・縦目地の材料費については、別途計上すること。

4 単価表 (1)人力舗設 100m²当り単価表

<u>名 称</u>	<u>規 格</u>	単位	数量	<u>摘 要</u>
土木一般世話役		<u>人</u>		表3.1
特殊作業員		<u> "</u>		
普通作業員		<u> </u>		
<u>コンクリート</u>		<u>m</u> ³		式3.1
石粉又は瀝青材		<u>kg, ℓ</u>		必要に応じて計上
<u>鉄</u> 網	$\underline{\text{D6}}$ 150×150	$\underline{\mathbf{m}}^2$		
鉄 筋 鉄 網	<u>D13 200×200</u>	<u>t</u>		
補 強 鉄 筋	<u>D13</u>	<u> "</u>		
縦 目 地	(膨張) (収縮)	<u>m</u>		目地材・目地板・スリッ
横 目 地	(膨張) (収縮)	<u>//</u>		プバー・チェア等含む。
縦 自 由 縁 部				目地材・目地板等含む。
諸 雑 費		式	<u>1</u>	表3.1
<u></u>			_	

1 - <u>5</u> (略)

1-6 (参考歩掛)鉄鋼スラグ路盤工

<u>1</u> 適用範囲

本歩掛は、アスファルト舗装等を要しない林道等において、混合スラグ材(鉄鋼スラグと高炉水 砕スラグを混合した路盤材)を路床に敷均し、散水、転圧、養生、硬化により路面機能を強化する ため、路盤工の1層の施工厚が10 cm以上(1層の締固め最大厚20 cm以下)を標準とする場合に適 <u>用する。</u>

2 施工歩掛

鉄鋼スラグ路盤工歩掛は、次表を標準とする。

表 2.1 作業歩掛

(100 ㎡当たり)

		(100 11	
<u>名称</u>	<u>規格</u>	単位	数量
特殊作業員		<u>人</u>	<u>0.41</u>
普通作業員		<u>人</u>	<u>1.00</u>
<u>小型バックホウ</u> <u>運転</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型(2014 年規制) 山積 0.13 ㎡ [0.10 ㎡]	且	<u>0. 37</u>
振動ローラ <u>運転</u>	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3次基準値) 3~4t	且	<u>0. 37</u>
諸雑費		<u>%</u>	3.00

- 備考 1 諸雑費は、労務費と機械運転経費の合計に上表の率を乗じて得た金額を上限として計 <u>上する。</u>
 - 2 上記歩掛には、小運搬は含まないため、現場条件により、路盤材の仮置場及び撹拌混 合場所からの小運搬が必要な場合は別途計上する。
 - 3 上記歩掛には、不陸整正は含まないため、必要な場合は別途計上する。

1-<u>4</u> (略)

(新設)

表 2.2 散水作業歩掛

(100 m²当たり)

<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>
散水車運転	[トラック架装型] タンク容量 3,800 L	且	0.37

3 路盤材の使用量 路盤材の使用量は、次式により算出する。

100 ㎡当たり<mark>路盤材の使用量(㎡)</mark>

=100×路盤工の仕上がり厚さ (m) × (1+K) …… (式 3.1)

K:材料割増率 +0.27

4 単価表

(1)鉄鋼スラグ路盤工100㎡当たり単価表

<u> (I) 野八野門 / ソ ノ </u>	<u> 四温工 100 m 当たり平画教</u>			
<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	数量	<u>摘要</u>
特殊作業員		人		表 2.1
普通作業員		人		<u>表 2.1</u>
<u>小型バックホウ</u>	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型	口		<u>表 2.1</u>
<u>運転</u>	<u>(2014 年規制) 山積 0.13 ㎡ [0.10 ㎡]</u>	叫		<u>4(2)</u>
振動ローラ	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型(第3次基	<u>日</u>		<u>表 2.1</u>
<u>運転</u>	<u>準値)3~4t</u>	긔		<u>4(3)</u>
諸雑費		<u>%</u>		表 2.1
<u>路盤材</u>		<u>m</u> ³		式 3.1
散水車運転		日		表 2.2
		긔		4(4)
<u>計</u>				

(2) 小型バックホウ運転1日当たり単価表

<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	数量	摘要
運転手(特殊)		<u>人</u>	<u>1.00</u>	
軽油		<u>L</u>	<u>27. 00</u>	
小型バックホウ	後方超小旋回型・超低騒音型・排出ガス対策型	供用日	1. 00	T =5 7
<u>損料</u>	_(2014 年規制) 山積 0.13 m³ [0.1 m³]	<u> </u>	1.00	1-0.7
<u>計</u>				

備考 T:運転日当たり運転時間(h/日)

(3)振動ローラ運転1日当たり単価表

<u>名称</u>	<u>規格</u>	<u>単位</u>	数量	摘要
運転手(特殊)		人	<u>1.00</u>	
<u>軽</u> 油		<u>L</u>	<u>13. 00</u>	
振動ローラ 賃料	搭乗・コンバインド式・排出ガス対策型 (第3 次基準値) 3~4t	供用日	<u>1. 26</u>	
<u>計</u>				

(4)散水車運転1日当たり単価表

<u> </u>	<u>単位</u>	<u>数量</u>	<u>摘要</u>
運転手(一般)	人	<u>1.00</u>	
軽油	<u>L</u>	28.60	
<u> 散水車損料</u>	供用日	1.00	
<u>計</u>			

第2 (略)

第3 橋梁工

- 3-1 鋼橋製作工
- 1 (略)
- 2 材料費
- $(1) \sim (7)$ (略)
- (8) 溶接材料費及び副資材費
- ① (略)
- ② 副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当たり溶接材料込みで 18,200 円/t とする。

- (注) (略)
- (略)
- 3 鋼橋製作費
- (1) 製作工数
- ① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。 アーキ (略)

表 3. 1 橋梁形式別標準工数

_ 表 3. 1 	表 3. 1 情樂形式別標準上数								
要素	a 1	a 2	b 1	b 2	С				
形式	(人/個)	(人/個)	(人/10m)	(人/10m)	(人/個)				
単純鈑桁	1. 48	0.32	0. 94	0.39	0.43				
連続鈑桁	<u>1. 47</u>	0. 23	0. 78	0. 37	0.38				
箱桁	2. 25	0.31	0.87	0. 37	3. 09				
鋼床版鈑桁	<u>1. 24</u>	<u>0. 25</u>	0. 92	0.62	3. 61				
鋼床版箱桁	3. 78	0. 33	1. 03	0. 53	6. 24				
トラス	0. 56	0. 33	0. 75	0.32	0. 79				
アーチ	1. 59	0.41	0. 93	0. 55	2. 55				
ラーメン	1. 98	0.40	0.80	0. 57	3. 26				
角型鋼橋脚	4.09	0.70	1. 69	3. 30	10.66				
丸型鋼橋脚	6. 39	0. 54	0. 32	0.86	8. 20				
角型アンカーフレーム	_	0.35	_	_	<u>13. 84</u>				
丸型アンカーフレーム	_	0. 19	_	_	5. 57				

表 3. 2~表 3. 7 (略)

②~⑤ (略)

(2) 製作工労務単価

工場製作における工数単価(直接労務費)は28,700円とする。

 $4 \sim 9$ (略)

3-2 (略)

3-3 橋台・橋脚工

3-3-1 橋台・橋脚工(1)(構造物単位)

1~4 (略)

5 単価表

- (1)~(3) (略)
- (4) 機械運転単価表

第2 (略)

第3 橋梁工

- 3-1 鋼橋製作工
- 1 (略)
- 2 材料費
 - $(1) \sim (7)$ (略)
 - (8) 溶接材料費及び副資材費
 - ① (略)
 - ② 副資材費

副資材費は、工場製作にかかる溶接材料及び消耗材料で、加工鋼重(購入部品を除いた鋼材の質量)当たり溶接材料込みで17,300円/tとする。

- (注) (略)
- (略)

3 鋼橋製作費

- (1) 製作工数
- ① 橋梁の製作工数は、次式により算出するのを原則とする。 アーキ (略)

表 3. 1 橋梁形式別標準工数

衣 0. 1 個未形式的原子工数									
要素	a 1	a 2	b 1	b 2	С				
形式	(人/個)	(人/個)	(人/10m)	(人/10m)	(人/個)				
単純鈑桁	1.48	0.32	0. 94	0.39	0. 43				
連続鈑桁	<u>1. 22</u>	0.19	0.78	0. 37	0. 38				
箱桁	2. 25	0.31	0.87	0. 37	3. 09				
鋼床版鈑桁	<u>0. 99</u>	<u>0. 20</u>	0. 92	0. 62	3. 61				
鋼床版箱桁	3. 78	0. 33	1.03	0. 53	6. 24				
トラス	0. 56	0. 33	0.75	0. 32	0. 79				
アーチ	1. 59	0.41	0. 93	0. 55	2. 55				
ラーメン	1. 98	0.40	0.80	0. 57	3. 26				
角型鋼橋脚	3. 70	0.63	1. 69	3. 30	10.66				
丸型鋼橋脚	6. 39	0. 54	0.32	0.86	8. 20				
角型アンカーフレーム	_	0.35	_	_	11.67				
丸型アンカーフレーム	_	0. 19	_	_	5. 57				

表 3. 2~表 3. 7 (略)

②~⑤ (略)

(2) 製作工労務単価

工場製作における工数単価(直接労務費)は27,800円とする。

 $4 \sim 9$ (略)

3 - 2

3 − 3 **橋台・橋脚工**

3-3-1 橋台・橋脚工(1)(構造物単位)

1~4 (略)

5 単価表

(1)~(3) (略)

(4) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブ ーム式圧送能力 90~110 ㎡/h	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>66</u> 機械損料数量→ <u>1.04</u> 機械損料 1 → コンクリートポンプ車 機械損料 2 → コンクリート圧送管(径 125mm) 単位→m・供用日 数量→L× <u>1.04</u>

(注) (略)

6 (略)

3-3-2 橋台・橋脚工(2)

1 (略)

2 施工概要

(1) 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛 橋台橋脚工コンクリート打設歩掛は次表を標準とする。

表 2. 1 コンクリート打設歩掛 (人/10 ㎡当たり)

					12-12-11-11-11	10 111 11 12 1
	コンク	リー	ト打設量	50 m 以上		
	名		称		単位	50 Ⅲ以上
土	木 一	般	世話	役	人	0.06
特	殊	作	業	員	"	0. 18
普	通	作	業	員]]	0. 24
コ	ンクリー	トポ	ンプ車	運転	日	0.06
諸	雑		費	率	%	<u>3</u>

(注) (略)

 $(2) \sim (8)$ (略)

3 (略)

3-4 (略)

3-5 PC桁架設工

 $1 \sim 3$ (略)

4 架設桁による架設

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) その他

① (略)

② 架設機械器具経費

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等の費用であり、架設機械器具費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.6 諸雑費率

(%)

	(/0/
ポストテンション桁	11
プレキャストセグメント桁	8

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
コンクリート ポンプ車	トラック架装・ブ ーム式圧送能力 90~110 ㎡/h	機-20	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>82</u> 機械損料数量→ <u>1.03</u> 機械損料 1 → コンクリートポンプ車 機械損料 2 → コンクリート圧送管(径 125mm) 単位→m・供用日 数量→L× <u>1.03</u>

(注) (略)

6 (略)

3-3-2 橋台・橋脚工(2)

1 (略)

2 施工概要

(1) 橋台・橋脚コンクリート打設歩掛 橋台橋脚エコンクリート打設歩掛は次表を標準とする。

表 2. 1 コンクリート打設歩掛 (人/10 ㎡当たり)

コンクリート打設量 (㎡/基)					50 m³以上	
	名		称		単位	50 m以上
土	木 一	般	世話	役	人	0.06
特	殊	作	業	員	IJ	0. 18
普	通	作	業	員	IJ	0. 24
コン	/クリー	トポ	ンプ車	運転	日	0.06
諸	雑		費	率	%	<u>4</u>

(注) (略)

 $(2) \sim (8)$ (略)

3 (略)

3-4 (略)

3-5 PC桁架設工

 $1 \sim 3$ (略)

4 架設桁による架設

 $(1) \sim (5)$ (略)

(6) その他

① (略)

② 架設機械器具経費

ア (略)

イ 諸雑費

諸雑費は、架設工具等の費用及び電力に関する経費等の費用であり、架設機械器具費の合計額に次表の率を乗じた金額を上限として計上する。

表 4.6 諸雑費率

(%)

	(/ - /
ポストテンション桁	11
プレキャストセグメント桁	9

5 横組工

(略)

- (1) 鉄筋工
- ① 鉄筋加工·組立

ア 間詰床版及び横行の鉄筋加工・組立歩掛

(1 t 当たり)

	編成人員(人)		諸雑費率(%)	
世 話 役	鉄 筋 工	普通作業員		
0.8	3.8	1. 7	<u>4</u>	

(注) (略)

- ② (略)
- (2) コンクリート工

横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、PC合成桁橋の床版は含まない。

- ①・② (略)
- ③ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。

表 5.4 コンクリート工歩掛

(10 ㎡当たり)

				,	
		諸雑費率			
桁形式	橋りょう	特 殊	五 4	普 通	
	世 話 役	作 業 員	型枠工	作 業 員	(%)
プレテンションT桁、	2.9	4. 0	9.3	9. 1 (7. 5)	8(7)
ポストテンション桁	2.9	4. 0	9. 3	9.1(7.5)	<u>o</u> (1)
プレテンション床版桁	1.6	1. 7	2.5	3.9(2.4)	10(5)

(注) (略)

- ④ (略)
- (3) (略)
- (4) 緊張工
- ① 緊張工歩掛

定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.8 緊張工歩掛

(10 ケーブル当たり)

		規格	編成	以 人員(人)		諸雑費率
種	類	PCケーブル	橋りょう 世 話 役	橋りょう 特 殊 工		的#其字 (%)
		390kN(40t)型(1S17.8)				
シングル	レストラ	450kN(50t)型(1S19.3)	0.4	1.2	0.6	<u>3</u>
ンドシス	テム	570kN(60t)型(1S21.8)				
		950kN(100 t)型(1S28.6)	0.6	1.4	0.6	3

(注) (略)

- ②・③ (略)
- (5) (略)

5 横組工

(略)

- (1) 鉄筋工
- ① 鉄筋加工・組立

ア 間詰床版及び横行の鉄筋加工・組立歩掛

(1 t 当たり)

	編成人員(人)		諸雑費率(%)
世話役	鉄 筋 工	普通作業員	阳椎其中(/0)
0.8	3.8	1. 7	<u>5</u>

(注) (略)

- ② (略)
- (2) コンクリート工

横組の型枠及びコンクリート作業に適用し、PC合成桁橋の床版は含まない。

- ①•② (略)
- ③ コンクリート工歩掛

型枠の製作、設置・撤去、コンクリートポンプ車による打設及び養生歩掛は、次表を標準とする。

表 5.4 コンクリート工歩掛

(10 m³当たり)

												(1	0 m = 70 g
					編成	人員	1 (人)					諸雑費率
桁形式	橋	りょ	う	特		殊	型	1/1 .		普		通	
	世	話	役	作	業	員	毠	枠	1	作	業	員	(%)
プレテンションT桁、		2. 9			4. 0			9. 3		a	1 (7.	5)	9(7)
ポストテンション桁		2. 3			7. 0			J. J		٠,	1(1.	3)	<u>5</u> (1)
プレテンション床版桁		1.6			1.7			2.5		3.	9 (2.	4)	10(5)

(注) (略)

- ④ (略)
- (3) (略)
- (4) 緊張工
- 緊張工歩掛

定着装置の設置、緊張、モルタルあと埋め作業の歩掛は、次表を標準とする。

表 5.8 緊張工歩掛

(10 ケーブル当たり)

		規格	編成	(人) 員人気		諸雑費率
種	類	$\mathbf{P} = \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P} \mathbf{P}$	橋りょう 世 話 役	橋りょう 特 殊 工	普通作業員	6%)
		390kN(40t)型(1S17.8)				
シング	ルストラ	450kN(50t)型(1S19.3)	0.4	1.2	0.6	<u>4</u>
ンドシス	ステム	570kN(60t)型(1S21.8)				
		950kN(100 t)型(1S28.6)	0.6	1.4	0.6	3

(注) (略)

- ②•③ (略)
- (5) (略)

6 · 7 (略)

8 PC板工(PCコンポ桁のみ)

PC板工とは、PC板支承工、PC板仮置工、PC板敷設工、継目工の一連作業で、その内 訳は次のとおりである。なお、PC板仮置工は、必要な場合に計上する。

(1) PC板支承工

PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時のモルタルの漏れを防ぐために、支承工用目地材及び無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。

表8.1 PC板支承工歩掛

(両側100m当たり)

			(1 1) (1 = 5	70111 - 17 7 7
編成人	員(人)	使月		
		支承工用目地材	無収縮モルタル	諸雑費
橋りょう世話役	普通作業員	(m)	(m^3)	(%)
		10mm×15mm	プレミックスタイプ	
0.4	1. 3	205	0.36	<u>4</u>

(注) (略)

 $(2) \cdot (3)$ (略)

(4) 継目工

PC板とPC板の継目に無収縮モルタルを充填する作業であり、継目工歩掛は次表を標準とする。

表 8.4 継目工歩掛

(100m当たり)

編成人員(人)		使用材料	
橋りょう世話役	普通作業員	無収縮モルタル(㎡)	諸雑費(%)
間ソよ ノ 世前仅	日世仆未只	プレミックスタイプ	
0.1	1. 1	0.07	<u>8</u>
0.1	1. 1		<u>8</u>

(注) (略)

9 • 10 (略)

3-6 (略)

第4 道路維持修繕

4-1 切削オーバーレイエ

 $1 \sim 6$ (略)

7 単価表

(1) (略)

6 · 7 (略)

8 PC板工(PCコンポ桁のみ)

PC板工とは、PC板支承工、PC板仮置工、PC板敷設工、継目工の一連作業で、その内 訳は次のとおりである。なお、PC板仮置工は、必要な場合に計上する。

(1) PC板支承工

PC板と主桁のなじみを得るため及び床版コンクリート打設時のモルタルの漏れを防ぐために、支承工用目地材及び無収縮モルタルを主桁上に打設する作業であり、PC板支承工歩掛は次表を標準とする。

表8.1 PC板支承工歩掛

(両側100m当たり)

編成人	員(人)	使月	使用材料			
		支承工用目地材	無収縮モルタル	諸雑費		
橋りょう世話役	普通作業員	(m)	(m^3)	(%)		
		10mm×15mm	プレミックスタイプ			
0.4	1. 3	205	0.36	<u>5</u>		

(注) (略)

(2) • (3) (略)

(4) 継目工

PC板とPC板の継目に無収縮モルタルを充填する作業であり、継目工歩掛は次表を標準とする。

表 8.4 継目工歩掛

(100m当たり)

			(100111 - 110))
編成人員(人)		使用材料	
橋りょう世話役	普通作業員	無収縮モルタル(m³)	諸雑費(%)
備りより世前仅	百世仆未貝	プレミックスタイプ	
0. 1	1. 1	0.07	9

(注) (略)

9 • 10 (略)

3-6 (略)

第4 道路維持修繕

4-1 切削オーバーレイエ $1 \sim 6$ (略)

7 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

		УФ П		7 cm以下	7 cmを超え	_ 12 cm以下
機械名	規格	適用	指定事項	即日	即日	即日
		単価表		一層舗設	一層舗設	二層舗設
	ホイール式・					
	廃材積込装置付•排		運転労務数量	1.00	1.00	0.95
路面切削機	出ガス対策型(第3	機一18	燃料消費量	<u>235</u>	<u>248</u>	<u>166</u>
	次基準値) 切削幅		機械損料数量	<u>1. 32</u>	<u>1. 27</u>	<u>1. 01</u>
	2.0m×深さ23cm					
	ブラシ・四輪式		運転労務数量	0. 98	0.96	0.74
路面清掃車	路面切削工事用・ホ	機-19	燃料消費量	43	42	32
	ッパ容量 1.5 ㎡		機械損料数量	<u>1. 32</u>	<u>1. 27</u>	<u>1. 01</u>
	ホイール型・排出ガ		運転労務数量	1.00	1.00	1. 00
アスファルト	ス対策型(第3次基	機-18	燃料消費量	48	53	42
フィニッシャ	準値) 舗装幅 2.3~	100	機械損料数量	1. 40	<u>1. 19</u>	1. 23
	6. 0 m		网络双	11.10	11.10	1.20
	マカダム・排出ガス		運転労務数量	1. 00	1.00	1.00
ロードローラ	対策型(第2次基準	機一18	燃料消費量	<u>27</u>	<u>28</u>	<u>18</u>
	値)運転質量 10 t	<i>"</i> /-	機械損料数量	1.40	1. 19	1. 23
	締固め幅 2.1m					
	普通型・排出ガス対		運転労務数量	1.00	1.00	1.00
タイヤローラ	策型(第2次基準	機-28	燃料消費量	30	<u>27</u>	<u>29</u>
	値) 運転質量 8~20		機械賃料数量	1. 16	1.00	1.30
	t					

4-2 道路打換え工

 $1 \sim 5$ (略)

6 単価表

(1) (略)

(2)機械運転単価表

					_ 2. L=+ >	
		適用		7 ㎝以下		. 12 cm以下
機械名	規格	単価表	指定事項	即日	即日	即日
		中凹水		一層舗設	一層舗設	二層舗設
	ホイール式・					
	廃材積込装置付•排		運転労務数量	1.00	1.00	0.95
路面切削機	出ガス対策型(第3	機-18	燃料消費量	204	<u>216</u>	144
	次基準値) 切削幅		機械損料数量	1. 31	1. 26	1.00
	2.0m×深さ23cm			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		
	ブラシ・四輪式		運転労務数量	0. 98	0.96	0.74
路面清掃車	路面切削工事用・ホ	機-19	燃料消費量	43	42	32
	ッパ容量 1.5 ㎡		機械損料数量	<u>1.31</u>	<u>1. 26</u>	<u>1.00</u>
	ホイール型・排出ガ		運転労務数量	1. 00	1. 00	1. 00
アスファルト	ス対策型(第3次基	機-18	燃料消費量	48	1.00 53	42
フィニッシャ	準値) 舗装幅 2.3~	/戏 — 10				
	6.0m		機械損料数量	<u>1. 39</u>	<u>1. 18</u>	<u>1. 22</u>
	マカダム・排出ガス		運転労務数量	1. 00	1. 00	1. 00
ロードローラ	対策型(第2次基準	機一18	燃料消費量			
	値)運転質量 10 t	7及 -10		2 <u>5</u>	<u>26</u>	17 1 22
	締固め幅 2.1m		機械損料数量	<u>1. 39</u>	<u>1. 18</u>	<u>1. 22</u>
	普通型・排出ガス対		運転労務数量	1. 00	1. 00	1. 00
タイヤローラ	策型(第2次基準	松 _ 00				
グイドローフ	値) 運転質量 8~20	機-28	燃料消費量	26 1 16	<u>23</u>	<u>2</u> 5
	t		機械賃料数量	1. 16	1. 00	1. 30

4-2 道路打換え工

 $1 \sim 5$ (略)

6 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

	型	T	
機械名	規格	適用単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 ㎡ (平積0.35 ㎡)	機一28	運転労務数量→0.95 (全層打換え) 0.65 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→36 (全層打換え) 24 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27 (全層打換え) 1.24 (舗装版のみ打換え)
大型ブレーカ	油圧ブレーカバケット 容量 0.2 ㎡対応ベース マシン含む。 超低騒音型・排出ガス 対策型(第 3 次基準 値)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15 (全層打換え) 16 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装版のみ打換え)
(コンクリー ト圧砕装置ベ ースマシン) バックホウ	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.45 ㎡ (平積0.35 ㎡)	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>17</u> (全層打換え) <u>18</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装版のみ打換え)
小型バックホ ウ(クローラ 型)	標準型・超低騒音型・ 排出ガス対策型(第3 次基準値)山積0.09~ 0.11 ㎡(平積0.07~ 0.08 ㎡)	機-18	運転労務数量→0.80 (全層打換え) 0.58 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→9 (全層打換え) 7 (舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.38 (全層打換え) 1.14 (舗装版のみ打換え)
タイヤローラ	普通型・低騒音型・排 出ガス対策型(第2次 基準値)8~20 t	機-28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→32(全層打換え) <u>34</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 ・低騒音型・排出ガス 対策型(第2次基準値) 運転質量3~4t	機一28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→ <u>17</u> (全層打換え) <u>18</u> (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型(第3 次基準値)舗装幅2.3~ 6.0m	機-28	運転労務数量→0.55 (全層打換え) 0.68 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31 (全層打換え) 38 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10 (全層打換え) 1.11 (舗装版のみ打換え)

4-3 路上路盤再生工

1 (略)

(2) 機械運転単価表

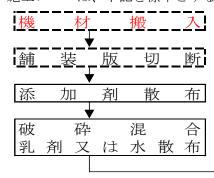
	転単価表	<i>b</i> 1 - 1		مود مواسط المراجع
機械名	規規	各適	6月単価表	指定事項
バックホウ (クローラ型)	標準型・超低騒排出ガス対策型 次基準値) 山積 (で積 0.35 ㎡)	(第3	機一28	運転労務数量→0.95(全層打換え) 0.65(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→38(全層打換え) 26(舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.27(全層打換え) 1.24(舗装版のみ打換え)
大型ブレーカ	油圧ブレーカバ容量 0.2 ㎡対応マシン含む。超低騒音型・排対策型(第3次値)	ベース出ガス	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→17 (全層打換え) 17 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.29 (全層打換え) 1.27 (舗装版のみ打換え)
(コンクリー ト圧砕装置べ ースマシン) バックホウ	標準型・超低騒 排出ガス対策型 次基準値) 山積 ((平積 0.35 ㎡)	(第3	機-28	運転労務数量→0.45 (全層打換え) 0.48 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→18 (全層打換え) 19 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.38 (全層打換え) 1.36 (舗装版のみ打換え)
小型バックホ ウ(クローラ 型)	標準型・超低騒排出ガス対策型 次基準値) 山積 (0.11 ㎡ (平積 0.08 ㎡)	(第3). 09~	機-18	運転労務数量→0.80 (全層打換え) 0.58 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→10 (全層打換え) 7 (舗装版のみ打換え) 機械損料数量→1.37 (全層打換え) 1.13 (舗装版のみ打換え)
タイヤローラ	普通型・低騒音 出ガス対策型(第 基準値)8〜20 t		機-28	運転労務数量→1.00 (全層打換え) 1.00 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→28 (全層打換え) 29 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.34 (全層打換え) 1.34 (舗装版のみ打換え)
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバイ ・低騒音型・排 対策型(第2次基 運転質量3~4t	出ガス	機一28	運転労務数量→1.00(全層打換え) 1.00(舗装版のみ打換え) 燃料消費量→15(全層打換え) 1.5(舗装版のみ打換え) (機械賃料数量→1.34(全層打換え) 1.34(舗装版のみ打換え)
アスファルトフィニッシャ	ホイール型 排出ガス対策型 次基準値)舗装幅 6.0m		機-28	運転労務数量→0.55 (全層打換え) 0.68 (舗装版のみ打換え) 燃料消費量→31 (全層打換え) 38 (舗装版のみ打換え) 機械賃料数量→1.10 (全層打換え) 1.11 (舗装版のみ打換え)

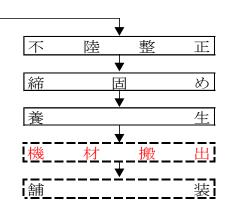
4-3 路上路盤再生工

1 (略)

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。





(注) (略)

 $3 \sim 6$ (略)

7 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

+ 4 4 - Ab4	44 ===	** 田光	* + + +
機械名	規 格	適用単価表	指定事項
スタビライザ	路盤再生用・処理幅 2.0m 処理深 0.4m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>135</u> 機械損料数量→ <u>1.22</u>
モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 土工用ブレード幅 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>46</u> 機械損料数量→ <u>1.48</u>
ロードローラ	排出ガス対策型(第 1 次基準値)マカダム 10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>32</u> 機械損料数量→ <u>1.61</u>
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)普 通型8~20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>31</u> 機械賃料数量→1.62
振 動 ロ ー ラ	排出ガス対策型(第1次基準値)搭 乗・タンデム式 舗装用6~7.5 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>44</u> 機械賃料数量→1.75

4-4 アスファルト注入工 1~4 (略)

5 単価表

(1)~(4) (略)

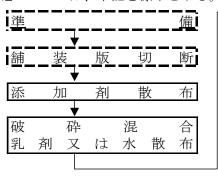
(5) 機械運転単価表

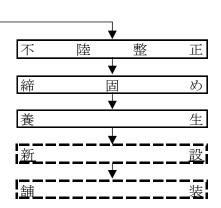
() /////			
機械名	規 格	適用単価表	指 定 事 項
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 ・排出ガス対策型 (第1次基準値) 7.5~7.8 m³/min 吐出圧力 0.7MPa	機-16	燃料消費量→ <u>50</u> 機械賃料数量→1.7
トラック	普通型2 t 積	機-6	

$4-5 \cdot 4-6$ (略)

2 施工概要

施工フローは、下記を標準とする。





(注) (略)

 $3 \sim 6$ (略)

7 単価表

(1) (略)

(2) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
スタビライザ	路盤再生用・処理幅 2.0m 処理深 0.4m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>131</u> 機械損料数量→ <u>1.21</u>
モータグレーダ	排出ガス対策型(第1次基準値) 土工用ブレード幅 3.1m	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>44</u> 機械損料数量→ <u>1.47</u>
ロードローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)マカダム10~12 t	機-18	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>29</u> 機械損料数量→ <u>1.59</u>
タイヤローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)普 通型8~20 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>26</u> 機械賃料数量→1.62
振動ローラ	排出ガス対策型(第1次基準値)搭乗・タンデム式 舗装用6~7.5 t	機-28	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>40</u> 機械賃料数量→1.75

4-4 アスファルト注入工 1~4 (略)

5 単価表

(1)~(4) (略)

(5) 機械運転単価表

機械名	規 格	適用単価表	指定事項
空気圧縮機	可搬式・エンジン駆動・スクリュ型 ・排出ガス対策型 (第1次基準値) 7.5~7.8 m³/min 吐出圧力 0.7MPa	h <u>≥le</u>	燃料消費量→ <u>58</u> 機械賃料数量→1.7
トラック	普通型2t積	機-6	

 $4-5 \cdot 4-6$ (略)

4-7 欠損部補修工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) • (2) (略)

(3) 機械運転単価表

. , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	1 11-17		
機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ (舗装用)	搭乗・コンバインド式 排出ガス対策型(第2次基準 値)2.4~2.5t	機-31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>1.1</u> 機械賃料数量→1.40

4-8 トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法)) 1~7 (略)

8 単価表

(1) (略)

(2) 械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・	機-29	運転労務数量→1.00
	プラットフォーム型] 作業床高		燃料消費量→ <u>21</u>
	9.9m・積載荷重 1,000kg		機械賃料数量→1.32

【参考】 (略)

4-7 欠損部補修工

 $1 \sim 3$ (略)

4 単価表

(1) • (2) (略)

(3) 機械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
振動ローラ(舗装用)	搭乗・コンバインド式 排出ガス対策型(第2次基準 値)2.4~2.5t	機一31	運転労務数量→1.00 燃料消費量→ <u>10</u> 機械賃料数量→1.40

4-8 トンネル補修工(ひび割れ補修工(低圧注入工法)) 1~7 (略)

8 単価表

(1) (略)

(2) 械運転単価表

機械名	規格	適用単価表	指定事項
高所作業車	[トラック架装・伸縮ブーム・	機-29	運転労務数量→1.00
	プラットフォーム型]作業床高		燃料消費量→ <u>25</u>
	9.9m・積載荷重 1,000kg		機械賃料数量→1.32

【参考】 (略)

第4編 作業日当たり標準作業量

1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

工 種 名	設	定	内	容			
土工~地す	(略)						
べり防止工							
(略)							
森林整備	①~⑪ (略)						
		回刈り及び2回	[列]り)				
	(補正なし)	T					
	工種	作業日当					
		標準作業					
	下刈(全刈り)		lha∕∃				
	下刈(筋刈り) 0.500ha/日						
	_(補正あり) 年2回下刈	りの2回目					
	工種	作業日当 標準作業					
	下刈(全刈り)	0.193	_ha∕∃				
	下刈 (筋刈り)	0.58	_ha∕∃				
	③~⑤ (略)						
海岸林造成	(略)						
• 道路付属							
施設 (略)							

第4編 作業日当たり標準作業量

1. 適用条件

本章に掲載した作業日当たり標準作業量は、標準歩掛に沿った条件、工法での設定であり、工程、作業日数等の検討のための参考として、とりまとめたものである。

設定した作業量は、あくまでも標準施工の場合であるので、当該工事の施工条件、施工方法、制約条件等十分考慮し、適用の可否を検討の上、使用されたい。

2. 作業日当たり標準作業量

• 11 /// - 1 // /	保护厂未里					
工 種 名	1000	л Х	定	内	容	
土工~地す	(略)					
べり防止工						
(略)						
森林整備	①~⑪ (略)					
	⑫ 森林整備 下刈(1	1回刈り	及び2回刈	[り)		
	(補正なし)					
	丁任	1	作業日当た	り		
	工種		標準作業量	Ţ		
	下刈 (全刈り)		0.164ha	a/日		
	下刈 (筋刈り)		0.500ha	a/日		
	_ (補正あり) 年 2 回下>	刈りの 2	2回目			
	工種	1	作業日当た 標準作業量			
	下刈(全刈り)		<u>0.141</u> ha	a/日		
	下刈 (筋刈り)		<u>0.430</u> ha	a/日		
	③~⑤ (略)					
海岸林造成	(略)					
• 道路付属						
施設 (略)						